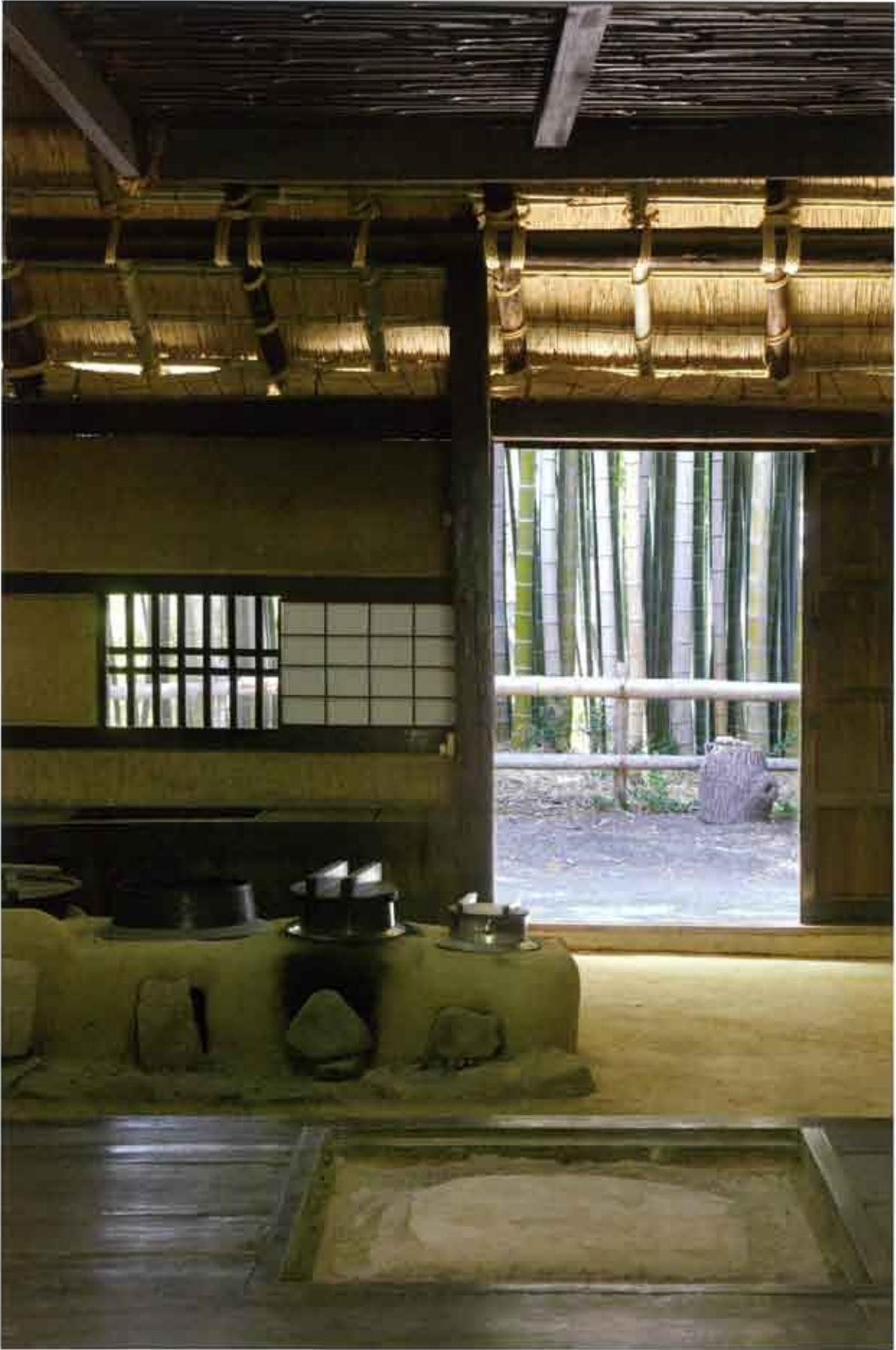


---

# 年 報

---

平成22年度

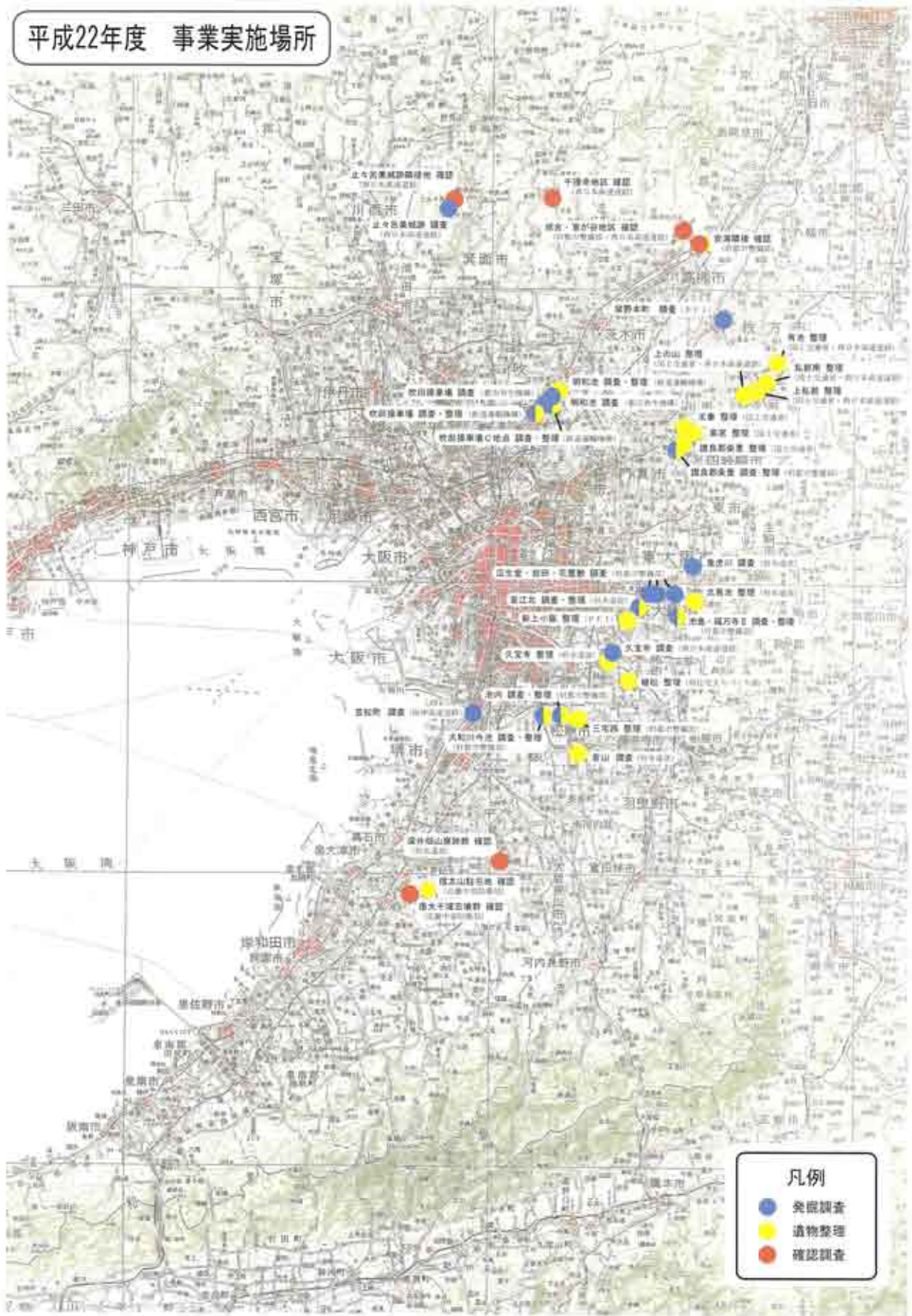


摂津能勢の民家 (日本民家集落博物館)



花屋敷遺跡 10-1 出土銭貨

平成22年度 事業実施場所



(地図は国土地理院平成11年8月1日発行1/20万 京都および大阪、和歌山を縮小した)

# 目 次

巻頭カラー		2 特別企画展事業	41
平成 22 年度事業実施場所		(1) 春季企画展「弥生鳥瞰ー池上曾根に生き	
目次		た人びと」	41
I 財団法人大阪府文化財センター沿革と機構	1	(2) 夏季特別展「MASK ー仮面の考古学ー」	41
1 設立の趣旨	1	(3) 秋季特別展「邪馬台国ー九州と近畿ー」	42
2 沿革	1	(4) 冬季企画展「続・発掘へんろー四国弥生時	42
3 概要	3	代ー」	
(1) 目的	3	3 その他展示事業	43
(2) 事業	3	(1) 春季企画展示「脇田啓子〈女〉展」	43
(3) 出資者	3	(2) スポット展示「速報！弥生の人形土製品と	43
(4) 基本財産	3	石棒ー池島・福万寺遺跡出土ー」	
(5) 機構《施設所在地》	3	4 講演会事業	43
(6) 役員・評議員及び職員	4	(1) 春季企画展関連	43
II 平成 22 年度の事業概要及び決算	7	(2) 夏季特別展関連	43
1 理事会及び評議員会	7	(3) 秋季特別展関連	44
2 決算	8	(4) 冬季特別展関連	44
3 調査事業の概要	10	(5) 春の連続講座	45
(1) 調査事業一覧	10	(6) 近畿弥生の会	45
(2) 主な調査の概要	16	(7) その他	45
(3) 他府県調査技術支援	24	5 「府民が参加する博物館」事業	46
(4) 保存処理事業	24	(1) やよいミュージアムコンサート	46
(5) 現地説明会等	25	(2) ミニギャラリー	48
III 資料活用事業	26	(3) 第 16 回絵画コンテスト「卑弥呼の時代を	
(1) 文化財講演会事業	26	描こう」	48
(2) 文化財体験学習事業	27	(4) ボランティア活動	48
(3) 文化財展示事業	29	6 「博物館 in school」事業ー博学連携事業	49
(4) 文化財広報事業	29	(1) 小中学校の団体見学受け入れ	49
(5) 文化財研究事業	29	(2) 体験ゾーンの活用	49
(6) 文化財資料収集整理事業	30	(3) 資料貸出し	49
(7) 文化財資料提供事業	30	(4) 出前授業	49
IV 大阪府立弥生文化博物館事業	41	(5) 博学連携事業	50
1 常設展示	41	(6) 大学生博物館実習	51
(1) 第 1 展示室	41	(7) 中学生の職場体験学習	51
(2) 第 2 展示室	41	(8) 博学連携セミナー	51



(1) 出前授業	72	(2) マーケットリサーチの実施	79
(2) 校外学習の案内受け入れ	72	(3) ミュージアムスタッフの人材育成研修	79
(3) 学校団体利用案内の作成	72	(4) 設備の更新等	79
(4) 学習用ワークシートの作成	73	(5) ホームページの一部リニューアル	79
(5) 大学生博物館実習および芸術大学実習	73	1 3 自主事業	79
(6) 高校生のインターンシップ	73	(1) ミュージアムショップの整備	79
(7) 中学生の職場体験学習	73	1 4 入館者数および入館料一覧表	80
(8) 教員の研修、研究団体の受け入れ	73	(近つ飛鳥博物館)	
7 「どこでも博物館」事業	74	IV 日本民家集落博物館事業	81
(1) 河内飛鳥れきしウォーク	74	1 展示事業	81
(2) 出張講座	74	(1) 常設展示	81
(3) 出張展示	75	(2) カルチュアはっとり展示	81
8 「体験する博物館」事業	76	2 各種催し開催事業	82
(1) 校外学習ワークショップ	76	(1) 季節行事	82
(2) 修羅ひき体験	76	(2) 参加体験型事業	82
(3) 子ども工作教室	76	(3) 展示民家を活用しての催し	82
(4) こども玉づくり工房	76	(4) 特別企画事業	85
(5) 古代衣装体験	76	(5) 市民オープンイベント	85
(6) 親子発掘現場体験	76	3 普及啓発事業	85
9 各種連携事業	76	(1) 民家解説等の開催	85
(1) 学校との連携事業	76	(2) 囲炉裏体験	85
(2) 公共機関との連携事業	77	(3) 古民家の保全に関する技術の伝承と公開活	86
(3) その他	77	用に関わる事業	
10 広報普及研究事業	77	(4) 連続セミナー	87
(1) 機関紙「アスカディア・古墳の森」(博物	77	(5) 連続講座	87
館だより)の発行		(6) 企画展関連イベント「宮澤賢治の童話がたり」	88
(2) 近つ飛鳥博物館「館報」の刊行	77	4 学校教育連携事業	88
(3) 催し物案内の作製	77	(1) 大学生博物館実習	88
(4) マスコミ・ミニコミ紙等への情報提供等	78	(2) 中学生の職場体験学習	88
(5) 出版事業	78	(3) こども囲碁クラブ	88
(6) インターネットホームページ	78	(4) みんか伝統文化体験教室	88
(7) 所蔵資料の活用	78	(文化庁地域伝統文化総合活性化事業)	
(8) 研究事業	78	(5) その他	89
11 資料調査収集製作事業	79	5 ボランティア受入活動事業	89
(1) 図書購入	79	6 施設整備事業	89
(2) 資料の整理・修理・保存処理	79	(1) 重要文化財旧泉家住宅保存修理工事	89
12 サービス事業	79	(国宝重要文化財等保存整備費補助事業)	
(1) 特別開館日の設定	79	(2) 階段保全工事	89

(3) 危険高木の伐採	89
(4) 仮設観覧席の作成	89
7 広報事業	89
(1) 広報リーフレットの作成	89
(2) インターネットによる広報	90
(3) DVD・ビデオによる広報	90
(4) 諸団体との連携	90
(5) 資料の作成・頒布	90
8 資料収集・研究事業	90
9 入館者数および入館料一覧表	90

(日本民家集落博物館)



# Ⅰ 財団法人大阪府文化財センター沿革と機構

## 1 設立の趣旨

社会資本整備のための公共事業や民間事業者による開発行為によって国土の自然環境や歴史的環境が急速な変貌を遂げている現在、後世に伝えるべき貴重な文化財の保存・活用、歴史的景観の保全等を図ることが行政に求められている。

これに応えるためには、有形・無形・民俗文化財等の保全・活用を図るための調査・研究体制を構築するとともに、調査や資料収集の成果の公開や文化財愛護意識の高揚のための普及啓発、文化財を通じた国際交流も積極的に行っていく必要がある。

一方、埋蔵文化財調査についても、数多くの各種公共事業が府下において計画されていることに伴い増加する傾向にあるため、事業者からは円滑な事業実施ができるように調査の迅速な実施が求められており、体制を整備していかなければならない状況にある。

これらの課題に対応し、大阪府教育委員会と一体となった文化財行政の効率的かつ効果的な推進を図るため、平成7年4月に(財)大阪文化財センターと(財)大阪府埋蔵文化財協会を発展的に統合して、財団法人大阪府文化財調査研究センターが設立された。

平成14年4月に(財)大阪府博物館協会との統合により名称を(財)大阪府文化財センターとし博物館協会がこれまで行っていた「日本民家集落博物館」の民家等を引き継ぎ、これの公開管理運営を行うとともに、大阪府の「弥生文化博物館」並びに「近つ飛鳥博物館」及び「近つ飛鳥風土記の丘」の管理運営を大阪府教育委員会から受託された。平成18年4月から指定管理者として「弥生文化博物館」、「近つ飛鳥博物館」、「近つ飛鳥風土記の丘」の管理運営を受託し、センターの本来事業と合わせて、文化財の発掘調査・研究・保存・公開展示及び普及啓発を総合的かつ効果的・経済的に推進し、もって大阪府の文化財行政に寄与していく。

## 2 沿革

昭和	47	.11	.28	・大阪府教育委員会の認可を受け、財団法人大阪文化財センター設立。
	48	.1	.10	・第二阪和国道発掘調査に伴う遺物整理事業に着手。
	48	.4	.1	・事務局を設置。(職員数12名)
	48	.5	.25	・第1回理事会において評議員を選出、評議員会を設置。
	51	.7	.26	・近畿自動車道天理～吹田線内に所在する遺跡の発掘調査に着手。
	55	.8	.19	・全国埋蔵文化財法人連絡協議会の設立に参画、副会長となる。
	57	.11	.27	・財団法人大阪文化財センター設立10周年記念式典を開催。
	58	.9	.1	・近畿自動車道天理～吹田線の発掘調査に伴う出土遺物の整理事業の開始。
	59	.6	.1	・都市計画道路と近畿自動車道と歌山線の併設区間の発掘調査に着手。
	60	.4	.1	・財団法人大阪府埋蔵文化財協会設立。
	61	.2	.28	・近畿自動車道天理～吹田線発掘調査終了記念事業(写真パネル展、講演会、映画会)を開催。
	～	3	.4	
平成元	4	.1		・都市計画道路松原泉大津線と近畿自動車道と歌山線の併設区間の発掘調査に伴う出土遺物の整理事業の開始。
				・大阪府恩智川治水緑地建設予定地内遺跡の発掘調査に着手。

平成	2	. 4	. 1	・大阪府新庁舎建設整備事業地内の大坂城跡発掘調査に着手。
	2	. 9	. 1	・財団法人大阪府博物館協会設立。
	3	. 3	. 1	・大阪府より委託を受け、安威川総合開発事業に伴う文化財総合調査に着手。
	4	. 11	. 27	・財団法人大阪文化財センター設立20周年記念式典を開催。
	7	. 4	. 1	・財団法人大阪府埋蔵文化財協会と統合し、財団法人大阪府文化財調査研究センターと名称変更。
				・本部事務所を大阪市城東区蒲生2丁目1番3号小森ビル内に設置。新たに北部調査事務所を茨木市横江1丁目17-34に開設。旧財団法人大阪文化財センター長田分室を中部調査事務所とし、旧財団法人大阪府埋蔵文化財協会泉大津調査事務所を南部調査事務所とする。
				・組織の改正により、総務部、調査部の2部制とし、総務部に総務課、普及資料課を置き、調査部に調整課及び北部、中部、南部の3調査事務所を置く。
	7	. 10	. 3	・史跡整備事業に初めて着手（池上曾根遺跡）。
	7	. 12	. 15	・南部調査事務所を堺市熊野町西1丁2-22に移転。
	8	. 9	. 30	・北部調査事務所を箕面市今宮3丁目19-2に移転。
	9	. 2	. 12	・泉佐野収蔵庫竣工。
	9	. 3	. 31	・泉ヶ丘資料室（堺市竹城台3-21-4）竣工。
	10	. 1	. 12	・南阪奈道路関連の調査事業に着手するため、南部調査事務所古市分室を羽曳野市 軽里3丁目1-13に開設。
	10	. 3	. 31	・南部調査事務所泉北分室を閉鎖。
	12	. 8	. 21	・本部事務所を 堺市竹城台3丁21番4号に移転する。
	13	. 2	. 1	・南部調査事務所を 堺市南田出井町1丁目1番10号に移転する。
	13	. 10	. 31	・泉佐野収蔵庫を泉佐野市に移管する。
	14	. 4	. 1	・財団法人大阪府博物館協会と統合し、財団法人大阪府文化財センターに名称変更。
				・組織の改正により、総務部、調査部、普及部の3部及び弥生文化博物館部、近つ飛鳥博物館部、日本民家集落博物館部の3博物館部を置く。
				・日本民家集落博物館の管理運営、並びに大阪府立弥生文化博物館及び大阪府立近つ飛鳥博物館の管理運営の受託事業を財団法人大阪府博物館協会より引継ぎ、実施。
	14	. 11	. 1	・泉佐野収蔵庫（市に移管した収蔵庫の北西隣接地に）竣工。
	15	. 3	. 31	・北部調査事務所を閉鎖。
	15	. 4	. 1	・第二京阪道路建設の調査事業の増加に伴い、京阪支所を寝屋川市堀溝1丁目1-15に開設、京阪支所交野分室を交野市藤が丘1丁目2に開設。
	16	. 4	. 1	・京阪支所を京阪調査事務所に、中部調査事務所池島分室を池島支所に名称変更。
	18	. 1	. 31	・泉佐野第二収蔵庫を泉佐野市高松西2丁目2に竣工。
	18	. 4	. 1	・大阪府立弥生文化博物館、大阪府立近つ飛鳥博物館及び近つ飛鳥風土記の丘の管理運営を指定管理者として受託。
	19	. 4	. 1	・京阪調査事務所交野分室を京阪調査事務所に、京阪調査事務所整理棟を寝屋川分室に名称変更。京阪調査事務所門真分室を門真市岸和田2丁目5-32に開設。
	20	. 4	. 1	・組織の改正により、総務部を総務企画部に改め、普及部を廃止し、調査部に資料活用課を置く。
	20	. 7	. 31	・京阪調査事務所門真分室を閉鎖。
	21	. 3	. 31	・京阪調査事務所寝屋川分室を閉鎖。
	21	. 4	. 1	・組織の改正により、調査事務所及び係制を廃止。総務企画課に総務企画グループを置く。調整課を廃止して調査課を置き、調査課に調整グループ及び調査グループを置く。（各調査事務所、分室、支所は施設名とする。）本部事務所に南部調査事務所を併設。
	21	. 5	. 31	・古市分室を閉鎖。
	23	. 3	. 31	・京阪調査事務所を閉鎖。

### 3 概要

#### (1) 目的

大阪府下における文化財の調査、整理、保存、研究、整備及び活用を行い、大阪府の文化財の保護並びに文化財に対する理解と認識を深めることに寄与する。

#### (2) 事業

設立趣旨に基づき次の事業を行う

- ① 埋蔵文化財の調査、整理、保存、研究及び活用
- ② 史跡、名勝及び天然記念物の調査、保存、研究、整備及び活用
- ③ 有形・無形・民俗文化財の調査、保存、研究、整備及び活用
- ④ 文化財に関する資料、情報の収集及び管理
- ⑤ 文化財の普及啓発
- ⑥ 日本民家集落博物館の管理及び運営
- ⑦ 大阪府が設置する博物館の管理及び運営の受託
- ⑧ 大阪府立近つ飛鳥風土記の丘の管理及び運営の受託
- ⑨ その他目的を達成するために必要な事業

#### (3) 出資者

財団法人大阪府博物館協会、大阪府、松下電器産業株式会社、住吉大社、四天王寺、財団法人藤田美術館

#### (4) 基本財産

116,700 千円

#### (5) 機構《施設所在地》

本部事務所	堺市南区竹城台 3 丁 21 番 4 号
中部調査事務所・資料室	東大阪市長田東 1 丁目 9 番 16 号
南部調査事務所	堺市南区竹城台 3 丁 21 番 4 号
中部調査事務所池島支所	八尾市福万寺町 8 丁目地先
高石収蔵庫	高石市綾園 4 丁目地先
岸和田収蔵庫	岸和田市磯上町 1 丁目地先
泉佐野収蔵庫	泉佐野市上之郷（地内）
泉佐野第二収蔵庫	泉佐野市高松西 2 丁目 2430-1
大阪府立弥生文化博物館	和泉市池上町 4 丁目 8 番 27 号
大阪府立近つ飛鳥博物館	南河内郡河南町大字東山 299 番地
日本民家集落博物館	豊中市服部緑地 1 番 2 号

(6) 役員・評議員及び職員

a 役員

(平成 22 年 3 月 31 日 現在)

理事長	水野 正好	奈良大学 文学部名誉教授
専務理事	中平 正子	専任
理事	大橋 太朗 金関 恕 釜谷 行藏 近藤 公夫 白石 太一郎 須藤 健一 高野 浩二 田邊 征夫 中西 正人 福岡 澄男 藤 洋作 町田 章 領木 新一郎	阪急電鉄株式会社 相談役 大阪府立弥生文化博物館館長 財団法人 大阪府私学総連合会 代表 (学校法人 履正社 理事長) 奈良女子大学 名誉教授 大阪府立近つ飛鳥博物館館長 大学共同利用機関法人人間文化研究機構 国立民族学博物館館長 元沖縄開発庁 沖縄総合事務局次長 独立行政法人国立文化財機構 奈良文化財研究所 所長 大阪府教育委員会教育長 (財) 大阪府文化財センター 前普及部長 関西電力株式会社 相談役 元奈良文化財研究所 所長 大阪ガス株式会社 相談役
監事	藤田 周子 真川 正満	(財) 藤田美術館 理事兼館長 公認会計士・税理士
顧問	坪井 清足	財団法人元興寺文化財研究所 副理事長兼所長

b 評議員

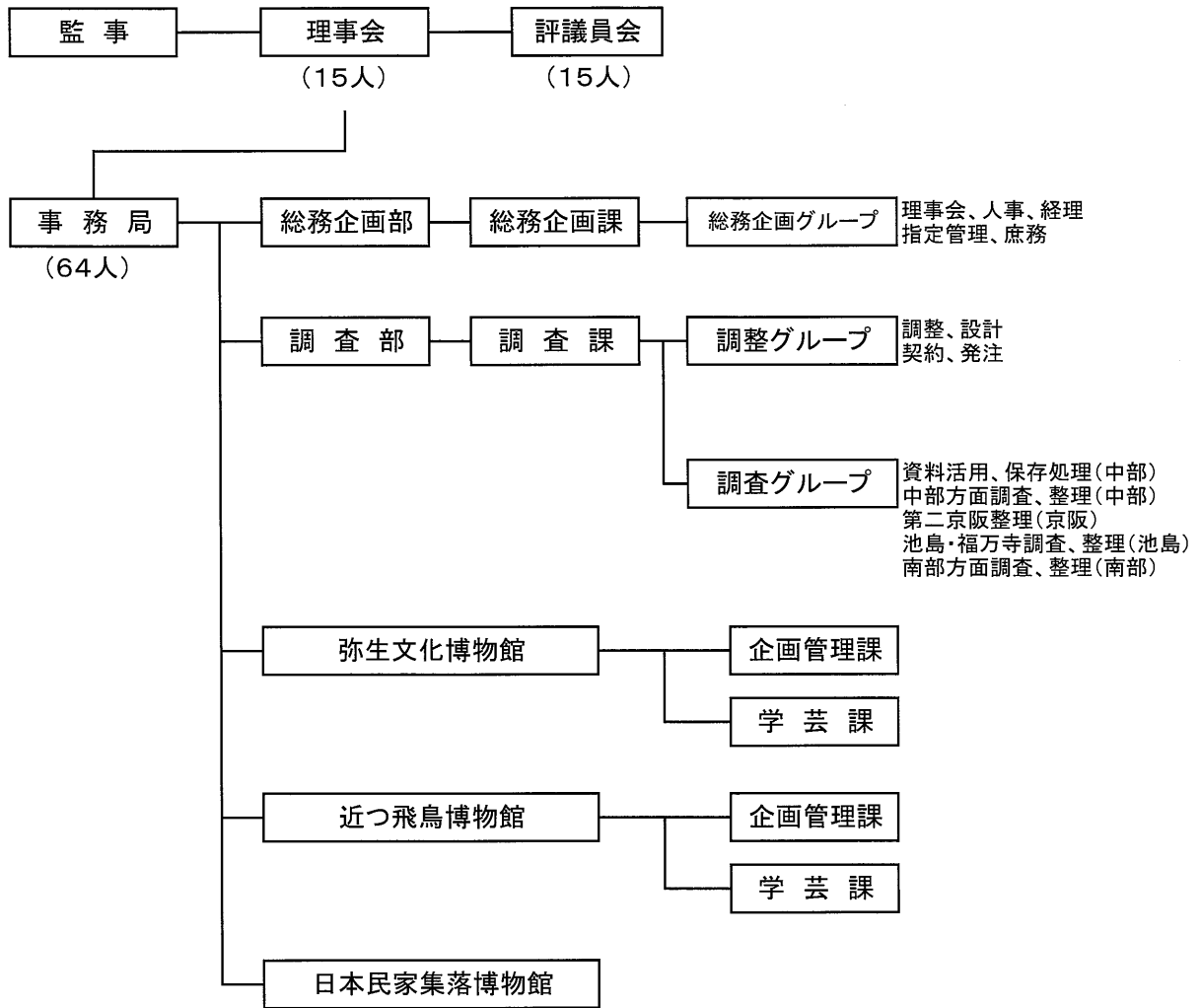
有川 春代	アーツ&クラフツ チタチタ代表
池田 良治	弁護士
蔵口 康裕	あずさ監査法人 大阪事務所公認会計士
坂井 秀弥	奈良大学文学部文化財学科 教授
佐藤 茂弘	ボーイスカウト大阪連盟 泉州地区協議会 相談役
沢田 正昭	国土舘大学大学院 グローバルアジア研究科 21世紀アジア学部教授
杉本 尚次	大阪人間科学大学人間科学部教授
竹林 弘美	大阪府都市教育長協議会 代表 (藤井寺市教育委員会教育長)
都出 比呂志	大阪大学 名誉教授
那谷 定彦	大阪府町村教育長会 会長 (太子町教育委員会教育長)
野口 雅昭	大阪府教育委員会事務局 文化財保護課長
狭間 恵三子	サントリー株式会社大阪秘書室課長 (財) 大阪観光コンベンション協会情報発信担当部長
藤本 裕子	メディアプロデューサー
真弓 常忠	住吉大社 宮司
南谷 恵敬	和宗総本山四天王寺 執事 法務部長

C 職 員

(平成 23 年 3 月 31 日 現在)

職 名	氏 名	職 名	氏 名
総務企画部長	井上 忠	技師	鹿野 罌
総務企画課長兼総務企画グループ長	秋山 芳廣	副主査	奥村 茂輝
総務企画総括主査	白橋 哲	技師	新海 正博
副主査	宮本 哲男	京阪総括主査	三好 孝一
副主査	栗山さよ子	主査	陣内 暢子
総括学芸員(副主査)	山城 統	主査	村上富喜子
嘱託	酒井 則和	副主査	佐伯 博光
調査部長兼調査課長	福田 英人	技師	福佐美智子
調整グループ長	江浦 洋	南部総括主査	森屋美佐子
主幹(調整総括)	岡本 茂史	主査	小野 久隆
主査	西村 歩	主査	中村 淳磯
副主査	後川恵太郎	副主査	川瀬 貴子
副主査	中尾 智行	主幹(池島・福万寺総括)	金光 正裕
副主査	田渕 紀江	主査	駒井 正明
副主査	亀井 聡	主査	後藤 信義
技師	竹内 秀喜	副主査	三宮 昌弘
調査グループ長	岡戸 哲紀	副主査	岡本 圭司
主査	片山 彰一	技師	井西 貴子
資料活用総括主査	村上 年生	副主査	若林 幸子
主査	山口 誠治	技師	塚本 浩司
副主査	河端 智	副館長兼企画管理課長	福井 克次
中部総括主査	秋山 浩三	主任	峠 美穂
主査	辻本 武	学芸課長	合田 幸美
副主査	本間 元樹	主任学芸員	永野 仁
副主査	島崎 久恵	主任学芸員	正岡 大実
副主査	市村慎太郎	副館長兼企画管理課長	浅田 稔
技師	奥 和之	事務主任	村田 将
副主査	伊藤 武	広報主任	松浦 暢久
副主査	信田真美世	学芸課長	市本 芳三
副主査	井上 智博	総括学芸員(主査)	森本 徹
副主査	黒須亜希子	総括学芸員(副主査)	廣瀬 時習
技師	枅本 哲	日本民家集落博物館副館長	金田 真人
		総括学芸員(副主査)	小島 久美

d 機 構



## II 平成22年度の事業概要及び決算

### 1 理事会及び評議員会

以下のとおり理事会及び評議員会を開催し、上程議案はいずれも承認又は可決された。

年月日	会議名称	場 所	議 案
平成22年6月25日	第1回評議員会	財団法人 大阪府文化財センター 1階講義室	1.平成21年度事業報告及び決算について 2.平成22年度補正予算書(案)について
	第1回理事会	財団法人 大阪府文化財センター 1階講義室	1.平成21年度事業報告及び決算について 2.平成22年度補正予算書(案)について 3.評議員の選出について 4.公益認定申請に伴う最初の評議員選定委員会の設置について
平成22年10月27日	第2回評議員会	財団法人 大阪府文化財センター 1階講義室	1.平成22年度第二次補正予算書(案) 及び平成22年度事業計画の補正について 2.公益認定申請に係る理事及び監事の選任について 3.役員(専務理事)の公募について
	第2回理事会	財団法人 大阪府文化財センター 1階講義室	1.平成22年度第二次補正予算書(案) 及び平成22年度事業計画の補正について 2.評議員選定委員の承認について 3.公益認定申請に係る最初の評議員候補者の承認について 4.公益認定申請に係る代表理事の選任について 5.役員(専務理事)の公募について
平成22年12月13日	第3回評議員会	財団法人 大阪府文化財センター 1階講義室	1.公益法人への移行認定申請書(案)の承認について 2.定款の変更(案)の承認について 3.役員報酬規程の変更(案)の承認について
	第3回理事会	財団法人 大阪府文化財センター 1階講義室	1.最初の評議員の選任報告について 2.公益法人への移行認定申請書(案)の承認について 3.定款の変更(案)の承認について 4.役員報酬規程の変更(案)の承認について
平成23年2月23日	第4回評議員会	大阪府立弥生文化博物館 1階ホール	1.公益認定申請に係る理事の選任について 2.公益認定申請に係る監事の選任について
	第4回理事会	大阪府立弥生文化博物館 1階ホール	1.公益認定申請に係る業務執行理事の選定について
平成23年3月23日	第5回評議員会	財団法人 大阪府文化財センター 1階講義室	1.平成22年度第三次補正予算書(案)について 2.平成23年度事業計画書(案)及び収支予算書(案)について
	第5回理事会	財団法人 大阪府文化財センター 1階講義室	1.平成22年度第三次補正予算書(案)について 2.平成23年度事業計画書(案)及び収支予算書(案)について

## 2 決 算

### 収 支 計 算 書 総 括 表

(平成 22 年 4 月 1 日から平成 23 年 3 月 31 日まで)

科 目		一般会計	弥生文化博物館 特別会計	近つ飛鳥博物館 特別会計
I	事業活動収支の部			
1.	事業活動収入			
	① 基本財産運用収入	1,658,530	0	0
	② 特定資産運用収入	14,755,462	0	0
	③ 会費収入	0	0	0
	④ 事業収入	1,385,454,760	136,734,685	157,238,476
	⑤ 補助金等収入	1,003,937	5,554,286	4,243,577
	⑥ 寄附金収入	0	0	0
	⑦ 雑収入	803,981	88,406	79,722
	⑧ 他会計からの繰入金収入	9,562,034	325,814	648,981
	事業活動収入計	1,413,238,704	142,703,191	162,210,756
2.	事業活動支出			
	① 事業費支出	1,297,589,399	140,998,270	159,637,884
	② 管理費支出	93,433,518	0	0
	③ 他会計への繰入金支出	748,700	2,049,460	3,712,574
	事業活動支出計	1,391,771,617	143,047,730	163,350,458
	事業活動収支差額	21,467,087	△ 344,539	△ 1,139,702
II	投資活動収支の部			
1.	投資活動収入			
	① 特定資産取崩収入	98,665,270	0	0
	② 敷金・保証金戻り収入	124,000	0	0
	投資活動収入計	98,789,270	0	0
2.	投資活動支出			
	① 特定資産取得支出	118,379,246	0	0
	② 固定資産取得支出	347,000	0	0
	投資活動支出計	118,726,246	0	0
	投資活動収支差額	△ 19,936,976	0	0
III	財務活動収支の部			
1.	財務活動収入	0	0	0
2.	財務活動支出	0	0	0
	財務活動収支差額	0	0	0
IV	予備費支出	0	0	0
	当期収支差額	1,530,111	△ 344,539	△ 1,139,702
	前期繰越収支差額	63,377,462	344,539	1,139,702
	次期繰越収支差額	64,907,573	0	0



(単位：円)

日本民家集落博物館 特別会計	財団自主事業 特別会計	府立博物館 自主事業特別会計	内部取引消去	合 計
0	0	0	0	1,658,530
648,840	0	130,350	0	15,534,652
3,300,000	0	0	0	3,300,000
12,508,029	7,094,844	10,125,370	△ 486,405	1,708,669,759
25,296,645	0	0	0	36,098,445
825,487	0	150,000	0	975,487
433,351	34,039	1,822,670	0	3,262,169
748,700	0	0	△ 11,285,529	0
43,761,052	7,128,883	12,228,390	△ 11,771,934	1,769,499,042
42,924,280	3,195,869	9,412,524	△ 486,405	1,653,271,821
0	0	0	0	93,433,518
0	3,800,000	974,795	△ 11,285,529	0
42,924,280	6,995,869	10,387,319	△ 11,771,934	1,746,705,339
836,772	133,014	1,841,071	0	22,793,703
6,113,250	0	0	0	104,778,520
0	0	0		124,000
6,113,250	0	0	0	104,902,520
6,981,566	0	14,000,000	0	139,360,812
0	0	0	0	347,000
6,981,566	0	14,000,000	0	139,707,812
△ 868,316	0	△ 14,000,000	0	△ 34,805,292
0	0	0	0	0
0	0	0	0	0
0	0	0	0	0
0	0	0	0	0
△ 31,544	133,014	△ 12,158,929	0	△ 12,011,589
782,229	0	17,057,268		82,701,200
750,685	133,014	4,898,339	0	70,689,611

### 3 調査事業の概要

#### (1) 調査事業一覧

管轄	遺跡〔内容〕	調査地	受託事業名	工事・委託名 報告書名	事業者	事業の種別	受託契約期間
京阪調査事務所	1 高宮遺跡07-1・08-1〔整理〕	寝屋川市高宮・小路	第二京阪道路高宮遺跡他遺物整理	高宮遺跡－遺物編－ 太秦遺跡、高宮遺跡、 讚良郡条里遺跡	国土交通省近畿 地方整備局浪速 国道事務所	道路建設	H22.4.1～ H22.10.29
	2 讚良郡条里遺跡06-1・ 08-1〔整理〕	寝屋川市高宮・小路					
	3 太秦遺跡08-1〔整理〕	寝屋川市打上					
	4 私部南遺跡06-2〔整理〕	交野市向井田1丁目 目他	平成22年度第二京阪 道路（一般国道1号） 建設事業（大阪府域） に伴う埋蔵文化財発掘 調査遺物整理作業（私 部南遺跡他）	私部南遺跡II	西日本高速道路 株式会社 関西 支社 枚方工事 事務所	道路建設	H22.4.1～ H23.3.31
	5 私部南遺跡07-1〔整理〕	交野市私部南1丁目 目他					
	6 上の山遺跡〔整理〕	交野市私部西5丁目 目他					
	7 上私部遺跡〔整理〕	交野市青山2丁目					
	8 有池遺跡〔整理〕	交野市青山4丁目	第二京阪道路私部南遺 跡他遺物整理	私部南遺跡III 有池遺跡・上私部遺 跡・上の山遺跡	国土交通省近畿 地方整備局浪速 国道事務所		
	9 讚良郡条里遺跡09-1 〔調査・整理〕	寝屋川市讚良東町	寝屋川北部地下河川 讚良立坑築造工事に伴 う讚良郡条里遺跡発掘 調査	讚良郡条里遺跡（事業 者発注） 讚良郡条里遺跡X	大阪府寝屋川水 系改修工営所	治水（地下河 川）建設	H21.10.26～ H23.1.31
中部調査事務所	10 止々呂美城跡隣接地09-1 〔確認〕	箕面市下止々呂美	平成21年度高速自動 車国道近畿自動車道名 古屋神戸線建設事業に 伴う埋蔵文化財発掘調 査（箕面市域）その1	止々呂美城跡隣接地発 掘調査（確認）に伴う 工事	西日本高速道路 株式会社関西支 社	高速道路建設	H22.1.18～ H22.4.15
	11 止々呂美城跡09-1 〔調査〕	箕面市下止々呂美	高速自動車国道近畿自 動車道名古屋神戸線建 設事業に伴う埋蔵文化 財発掘調査（箕面市 域）その2	止々呂美城跡発掘調査 に伴う工事	西日本高速道路 株式会社関西支 社	高速道路建設	H22.2.1～ H24.9.28
	12 成合・宮が谷地区10-1 〔確認〕	高槻市成合町・成 合南の町・宮が谷 町	近畿自動車道名古屋神 戸線建設事業（高槻～ 箕面間）と主要地方道 伏見柳谷高槻線バイパ ス（仮称：高槻東道 路）事業との同時施工 に伴う埋蔵文化財調査 （その1）  近畿自動車道名古屋神 戸線建設事業（高槻～ 箕面間）と主要地方道 伏見柳谷高槻線バイパ ス（仮称：高槻東道 路）事業との同時施工 に伴う埋蔵文化財調査 業務委託	成合・宮が谷地区発掘 調査（確認）に伴う工 事	西日本高速道路 株式会社関西支 社  大阪府茨木土木 事務所	高速道路建設	H22.8.2～ H23.2.28
	13 安満遺跡隣接地10-1 〔確認〕	高槻市萩之庄一丁 目及び萩之庄二丁 目	主要地方道伏見柳谷高 槻線（仮称）高槻東道 路の工事用進入路整備 にかかる安満遺跡隣接 地発掘調査委託	安満遺跡隣接地（事業 者発注）	大阪府茨木土木 事務所	高速道路建設	H22.11.1～ H23.2.28
	14 千提寺地区10-1〔確認〕	茨木市千提寺・大 岩	高速自動車国道近畿自 動車道名古屋神戸線建 設事業に伴う埋蔵文化 財発掘調査（茨木市 域）その1	千提寺地区発掘調査 （確認）に伴う工事	西日本高速道路 株式会社関西支 社	高速道路建設	H23.2.1～ H23.3.31
15 吹田操車場遺跡09-1 〔調査〕	吹田市片山町1丁目	吹田（信）基盤整備工 事（貨物専用道路）に 伴う吹田操車場遺跡発 掘調査10	吹田操車場遺跡（事業 者発注）	独立行政法人鉄 道建設・運輸施 設整備支援機構 国鉄精算事業西 日本支社	信号場基盤整 備 （貨物専用道 路）	H21.4.1～ H22.7.30	

埋蔵文化財の発掘調査及び出土遺物の整理を事業施行者の委託を受けて、下記のとおり実施した。

今年度事業費	総面積	今年度面積 [コナテナ数]	時期・性格	主な遺構・遺物	担当者	備考
8,817,900		[186]	縄文時代～中世 集落・墓域	方形周溝墓・竪穴建物・掘立柱建物・掘立柱倉庫群・土坑墓・井戸・古道 縄文土器・弥生土器・土師器・須恵器・陶磁器・瓦・鉄製品・銅製品(鏡)・石製品・礎石	奥村茂輝	
100,636,317		0	古墳時代～中世 集落	溝 須恵器・土師器・瓦器・陶磁器・瓦		報告書印刷のみ
21,643,533		[310]	縄文時代～中世 集落・生産	掘立柱建物・竪穴建物・土坑・溝・井戸・耕作跡・水田・流路 縄文土器・弥生土器・土師器・須恵器・製塩土器・瓦器・黒色土器・陶磁器・石器・鉄製品	三好孝一 佐伯博光 船築紀子 (吉田綾子)	
21,673,050	1,786	1,538 [49]	縄文時代～近世	竪穴建物・掘立柱建物・井戸・土坑・溝・水田跡・島跡 須恵器・土師器・石製品・金属製品	福佐美智子 (小林千夏)	平成21～22年度
0	195	0	近代～	自然地形 陶磁器・瓦・土師器	市村慎太郎	
44,616,600	22,857	17,987	中世～近世	耕作痕・盛土 陶磁器・金属製品	岡戸哲紀	信田真美世 平成21～24年度
17,259,169						
	1,036	1,036	中世～近世	柱穴・土坑 陶磁器・土師器・須恵器	伊藤 武	
18,107,981						
6,435,450	249	249	中近世	土坑・井戸・柱穴・溝 陶磁器・土師器・須恵器	奥 和之	
4,176,900	26	26	近世～	土坑 陶磁器・土師器	辻本 武	
9,814,350	2,067	290	縄文時代～近世 集落・生産	畝・鋤溝・池・溝・土坑・土坑墓・焼土坑・谷状地形 弥生土器・須恵器・土師器・黒色土器・瓦器・陶磁器・輸入陶磁器・土製品・金属製品・石製品・木製品	新海正博	平成21～22年度

管轄	遺跡〔内容〕	調査地	受託事業名	工事・委託名 報告書名	事業者	事業の種別	受託契約期間
中部 調査 事務所	16 吹田操車場遺跡10-1 〔調査・整理〕	吹田市芝田町他	吹田（信）基盤整備工 事に伴う吹田操車場遺 跡遺物整理1 1	吹田操車場遺跡（事業 者発注）  吹田操車場遺跡C地点 （事業者発注）  吹田操車場遺跡V 一吹田操車場遺跡・同 C地点・明和池遺跡一	独立行政法人鉄 道建設・運輸施 設整備支援機構	信号場基盤整 備	H22. 4. 1～ H23. 3. 15
	17 吹田操車場遺跡C地点 10-1〔調査・整理〕	吹田市芝田町他					
	18 吹田操車場遺跡09-2 〔整理〕	吹田市芝田町・平 松町・目俣町					
	19 明和池遺跡09-1〔整理〕	摂津市千里丘7丁目					
	20 吹田操車場遺跡10-3 〔調査・整理〕	吹田市片山町1丁目	吹田（信）基盤整備工 事（貨物専用道路）に 伴う吹田操車場遺跡発 掘調査1 2	吹田操車場遺跡（事業 者発注）  吹田操車場遺跡VI	独立行政法人鉄 道建設・運輸施 設整備支援機構 国鉄精算事業西 日本支社	信号場基盤整 備 （貨物専用道 路）	H22. 8. 2～ H23. 9. 30
	21 吹田操車場遺跡09-1 〔整理〕	吹田市片山町1丁目					
	22 吹田操車場遺跡10-2 〔調査〕	吹田市芝田町	吹田操車場跡地地区 平成22年度埋蔵文化財 発掘調査業務	吹田操車場遺跡・明和 池遺跡（区画整理その 2）発掘調査に伴う工 事  吹田操車場遺跡（事業 者発注）	独立行政法人都 市再生機構西日 本支社	土地区画整理	H22. 6. 1～ H23. 3. 31
	23 明和池遺跡10-1〔調査〕	摂津市千里丘7丁目					
	24 新小阪遺跡08-1 〔整理〕	東大阪市新上小阪	大阪府営東大阪新上小 阪住宅民活プロジェク トに伴う新上小阪遺跡 発掘調査	新上小阪遺跡III	中道・コーナン 特定建設工事共 同企業体 （大阪府住宅ま ちづくり部住宅	集合住宅建設	H20. 9. 1～ H22. 12. 22
	25 植松遺跡08-1〔整理〕	八尾市植松町8丁目	大阪府営八尾植松（第 2期）住宅（建て替 え）建設工事に伴う植 松遺跡遺物整理（その 2）	植松遺跡2	経営室住宅整備  大阪府住宅まち づくり部住宅経 営室住宅整備課	集合住宅建設	H20. 11. 4～ H22. 11. 30
	26 北島池遺跡09-1・若江北 遺跡09-1〔調査・整理〕	東大阪市若草町地 内 東大阪市若江西新 町3丁目	大阪府営水道 中期整 備事業 系統連絡送水 管布設工事に伴う若江 北遺跡・北島池遺跡発 掘調査委託	若江北遺跡（事業者発 注）  若江北遺跡・北島池遺 跡	大阪府東部水道 事業所	送水管布設	H22. 1. 4～ H23. 2. 28
	27 禁野本町遺跡10-1 〔調査〕	枚方市禁野本町二 丁目1844-1他	公務員宿舍枚方住宅 （I期）整備事業民活 プロジェクトに伴う禁 野本町遺跡発掘調査	禁野本町遺跡（事業者 発注）	株式会社淺沼組 （財務省近畿財 務局）	公務員宿舍建 設	H22. 5. 1～ H24. 7. 31
	28 久宝寺遺跡09-1〔整理〕	八尾市西久宝寺	寝屋川流域下水道中央 南増補幹線（一）人孔 築造工事外に伴う久宝 寺遺跡発掘調査（その 3）	久宝寺遺跡	大阪府東部流域 下水道事務所	下水道人孔築 造工事	H22. 1. 4～ H22. 6. 30
	29 久宝寺遺跡10-1〔調査〕	八尾市西久宝寺・ 北久宝寺3丁目	高速自動車国道近畿自 動車道天理吹田線八尾 パーキングエリア新設 事業に伴う埋蔵文化財 発掘調査（八尾市域）	久宝寺遺跡（事業者発 注）	西日本高速道路 株式会社関西支 社吹田管理事務 所	PA建設	H22. 11. 1～ H25. 9. 30
30 瓜生堂・岩田・花屋敷遺 跡10-1〔調査〕	東大阪市西岩田1 丁目他	近畿日本鉄道奈良線連 続立体交差化に伴う瓜 生堂遺跡他発掘調査	瓜生堂・岩田・花屋敷 遺跡（事業者発注）	近畿日本鉄道	鉄道建設	H22. 9. 1～ H24. 2. 29	

今年度事業費	総面積	今年度面積 [ポイント数]	時期・性格	主な遺構・遺物	担当者		備考
19,053,301	2,175	114 [17]	古代～中世	土坑墓・溝・掘立柱建物・柱穴・河川 土師器・須恵器・黒色土器・石製品	辻本 武		
		360 [4]					
		[17]	弥生時代～中世 集落・生産	掘立柱建物・鋤溝・土坑・井戸・ピット 弥生土器・土師器・須恵器・瓦器・陶磁器			
33,514,950	2,560	2,560 [15]	弥生～中世	耕作溝・区画溝・土坑・谷状地形 弥生土器・土師器・須恵器・黒色土器・瓦器・ 陶磁器	奥村茂輝		
	2,067	[70]	古代～中近世 集落・生産	畝・鋤溝・池・溝・土坑・土坑墓・焼土坑・谷 状地形 弥生土器・須恵器・土師器・黒色土器・瓦器・ 陶磁器・土製品・金属製品・石製品・木製品	新海正博		
80,815,350	3,064	3,064	弥生～中世 集落・生産	竪穴建物・掘立柱建物・土坑・ピット・落ち込 み・溝・流路・畦畔 弥生土器・土師器・須恵器・黒色土器・瓦器・ 陶磁器・瓦・サヌカイト片・銭貨	橋本 哲	鹿野 塁	
11,367,300	2,918	[90]	弥生時代～中世 集落・生産・墓	掘立柱建物・方形周溝墓・落ち込み・土坑・ 溝・柱穴 弥生土器・土師器・須恵器・黒色土器・瓦器・ 陶磁器・石製品・玉類・木製品・土製品	伊藤 武 (河本純一)	林 日佐子	平成20～22年度
11,272,800	1,033	[30]	弥生時代～中世 集落・生産	竪穴建物・土器溜り・水田・島畠・溝・土坑・ 落ち込み・流路 縄文土器・弥生土器・土師器・須恵器・瓦器・ 陶磁器・獣歯・木製品	黒須亜希子		平成20～22年度
20,193,600	321	174	弥生時代～中世 集落・生産	土坑・溝・柱穴・集石・土器集積・盛土・水田 弥生土器・土師器・須恵器・瓦器・陶磁器・ 瓦・石製品・木製品	信田真美世		平成21～22年度
73,269,000	9,228	7,512	弥生時代～中 世・近代 生産・集落・軍 争施設	掘立柱建物・柵列・溝・井戸・土坑・柱穴・落 ち込み・倉庫・土塁・軌道敷 弥生土器・土師器・須恵器・緑釉陶器・灰釉陶 器・墨書土器・製塩土器・瓦器・陶磁器・瓦・ 砲弾・煉瓦・枕木	本間元樹 奥 和之 (水久保祥子) (櫻田小百合)	市村慎太郎 島崎久恵 (前田俊雄) (村上智見) (河本純一)	平成22～24年度
154,350	100	0	弥生時代～中世 生産・集落	溝・ピット・落ち込み・流路 弥生土器・土師器・須恵器・瓦器・陶磁器	奥村茂輝		平成21～22年度 報告書印刷のみ
0	1,568	0	縄文時代～中世 生産・集落	無	福佐美智子	小林千夏	平成22～25年度 契約のみ
0	761	625	弥生時代～中世 生産・集落・墓	掘立柱建物・方形周溝墓・土坑・柱穴・溝・流 路・落ち込み・水田 弥生土器・土師器・須恵器・埴輪・瓦器・陶磁 器・瓦・土製品・木製品・石製品・石器・銭貨	井上智博 (河本純一)	黒須亜希子	平成22～23年度 契約のみ

管轄	遺跡〔内容〕	調査地	受託事業名	工事・委託名 報告書名	事業者	事業の種別	受託契約期間	
池島支所	31 池島・福万寺遺跡08-1〔調査〕	八尾市福万寺町6丁目	一級河川恩智川治水緑地池島・福万寺遺跡Ⅱ発掘調査(その9)	池島・福万寺遺跡Ⅱ(その9-1)	大阪府寝屋川水系改修工営所	治水緑地造成	H20.9.1.~ H22.8.31	
	32 池島・福万寺遺跡08-2〔調査〕	東大阪市池島町5丁目	一級河川恩智川治水緑地池島・福万寺遺跡Ⅱ発掘調査(その10)	池島・福万寺遺跡Ⅱ(その10-1)	大阪府寝屋川水系改修工営所	治水緑地造成	H20.9.1.~ H22.9.30	
	33 池島・福万寺遺跡08-1〔整理〕	八尾市福万寺町6丁目	一級河川恩智川治水緑地池島・福万寺遺跡Ⅱ遺物整理(その1)	池島・福万寺遺跡Ⅱ(その9)	大阪府寝屋川水系改修工営所	治水緑地造成	H22.9.1.~ H23.3.15	
	34 池島・福万寺遺跡08-2〔整理〕	東大阪市池島町5丁目		池島・福万寺遺跡Ⅱ(その10)	大阪府寝屋川水系改修工営所	治水緑地造成		
	35 池島・福万寺遺跡09-1〔調査〕	八尾市福万寺町6丁目	一級河川恩智川治水緑地池島・福万寺遺跡Ⅱ発掘調査(その11)	池島・福万寺遺跡Ⅱ(その11-1)	大阪府寝屋川水系改修工営所	治水緑地造成	H21.6.1~ H23.6.30	
	池島・福万寺遺跡07-1〔整理〕	八尾市福万寺町8丁目	池島・福万寺遺跡10					
	36 池島・福万寺遺跡09-2〔調査〕	東大阪市池島町7丁目	一級河川恩智川治水緑地池島・福万寺遺跡Ⅱ発掘調査(その12)	池島・福万寺遺跡Ⅱ(その12-1)	大阪府寝屋川水系改修工営所	治水緑地造成	H21.6.1~ H23.6.30	
		池島・福万寺遺跡07-2〔整理〕		東大阪市池島町7丁目				池島・福万寺遺跡11
	南部調査事務所	37 池内遺跡09-3〔調査・整理〕	松原市天美東1・2・4丁目	都市計画道路 大阪河内長野線 池内遺跡(その2)発掘調査委託	池内遺跡(府道その2)	大阪府富田林土木事務所	道路建設	H21.11.2~ H23.11.30
		38 若山遺跡08-1〔整理〕	松原市上田町6丁目	(仮称)松原ポンプ場築造工事に伴う若山遺跡遺物整理に係る委託	若山遺跡	大阪府水道部南部水道事業所	ポンプ場建設	H22.1.4~ H22.8.31
39 並松町遺跡10-1〔調査〕		堺市堺区並松町外	大阪府道高速大和川線建設事業埋蔵文化財(並松町遺跡)発掘調査業務	並松町遺跡(事業者発注)	阪神高速道路株式会社	道路建設	H22.2.1~ H24.10.31	
40 三宅西遺跡09-2〔整理〕		松原市三宅西5・6丁目	都市計画道路 大和川線外 三宅西遺跡(その2)遺物整理	三宅西遺跡Ⅱ	大阪府富田林土木事務所	道路建設	H22.4.1~ H22.6.30	
41 大和川今池遺跡09-1〔整理〕		松原市天美西4・7丁目	都市計画道路 大和川線外 大和川今池遺跡(その3)発掘調査	大和川今池遺跡Ⅲ	大阪府富田林土木事務所	道路建設	H22.4.1~ H22.7.31	
42 大和川今池遺跡10-1〔調査・整理〕		松原市天美西3丁目	都市計画道路 大和川線外 大和川今池遺跡(その4)発掘調査	大和川今池遺跡(事業者発注) 大和川今池遺跡Ⅳ	大阪府富田林土木事務所	道路建設	H22.4.1~ H23.3.31	
43 深井畑山窯跡群隣接地10-1〔確認〕		堺市中区深井畑山町	大阪府営水道中期整備事業「バイパス送水管布設工事」に伴う深井畑山窯跡群隣接地発掘調査(確認)委託	深井畑山窯跡群隣接地発掘調査(確認)に伴う工事	大阪府水道部南部水道事業所	送水管布設	H22.6.1~ H22.7.30	
44 信太千塚古墳群10-1〔確認〕	和泉市伯太町官有地	信太山(22)倉庫新設に伴う文化財調査	信太千塚古墳群発掘調査(確認)に伴う工事	近畿中部防衛局	倉庫建設	H22.10.1~ H22.11.30		
45 鬼虎川遺跡10-1〔調査〕	東大阪市西石切町5丁目・宝町	送水管敷設替工事(4拡南部幹線・東大阪市)に伴う鬼虎川遺跡発掘調査委託	鬼虎川遺跡(事業者発注)	大阪府水道部東部水道事業所	送水管敷設	H22.12.1~ H24.1.31		

今年度事業費	総面積	今年度面積 [㎡/枚数]	時期・性格	主な遺構・遺物	担当者		備考
156,493,050	3,982	3,982	縄文時代～ 近世 生産・集落	水田・島島・溝・土坑・柱穴・井戸・流路 弥生土器・土師器・須恵器・瓦器・陶磁器・ 金属製品・石製品・木製品・瓦	駒井正明 (河本純一)	岡本圭司	平成20～22年度
140,278,950	3,673	3,673	縄文時代～ 近世 生産・集落	水田・島島・木棺墓・溝・土坑・掘立柱建物・ 柱穴・井戸 弥生土器・土師器・須恵器・陶質土器・ 瓦器・陶磁器・玉類・土製品・金属製品・ 石製品・木製品・獣魚骨	後藤信義 (前田俊雄)	井西貴子	平成20～22年度
52,196,550	3,982	[170]	縄文時代～ 近世 生産・集落	水田・島島・土坑墓・溝・土坑・掘立柱建物・ 柱穴・井戸 縄文土器・弥生土器・土師器・須恵器・ 陶質土器・陶磁器・玉類・土製品・金属製品・ 石製品・木製品	駒井正明	岡本圭司	
	後藤信義				井西貴子		
205,336,950	3,826	3,826	縄文時代～ 中近世 生産・集落	水田・畦畔・島島・溝	若林幸子 (藤田憲司)	塚本浩司	平成21～23年度
	3,775	[110]	縄文時代～ 中近世 生産・集落	水田・畦畔・島島・溝・流路 弥生土器・土師器・須恵器・瓦器・石器	井上智博		
241,094,700	4,220	4,220	縄文時代～ 中近世 生産・集落	水田・畦畔・島島・溝	金光正裕 (入江正則)	三宮昌弘	平成21～23年度
	3,791	[80]	縄文時代～ 中近世 生産・集落	水田・畦畔・島島・井戸・溝・土坑・流路 縄文土器・弥生土器・土師器・須恵器・ 黒色土器・瓦・木製品・鉄製品・石製品	島崎久恵		
62,681,850	7,590	5,288 [10]	古代～近世 生産・集落	溝・土坑・落ち込み・柱穴・水路・耕作跡・ 埴・土師器・須恵器・陶磁器・瓦	川瀬貴子		平成21～23年度
4,549,650	12,850	[25]	古墳時代～ 近世	畦畔・溝・井戸・水田・土坑・落ち込み 土師器・須恵器・埴輪・黒色土器・瓦器・ 陶磁器・瓦	柘本 哲		平成21～22年度
5,128,200	1,627	600	古代～近世	道路・土坑・ピット・溝・井戸 土師器・須恵器・瓦器・陶磁器	中村淳磯		平成22～24年度
2,282,700	1,147	[7]	縄文時代～ 近世 集落	掘立柱建物・溝・土坑・柱穴・井戸・流路・ 落ち込み 弥生土器・土師器・須恵器・瓦器・瓦・ 陶磁器	正岡大実		
4,447,800	664	[1]	古墳時代～ 近世 集落・生産	溝・土坑・柱穴 土師器・須恵器・黒色土器・瓦	森屋美佐子		
19,084,800	969	967 [28]	弥生時代～ 近世 集落・生産	竪穴建物・溝・土坑・柱穴・井戸・流路・ 落ち込み・畦畔 弥生土器・土師器・須恵器・瓦器・瓦・ 陶磁器・瓦・炉壁・石製品・木製品	小野久隆		
3,046,050	67	67	古墳時代 竊跡	削平	森屋美佐子		
3,068,100	95	95	古代～中世 古墳群	畑・谷 埴輪・須恵器・陶磁器・瓦	森屋美佐子		
0	148	0	縄文時代～ 中世 生産・集落・ 墓	無	小野久隆		平成22～23年度 契約のみ

## (2) 主な調査の概要

### a 京阪調査事務所

1. 高宮遺跡 07-1・08-1 [整理]
2. 讃良郡条里遺跡 06-1・08-1 [整理]
3. 太秦遺跡 08-1 [整理]

高宮遺跡 07-1・08-1 の調査において出土した遺物の整理作業を行った。その結果、当該調査で検出された土坑や溝が、古代（8世紀）から中世のものであることがわかった。

讃良郡条里遺跡 06-1・08-1 の調査において出土した遺物の整理作業を行った。その結果、06-1 調査で検出された竪穴建物が古墳時代前期に遡ること、08-1 で検出された溝・土坑の遺構群が古代（7世紀）から中世のものであることがわかった。

太秦遺跡 08-1 の調査において出土した遺物の整理作業を行ったが、遺物はいずれも小片であったため、調査で検出した遺構の時期を特定することはできなかった。

4. 私部南遺跡 06-2 [整理]
5. 私部南遺跡 07-1 [整理]
6. 上の山遺跡 [整理]
7. 上私部遺跡 [整理]
8. 有池遺跡 [整理]

第二京阪道路建設に伴う発掘調査の、最後の報告書である。そのため、大規模調査である私部南遺跡 06-2・07-1 と、工事施行の都合上最後に残された部分や追加などの小規模調査を収録している。

私部南 06-2 と 07-1 は隣接しており、合わせると延長が 1 km におよぶ。調査地内には、大きく南東-北西方向の谷と、その谷に隔たれた 4 つの平坦面が見られた。平坦面上は、主に弥生時代から平安・鎌倉時代の竪穴建物や掘立柱建物を検出している。谷内では、平安時代の耕作跡が見られるが大規模な開発が行われるのは鎌倉時代以降と考えられる。

### 9. 讃良郡条里遺跡 09-1 [調査・整理]

寝屋川北部地下河川讃良立坑築造に伴う発掘調査である。調査では、古墳時代中期から後期の竪穴建物や掘立柱建物を検出した。また遺構内から、初期須恵器や韓式土器・製塩土器などが出土しており、これまで讃良郡遺跡で想定されている馬飼集団や渡来人との関わりをさらに関連付けることとなった。

なお、古墳時代の竈や土坑内から、コムギの植物遺体が見つかっており、興味深い資料である。

### b 中部調査事務所

#### 10. 止々呂美城跡隣接地 09-1 [確認]

調査地は、箕面市北部の止々呂美に所在する。余野川左岸で、同川に注ぐ小河川の奥山川沿い平坦地であり、小字名は「奥の所」である。周知の遺跡である止々呂美城跡は、今回の調査地西側に位置する。調査以前には、止々呂美城跡の創築年代とされる 12 世紀後半以降の城郭関連資料や、周辺に多く見られる 14 世紀以降の石造物などが確認できる可能性が考えられた。調査では、上記の平坦地に 8 箇所の特レンチを設定したが、いずれにおいても厚さ 1.5～4 m 程の砂礫層が確認できたのみで、近代を遡る人為的な層は皆無であり、当初推定した資料は、全く確認できなかった。

近代以降の遺物包含層からではあるが、摩滅度が低い近世土師器皿片が出土しており、近世末には開



発の手が加わっていた可能性がある。堆積層からの推定として、19世紀以前は、東西の山に挟まれた谷部分を土石流とも考えられる堆積物が埋め始め、奥山川の流路固定以前に、流路が複数の河床を形成しながら堆積を繰り返し、上流域から下流域への傾斜地を形成したのだろう。その後、19世紀代に開発の手が加わり、近代に至り、大規模な平坦面形成が行われ、確認調査までの景観が形成されたと推測される。

#### 11. 止々呂美城跡 09－1〔調査〕

箕面市下止々呂美に所在する。西日本高速道路株式会社関西支社によって進められている高速自動車国道近畿自動車道名古屋神戸線建設事業に伴う調査である。調査は、調査範囲を2分割し、それぞれ1期調査区、2期調査区として実施する。平成22年度は、1期調査区について雑木林を伐採、現況の写真測量を実施した後、年度末より発掘調査に着手した。

#### 12. 成合・宮が谷地区 10－1〔確認〕

本調査は、近畿自動車道名古屋神戸線新設事業と主要地方道伏見柳谷高槻線バイパス事業との同時施工に伴う埋蔵文化財の確認調査で、対象地は高槻市成合南の町・宮が谷町・紅苺町にまたがっている。

平成22年8月5日から平成23年2月10日までの間に、22箇所の調査区(1,036㎡)を設定して確認調査を実施した。その結果、檜尾川左岸の山裾寄りの調査区から、古代から中世にかけての遺物が出土し、遺物包含層やピットが確認された。



12. 調査地から金龍寺を望む

この調査区の東側山中には、延暦9年(790)創建と伝えられる金龍寺跡があることから、山裾周辺にはそれに関連する遺跡が広がっているのではないかと推測される。

#### 13. 安満遺跡隣接地 10－1〔確認〕

主要地方道路整備に関わる確認調査である。JR東海道線を挟む東西約250m、南北約300mの範囲内に、14箇所のトレンチを設置して調査を行った。その結果、JR東海道線の南側を中心として、弥生時代～中世の遺構及び遺物を確認した。特に、調査範囲の最も南に設定したトレンチでは、幅3mを超える弥生時代と推測される大溝を検出し、当該時期の遺構面が周辺に広がる可能性が示された。

#### 14. 千提寺地区 10－1〔確認〕

高速自動車道路建設に関わる確認調査である。丘陵地斜面を整地して作られた平坦地上に、2箇所のトレンチを設定し、調査を行った。その結果、近現代耕作土の直下において水田及び段差を有する地山面を確認したが、すべて近代の造作によるものと推測される。近現代耕作土からは、土師器小皿の細片や陶磁器類が出土した。

#### 15. 吹田操車場遺跡 09－1〔調査〕

昨年度からの引き続きの基盤整備工事(貨物専用道路)に伴うものであり、吹田操車場遺跡においては西端にあたる。

縄文時代早期以前に流れていた谷があり、やや低まった地形となっていた。中世から近代まで連続と続く耕作地が広がっており、N-33°-Wに軸を持つ嶋下郡南部条里の坪境に相当するとみられる大畦畔や溝が確認された。

#### 16. 吹田操車場遺跡 10 - 1〔調査・整理〕

調査範囲が狭小であったため遺構の詳細については不明確な部分が多いが、土坑・井戸・ピット・自然河川を検出することができた。包含層から弥生土器・土師器の細片が出土した。調査終了後引き続き整理作業を行い、『吹田操車場遺跡V』を刊行し、本事業を終了した。

#### 17. 吹田操車場遺跡C地点 10 - 1〔調査・整理〕

発掘調査では、古代以前に形成された自然河川、古代の掘立柱建物・溝・小ピット群、中世の土壇墓・溝・落込みを検出した。土壇墓の底面には板を敷いており、中国製白磁碗が完形で出土した。これまで、吹田操車場遺跡では不明確であった古代から中世にかけての生活域が当該調査区を中心として広がっていることを確認することができた。

#### 18. 吹田操車場遺跡 09 - 2〔整理〕

平成 21 年度に実施した発掘調査の整理作業を行った。発掘調査では、掘立柱建物・土坑群・井戸を検出した。出土遺物は、弥生土器・古墳時代の須恵器が中心である。遺物の実測・トレース・写真撮影、遺構図面の整理、原稿の執筆、編集作業を行った後、『吹田操車場遺跡V』を刊行し、本事業を終了した。

#### 19. 明和池遺跡 09 - 1〔整理〕

吹田（信）基盤整備工事に伴い実施した発掘調査の整理作業を実施した。出土した遺物の洗浄・復元・実測、図面整理、トレース、写真撮影、原稿執筆及び集作業を行った。平成 21 年度から 22 年度にかけて行った成果と合わせて平成 23 年 3 月 15 日に『吹田操車場遺跡V』を刊行し、本事業を終了した。

#### 20. 吹田操車場遺跡 10 - 3〔調査・整理〕

吹田操車場遺跡 10 - 3 では同遺跡の東端部分の調査を行った。検出された遺構は、中世の耕作溝群、古代以前の土坑群・溝、古墳時代の溝等である。

古代以前の土坑群はいずれも、直径 1 m を超えるもので人為的に埋め戻された埋没状況を呈している。隣接する片山荒池遺跡で検出されている、古墳時代の粘土採取土坑との関連が想定される。古墳時代の遺構では、100 m 以上にわたる長大な溝の検出例が目される。この溝はその長さや方向から、これまで同遺跡で複数例確認されている古墳時代の区画溝と同じ性格を持つものと考えられる。出土遺物を整理した結果、中世の耕作溝は鎌倉から室町時代のもの、古墳時代の溝は 6 世紀代のものであることがわかった。

#### 21. 吹田操車場遺跡 09 - 1〔整理〕

15 で報告した調査終了後、引き続き整理作業を行った結果、中世を中心に丘陵末端にあたる部分においては居住域、低位部においては耕作地が広がる吹田操車場の西端付近の景観を明らかにした。また、僅かではあるが、縄文時代晩期の長原式土器やサヌカイト製の石鏃の出土が確認でき、当該時期から人々が活動していたことも明らかになった。整理の成果は平成 22 年度 3 月 31 日刊行の『吹田操車場遺跡VI』にまとめた。

#### 22. 吹田操車場遺跡 10 - 2〔調査〕

今回の調査は、吹田操車場跡地地区の土地区画整理事業に先立ち、区画街路にあたる箇所を対象とした。主な成果として、古墳時代後期から古代にかけて掘削された粘土採掘坑と考えられる 40 基前後の土坑があげられる。また、飛鳥～奈良時代の柱穴が検出されたことから当該時期の集落の存在が想定される。粘土採掘坑と考えられる土坑については、昨年度の調査でも 150 基以上がみつかり、今年度の調査において、その範囲がさらに広がることを確認できた。

### 23. 明和池遺跡 10 - 1〔調査〕

今回の調査は、吹田操車場跡地地区の土地区画整理事業に先立ち、区画街路に当たる箇所を対象とした。主な成果は、明和池遺跡でこれまで知られることがなかった弥生時代後期の集落跡を確認したことである。

調査区において、南北方向に北から南へと流れる弥生時代後期の流路を検出し、その西側に1棟、東側に6棟の計7棟の方形もしくは隅丸方形の竪穴建物を検出した。流路東側の竪穴建物は、3棟が重なった状態でみづかり、建物の建て替えが行われたものと考えられた。また、流路からは弥生時代後期の土器がまとまって出土し、この地で生活を営んでいた当時の人々の様子が見えてきた。



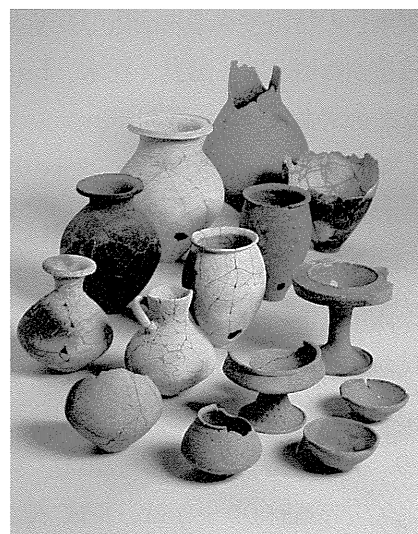
23. 弥生時代後期の竪穴建物

### 24. 新上小阪遺跡 08 - 1〔整理〕

当遺跡は東大阪市新上小阪に所在する。府営住宅建替え工事に伴い、平成20年9月1日から平成21年8月31日まで現地調査を実施した。その後平成22年8月31日までの1年間整理作業を実施し、平成22年11月30日の『新上小阪遺跡Ⅲ』の刊行をもって一連の事業を完了した。

調査では弥生土器や古代の土器・瓦を主とする遺物が収納コンテナに約90箱出土し、整理作業ではこれを選別して563点を実測・写真撮影等を行ない、報告書に掲載した。

古代の遺物の中には重圏紋軒丸瓦をはじめとする多くの瓦や埴、また硯や製塩土器、新羅系土器など、一般村落からはあまり出土しない遺物が数多く含まれており、近隣に役所などの公的な施設や寺院の存在を窺わせる。



24. 出土した弥生土器

### 25. 植松遺跡 08 - 1〔整理〕

府営住宅建て替え工事に伴う調査の整理作業である。昨年度に引き続き、出土遺物の復元、実測、遺構図作成、写真撮影、自然科学分析、原稿執筆、データ編集等、報告書刊行に向けた一連の作業を行った。自然科学分析では、弥生時代前期層より採取した土壌について、新たに珪酸体分析を行った。その結果、多数のプラントオパールを検出し、当該時期にこの地域で確実にコメを栽培していたことが明らかとなった。また、周辺の既往の調査成果との整合により、旧平野川の氾濫がこの地域にどのような影響を及ぼしたかを検証することができた。

### 26. 北鳥池遺跡 09 - 1・若江北遺跡 09 - 1〔調査・整理〕

大阪府東部水道事業所によって進められている大阪府営水道の中期整備事業である系統連絡送水管布設工事に伴う、立坑築造箇所の調査である。平成22年度は、東大阪市若江西新町3丁目所在の若江北遺跡の調査を実施した。弥生時代前期の遺構面では溝を検出した。中期末～後期後葉の遺構面では溝をはじめとする遺構群を検出したほか、土器、木製品等の一括資料が出土した。また、後期末以降の遺構面では小区画水田を検出した。平成21年度に現地調査を実施した北鳥池遺跡とあわせて遺物整理を実施し、報告書を刊行した。

## 27. 禁野本町遺跡 10 - 1 [調査]

遺跡は、淀川を見下ろす台地上に立地する。15の調査区において、縄文時代から近代までの遺物と古代から近代までの遺構を検出した。なかでも注目すべきは、奈良時代後半を中心とする集落跡と明治時代後葉から太平洋戦争終結までの陸軍の火薬庫である。

古代の集落跡からは、重複関係の著しい掘立柱建物群、竪穴建物、溝、井戸、土坑、ピットなどの遺構と、須恵器や土師器といった一般的な土器に加えて、長岡京内の遺跡出土土と同範関係にある軒瓦、緑釉陶器や灰釉陶器なども出土した。

いわゆる禁野火薬庫（正式には時期によって出張所、弾薬庫、倉庫、兵器補給廠分廠）については、火工場、倉庫、石組溝、土塁、軽便軌道、厠、貯水池などの遺構を検出できた。これらは、「大阪陸軍兵器支廠禁野弾薬庫図」や「大阪陸軍兵器支廠禁野倉庫要図」などの記録と符合するものが多くあり、実年代の特定や構造物配置の変遷を検証することが可能な資料である。多数の砲弾、薬莖、薬包などの軍事遺物や、瓦、煉瓦、枕木、レール、犬釘といった建築・鉄道関係遺物も、近代遺跡ならではの貴重なものである。

また、調査期間中には、地元の枚方市教育委員会・(財)枚方市文化財研究調査会と共に2回のシンポジウムと現地説明会を開催し、多数の参加者を得た。

## 28. 久宝寺遺跡 09 - 1 [整理]

久宝寺遺跡 09 - 1 の調査で出土した遺物の整理作業を行った。その結果、弥生時代の遺構は弥生時代前期のものと後期のものに分かれること、古墳時代前期の水路と溝（周溝墓か？）は庄内式期（3世紀前半）にあたること、中世の耕作溝は鎌倉時代から室町時代（12～14世紀）にあたることがわかった。

## 29. 久宝寺遺跡 10 - 1 [調査]

久宝寺遺跡 09 - 1 は、平成 22 年度において事業調整を行ったのみである。

## 30. 瓜生堂遺跡・岩田遺跡・花屋敷遺跡 10 - 1 [調査]

近畿日本鉄道奈良線連続立体交差化に伴う発掘調査である。既存の線路に沿う 2 km の距離に計 9 箇所を調査区を設定、うち 7 箇所の調査を今年度中に終了した。

瓜生堂遺跡にあたる調査区 B・C・D・E では、竪穴建物や大溝を有する弥生時代前期の居住域及び水田、弥生時代中期初頭の水田、方形周溝墓を主体とする弥生時代中期後半の墓域、古墳時代～古代の流路跡、中世集落等を確認した。

また、岩田遺跡にあたる F・G・H 区では、弥生時代中期初頭の溝群、弥生時代中期後半の土器棺墓、弥生時代後期の水田跡、古墳時代初頭の水田跡、古代の流路跡、中世集落及び水田等を確認した。今回の調査では、岩田遺跡内から土器棺が出土したことにより、当該時期の墓



26. 弥生時代後期後葉の土器出土状況



30. 岩田遺跡 土器棺墓

域がさらに東へ広がることを追認する等、既往の調査から得られた情報をさらに充実させることができた。なお、この土器棺（壺）内からは、ヒトの歯が出土した。

## C 池島支所

### 31. 池島・福万寺遺跡 08－1〔調査〕

前年度から継続する調査である。本年度は弥生時代前期末～中期初頭の流路及び水田面を検出した。

出土遺物は細片化したものが多かったが、その中で比較的まとまって弥生時代前期末の土器が出土した。石包丁の未成品やサヌカイト製石匙も出土している。

### 32. 池島・福万寺遺跡 08－2〔調査〕

恩智川治水緑地建設に伴う池島Ⅱ期地区内での調査で、平成 20 年度から継続実施している。今年度の調査では、池島・福万寺遺跡では初めて、弥生時代前期集落の一端を明らかにすることができた。

掘立柱建物・炉跡・ピット・土坑・木製品水漬け遺構・木棺墓などの遺構が検出され、突帯紋土器や多量の前期土器のほか、石棒・人形土製品などの祭祀遺物や土錘・石錘など漁労関係の遺物も出土している。遺構の分布状況などから、集落はさらに東側へ広がることが推測される。

### 33. 池島・福万寺遺跡 08－1〔整理〕

福万寺地区にて平成 20 年度から平成 22 年度に施行した発掘調査に対し、報告書作成に向けての整理作業を行った。出土した遺物の破片数は約 8,400 点であった。遺物は、奈良・平安時代の者が集中しており、本調査にて検出した当時の流路・溝から出土したものが多くを占めていることがわかった。

石膏復元、遺物実測、遺物写真撮影、遺構・遺物の挿図版作成、報告書編集、作成図面・遺物収納など基本的な整理作業は本年度末にて終了した。

### 34. 池島・福万寺 08－2〔整理〕

調査終了後引き続き平成 23 年 3 月 15 日までの間、遺物整理を実施した。今回検出された弥生前期の集落は、前期中～後葉の時期に比定され、これまで検出されている水田の時期よりは新しいことが確認された。また、古墳時代集落の井戸の中には、近海地域産の陶質土器壺が布留式の甕・鉢と共伴するものや、多数の滑石製白玉・有孔円板共や小型丸底壺など井戸廃絶に伴う祭祀の一端を示すものがみられた。

### 35. 池島・福万寺遺跡 09－1〔調査〕

大阪府寝屋川水系改修工営所が進める恩智川治水緑地建設に伴う発掘調査で、平成 21 年 7 月 21 日より平成 23 年 5 月 25 日まで現地調査を実施した。

恩智川治水緑地は、北流する恩智川を挟んで東側の池島地区、西側の福万寺地区からなり、今回の調査区は福万寺地区（Ⅱ期）に位置する。弥生前期前半から近世にかけての遺構面を 31 面にわたって調査した。弥生時代前期後半からの水田造成の変遷をとらえることができた



35. 弥生時代後期水田

とともに、中世から近世にかけての時期では、水田・畠・島畠が混在する状況をとらえることができた。これにより耕作地の変遷、耕作技術や自然環境と、生産活動との関わりをとらえることができた。

### 36. 池島・福万寺遺跡 09－2〔調査〕

当遺跡は東大阪市と八尾市の境にまたがる。恩智川治水緑地建設に伴い行われている調査で、今回の調査区は治水緑地の池島Ⅱ期地区内となる。平成21年度7月より調査を開始し、平成23年度6月に終了する予定である。今回の調査で最も注目すべき成果は、弥生時代中期前葉の集落の発見である。

竪穴式住居4棟と掘立柱建物1棟が検出された。当遺跡では20年ぶりの住居址の発見であり、弥生時代中期の集落は初の発見である。

前年度の池島・福万寺遺跡08－2の調査で発見された弥生時代前期の集落域と合わせ、ようやく遺跡内における弥生時代集落の動向が明らかになってきた。

#### d 南部調査事務所

### 37. 池内遺跡 09－3〔調査・整理〕

府道河内長野線に関しては平成21年度から継続する調査で、上ノ池より南、大堀堺線に接するまでの道路予定地を調査した。近世後半のL字形をなす溝や、12～13世紀の埤境に相当する東西大溝を検出し、それ以外にも広範囲に足跡を検出し耕作地として土地利用されていたことが判明した。その後、湯水期に池の北堤の調査を行った。近世に遡って堤の造成が行われていたこと、12世紀代に埤境を意識した大溝が存在したことが判明



37. 池北堤部

した。また、09－2・09－3調査で用水路保護等のため未調査だった箇所を調査し、大溝など既往の調査で見つかった遺構の続きを検出した。府道大堀堺線の拡幅に伴う調査は西から着手し、中世の鋤溝などを多数検出し、東西方向にも中世の耕作地が広がっていたことが明らかになった。

### 38. 若山遺跡 08－1〔整理〕

松原市上田町に所在し、旧松原高等職業訓練校跡地に松原ポンプ場（仮称）が建設されるのに伴い発掘調査が行われ、平成22年8月に『若山遺跡』として報告書を刊行している。

若山遺跡は、6世紀の須恵器の窯がある樋野ヶ池の南側に位置し、その窯跡が立地する開析谷がその後堰き止められ用水確保のための溜池として新たな土地利用がなされるのが7～8世紀である。その後、中世以降の水田化が行われていった様子が窺える。

### 39. 並松町遺跡 10－1〔調査〕

大阪府道高速大和川線（阪神高速大和川線）建設に伴う調査であり、堺市堺区並松町及び七道東町、七道西町に所在する。大和川南岸の堤防に沿う形で調査区は東西方向に設定されており、ほぼ中央で大阪と和歌山を結ぶ紀州街道が南北方向に横切っている。この紀州街道を含む両側部分が調査対象である。平成22年度2月より紀州街道の西側から調査を開始し、数次にわたる洪水による砂層のほか、紀州街道部分では、道路の堆積状況が明らかになりつつある。調査は、平成23年度も継続して



39. 紀州街道の道路断面

行われる。

#### 40. 三宅西遺跡 09 - 2〔整理〕

松原市三宅西に所在し、都市計画道路大和川線外の建設に伴って計画された今井戸川付け替え工事及び取水施設整備事業に伴うもので、平成 22 年度 7 月に『三宅西遺跡Ⅱ』として報告書を刊行している。

三宅西遺跡は、縄文時代から中世にかけての複合遺跡で、今回の調査では、遺跡範囲の南端部で、古墳時代の建物を構成する柱穴や中世以降の基幹水路を検出し、周辺域の広がりを知ることができた。

#### 41. 大和川今池遺跡 09 - 1〔整理〕

松原市天美西に所在し、都市計画道路大和川線建設に伴う付帯工事で、関西電力の鉄塔移設工事に伴う発掘調査で、平成 21 年度 1 月 6 日から 2 月 22 日まで発掘調査を、その後 3 月 31 日まで遺物整理を行い、平成 22 年度 5 月に『大和川今池遺跡Ⅲ』として刊行している。今回の調査では、古墳時代後期の溝、古代の溝・ピット・土坑や中世以降の耕作土層を検出しており、広大な遺跡の一端を知ることができた。

#### 42. 大和川今池遺跡 10 - 1〔調査・整理〕

本調査は都市計画道路大和川線建設に伴う付帯工事の、雨水排水管の敷設工事にさきがけて実施し、調査は大和川線で 4 箇所、府道 26 号線で 1 箇所の計 5 箇所で行った。大和川線の調査では弥生時代後期～古墳時代前期の竪穴建物の南西隅の掘り方と壁溝を確認し、建物の内外で多数のピットを検出した。建物内では柱穴・貼床も確認した。古代では南北方向の溝・坪境畦畔・畝溝を検出した。中世後期～近世前期では高まり・溝・坪境溝・落込・井戸・土坑・ピット等を検出した。落込みの中に



42. 竪穴建物

はしがらみを伴うものや、炉壁を出土するものがある。井戸は素掘りのものと、曲物を井筒としたものがある。府道 26 号線では、中世以前から流れていた幅約 60 m、深さ約 1 m の大規模な流路を検出した。

中世後期～近世前期では坪境溝、曲物を有する井戸等を検出した。遺物も瓦器碗や多量の瓦が出土している。今回の調査で中世の集落の範囲がさらに北西に広がることが明らかになった。

#### 43. 深井畑山窯跡群隣接地 10 - 1〔確認〕

堺市中区深井畑山地区内に所在し、大阪府営水道中期整備事業「バイパス送水管付設工事」に伴う遺跡確認のための調査を行った。今回の調査では、地山より上層の本来堆積していたであろう土層が旧作土層を含めてまったく確認できず、さらに、地山が削平を受けている可能性が示唆され、調査箇所では、遺構・遺物ともに検出されなかった。旧地形が西側に落込むことから、小さな開析谷が存在したと考えられる。

#### 44. 信太千塚古墳群 10 - 1〔確認〕

和泉市伯太町に所在し、近畿中部防衛局信太山駐屯地内の倉庫新設に伴う遺跡確認のための調査を行った。今回の調査では、大正 15 年以前の陸軍の暖房のための蒸気配管が検出され、それより下層に谷上の地形の東肩を確認することができた。この谷は、近世段階で埋められ耕作を行っていたことが判明した。この谷地形の南側の尾根の先端部に王塚古墳が位置している。

#### 45. 鬼虎川遺跡 10 - 1〔調査〕

平成 22 年度については、事業調整のみを行っている。

### (3) 他府県調査技術支援

財団法人鳥取県教育文化財団からの依頼に基づき、3名の職員を同財団へ出向させて、鳥取西道路建設事業地内で実施された本高弓ノ木遺跡、高住平田遺跡、松原田中遺跡の発掘調査の技術支援を行った。

### (4) 保存処理事業

平成22年度保存処理事業一覧

調査事業に関連して以下のとおり保存処理事業を実施した。

遺跡名	処理種別	処理方法	処理数量
近畿道関連	木製品	整理・点検	300点
大坂城遺跡	木製品	整理・点検	500点
池島・福万寺遺跡	木製品	整理・点検	200点
山賀遺跡	木製品	整理・点検	145点
讚良郡条里遺跡	木製品	PEG-FD処理	200点
大坂城Ⅲ遺跡	木製品	PEG-FD処理	1,000点
巢本遺跡	木製品	PEG-FD処理	124点
植松遺跡	木製品	PEG-FD処理	50点
新上小阪遺跡	木製品	PEG-FD処理	50点
玉櫛Ⅲ遺跡	木製品	PEG-FD処理	188点
私部南遺跡	金属遺物	アクリル樹脂処理	70点
讚良郡条里遺跡	金属遺物	アクリル樹脂処理	30点
巢本遺跡	金属遺物	アクリル樹脂処理	30点
津田遺跡	金属遺物	アクリル樹脂処理	600点
私部南遺跡	植物遺体	分類・鑑定	コンテナ10箱
吹田操車場遺跡	動物遺体	分類・鑑定	コンテナ6箱
池島福万寺遺跡	植物遺体	分類・鑑定	コンテナ15箱
池内遺跡	植物遺体	分類・鑑定	コンテナ10箱
X線調査	各種遺物	X線透視撮影	金属・有機遺物 50点

PEG：ポリエチレングリコール FD：真空凍結乾燥を示す。



## (5) 現地説明会等

計 9 9 1 名の参加を得た。

実施月日	内 容	対象者	場 所	参加人数
4 月 17 日	讃良郡条里遺跡現地公開	一般	讃良郡条里遺跡 (立坑)	205
11 月 6 日	池島・福万寺遺跡現地公開	一般	池島・福万寺 (その 11)	163
11 月 6 日	池島・福万寺遺跡現地公開	一般	池島・福万寺 (その 12)	144
11 月 20 日	吹田操車場・明和池遺跡現地説明会	一般	吹田操車場・明和池遺跡 (区画整理)	245
3 月 5 日	禁野本町遺跡現地説明会	一般	禁野本町遺跡 PFI (枚方市と の合同現地説明会)	234

### 池島・福万寺遺跡Ⅱ (その 11) 現地公開

当日は秋晴れの中、163 名の方々が参加され、職員の説明に熱心に耳を傾けていただきました。

公開したのは、弥生時代後期 (今から約 1800 年前) の調査区東半の遺構面です。弥生時代の水田開発の技術がよく分かる成果が得られました。流路の水を目的の場所に導くための水路と堰 (せき)、土地の起伏に合わせて合理的に築かれた畔が見つかっています。東部では厚い洪水砂に覆われて当時の地表面がよく残っていましたが、西部では古墳時代のときに削られて残っていない場所もあります。

流路は東から北に大きく蛇行して流れ、その両側に水田が広がっていました。水路が 4 本存在します。

流路は土を盛り上げて堤が作られ、北側で堰が発見されました。堰とは水をせき止めるためのダムで、流れの中心に直交して列に杭を打ち込み、これに横方向の杭を組み合わせたものです。ここで水位を上げ、上流側に作られた水口から水路に水を導きます。水路は流路の西岸に接して 2 本見られます。南北方向のものは蛇行する部分で流路に合流します。南では両側の水田に水を導く水口が見られました。これに合流する別の水路も見つかっています。水田はこの時期に典型的な 1 辺が 4 ~ 6 m の小さなものが土地の起伏に合わせて並んでいます。

池島・福万寺遺跡ではこれまでの調査で同じ弥生時代後期に水田が大きく広がっていたことが明らかになりました。



### Ⅲ 資料活用事業

文化財の資料活用を図るため、次の事業を実施した。

#### (1) 文化財講演会事業

a 平成22年度の講演会事業として、シンポジウム・講演会等を次のとおり実施した。

実施月日	内 容	対象者	会 場	参加人数	備 考
11月 16日	文化財講演会「大阪の重要遺跡を考える」①	一般	大阪府立 弥生文化博物館	50	
12月 14日	文化財講演会「大阪の重要遺跡を考える」②	一般	大阪府立 弥生文化博物館	33	
1月 18日	文化財講演会「大阪の重要遺跡を考える」③	一般	大阪府立 弥生文化博物館	50	
1月 30日	「発掘・復元・検証 いま、よみがえる枚方の20世紀」	一般	メセナひらかた	183	平成22年度文化庁地域 伝統文化総合活性化事業 として実施
2月 6日	「歴史発掘おおさかー大阪府発掘調査最新情報ー」	一般	大阪府立 近つ飛鳥博物館	101	大阪府立近つ飛鳥博物 館・大阪府教育委員会・ 大阪市教育委員会・(財) 大阪市博物館協会大阪文 化財研究所と共催
2月 13日	「百舌鳥古墳群とその周辺」	一般	堺市立 西文化会館	403	平成22年度文化庁地域 伝統文化総合活性化事業 として実施
2月 16日	文化財講演会「大阪の重要遺跡を考える」④	一般	大阪府立 弥生文化博物館	62	
2月 19日	「交野ヶ原と平安貴族」	一般	輝きプラザきら ら	179	枚方市教育委員会・(財) 枚方市文化財研究調査会 と共催
3月 15日	文化財講演会「大阪の重要遺跡を考える」⑤	一般	大阪府立 弥生文化博物館	42	

合計で、1,103名の参加を得た。

b 外部団体からの依頼を受けて、講演会等を次のとおり実施した。

実施月日	内 容	対象者	会 場	参加人数	備 考
10月13日	「大坂・堺発掘物語 －考古学はおもしろい」	一般	堺市立福祉会館	74	堺市高齢者教養大学からの依頼を受けて、江浦が講演
11月19日	「邪馬台国大和説の盲点 －陥穽－」	一般	大阪府立 弥生文化博物館	152	「考古学セミナー」において、藤田が講演
1月15日	「八尾の遺跡を知ろう－池 島福万寺遺跡について」	一般	八尾市立しおん じやま古墳学習 館	19	「しおんじやま学び場」 において、井上が講演
2月20日	サイエンスカフェ 「鉄道の考古学 －掘り出された鉄道－」	一般	大阪府立 中央図書館	25	大阪府立中央図書館に おいて、江浦が講演

合計で、270名の参加を得た。

## (2) 文化財体験学習事業

a 体験学習等の受け入れを次のとおり実施した。

実施月日	内 容	対象者	場 所	参加人数
7月28日～ 8月3日	夏季集中講座 「考古学入門」	大阪府立 今宮高等学校2年生	池島支所・池島・福万寺遺跡 Ⅱ(その11・12)	4
10月14日	平成22年度 古代史研修	和光高等学校2年生	池島・福万寺遺跡Ⅱ(その 11・12)	13
11月10日～ 11月11日	職業体験学習 「かん働体験」	東大阪市立 石切中学校2年生	池島支所・池島・福万寺遺跡 Ⅱ(その11・12)	2
11月16日	発掘体験	NPO法人高齢者大学校 歴史考古学科普通課	池島支所・池島・福万寺遺跡 Ⅱ(その11・12)	38
11月18日	発掘体験	NPO法人高齢者大学校 歴史考古学科研究課	池島支所・池島・福万寺遺跡 Ⅱ(その11・12)	16
12月9日～ 12月10日	「職業体験学習」	東大阪市立 池島中学校2年生	池島・福万寺遺跡Ⅱ(その 11)	4
12月10日	集中講座「考古学 入門」	大阪府立 大手前高等学校2年生	池島・福万寺遺跡Ⅱ(その 12)	12

合計で、89名の参加を得た。

b 発掘現場等の見学の受け入れを次のとおり実施した。

実施月日	内 容	対象者	場 所	参加人数	備 考
10月2日	発掘現場見学	一般	池島・福万寺遺跡Ⅱ(その11)	38	八尾市立しおんじやま古墳学習館主催の高安山ウォークフェスタ2010事業
12月4日	「発見!体験!考古学」受入	一般	池島・福万寺遺跡Ⅱ(その11)	12	弥生文化博物館・近つ飛鳥博物館の発掘体験事業

合計で、50名の参加を得た。

c 弥生文化博物館と連携し、出前授業を実施した。

実施月日	学校名	対象者	人数
4月13日	堺市立深井小学校	6年生 3クラス	107
4月16日	堺市立三原台小学校	6年生 4クラス	141
4月22日	堺市立北八下小学校	6年生 2クラス	58
4月30日	岸和田市立八木南小学校	6年生 3クラス	110
5月13日	岬町立深日小学校	6年生 2クラス	44
6月1日	八尾市立刑部小学校	6年生 4クラス	151
6月4日	堺市立八上小学校	6年生 3クラス	110
6月8日	堺市立東三国丘小学校	6年生 4クラス	129
6月15日	堺市立若松台小学校	6年生 2クラス	65
6月18日	和泉市立南池田小学校	6年生 2クラス	97
6月22日	熊取町立東小学校	6年生 3クラス	100
6月24日	大阪市立日吉小学校	6年生 2クラス	123
6月29日	枚方市立山之上小学校	6年生 3クラス	91

合計で、1,326名の参加を得た。

### (3) 文化財展示事業

a 博物館等と連携し、次の展示会等に協力した。

実施月日	内 容	対象者	会 場	備 考
7月8日～ 8月6日	スポット展示「速報！弥生の土偶と石棒―池島・福万寺遺跡出土―」	一般	大阪府立 弥生文化博物館	弥生文化博物館でのスポット展示
8月7日～ 9月3日	弥生プラザ「発見！池島・福万寺遺跡の弥生時代前期のムラ」	一般	大阪府立 弥生文化博物館	弥生文化博物館常設展示室「弥生プラザ」での展示
11月20日～ 12月5日	スポット展示「泉佐野市湊遺跡の製塩土器」	一般	近つ飛鳥博物館	近つ飛鳥博物館でのスポット展示
11月20日～ 11月21日	池内遺跡等遺物展示	一般	阪神高速大和川線 現場事務所	阪神高速現場公開に協力して、関連遺跡の遺物展示
12月11日～ 12月26日	スポット展示「枚方市津田遺跡から出土した埴仏と鋳型」	一般	近つ飛鳥博物館	近つ飛鳥博物館でのスポット展示
2月 1日～ 2月20日	「鉄道の考古学―掘り出された鉄道―」	一般	大阪府立中央図書館 展示コーナー	大阪府立中央図書館「サイエンスカフェ」に協力

### (4) 文化財広報事業

a 事業年報の編集・発行

当センターの事業年報（21年度）を編集し、発行した。

b インターネットの活用

ホームページにより、当センターの発掘・調査、イベント、出版等に関する情報を一般に公開し、より一層の文化財の普及を図った。

c その他、広報活動

当センターが開催した諸行事に関する情報及び現地公開資料、展示会のリーフレット・ブックレット等をホームページに掲載公開した。また、報道機関にも積極的に情報提供した。

d 全国埋蔵文化財法人連絡協議会近畿ブロックを通じたの活動

「関西考古学の日」へ参加した。「関西考古学の日」は、全国埋蔵文化財法人連絡協議会近畿ブロックが、各財団の普及事業に関する情報を集約し、効率的・効果的に市民に発信することを目的として、平成20年度を初回として実施したものである。当センターは、パンフレットの編集・作成を行った。

### (5) 文化財研究事業

a 近畿ブロック埋文研修会に参加した。

第16回の平成21年度近畿ブロック埋蔵文化財研修会は、財団法人向日市埋蔵文化財センターが開催法人となり、平成22年11月26日（金）、京都府向日市の向日市民会館で開催された。

「考古学におけるセレンディピティ（思わぬ発見）」というテーマで10本の研究発表が行われ、当セ

ンターからは井上智博が「堆積環境変遷からみた弥生時代の水田動態」と題して発表を行った。

b 全埋協コンピューター等研究委員会及び地区委員会の参加、それに伴う業務を行った。

① 全埋協近畿地区OA委員会

第1回全埋協近畿地区OA委員会

八尾市文化会館（プリズムホール）

平成21年6月25日

第2回全埋協近畿地区OA委員会

八尾市立埋蔵文化財調査センター

平成21年12月17日

## （6）文化財資料収集整理事業

a 文献及び文化財情報の収集・整理

①平成22年度に購入および受贈等によって収集した図書は、下記のとおりである。

購入図書	373冊
研究機関、行政機関等からの寄贈図書	1,993冊
計	2,366冊
累計	78,820冊

②蔵書データベース、雑誌目次データベースの入力を行った。

蔵書データベースは総計78,600レコード

b 発掘調査資料の管理を行う。

①遺物・写真・図面・各種台帳等を管理する。

## （7）文化財資料提供事業

a 発掘資料の出品、写真、映画等の貸出しを行う。

①資料の出品

博物館等からの依頼を受けて常設展示品用の遺物の貸出しおよび、資料の貸出しを行った。

②写真資料の貸出し

出版社等からの依頼を受けて、写真および写真データの貸出し掲載した。

③常設展示資料貸出し

④ビデオの貸出し

依頼を受けてビデオの貸出しを行った。

①資料の出品

番号	貸出先	展示等名称	期間	資料名	点数
M10-01	柏原市立歴史資料館	平成22年度 夏季企画展「群集墳 から火葬墓へ」	H22.7.7 ～H22.9.10	田須谷:土師器坏2,須恵器坏蓋 2,須恵器坏身3,石棺片2/須恵 器坏蓋4/須恵器短頸壺,須恵 器平瓶,和同開珎/須恵器坏身, 須恵器細頸壺	18
M10-02	堺市博物館	平成21年度 春季特別展	H22.5.24 ～H22.9.10	玉櫛:瓦器椀14,土師質皿9,東 播系こね鉢2,土師質鍋2,瓦質 三足羽釜1,備前壺1,木製下駄 1,草履芯1,木製下駄1,東海系 こね鉢1,土師羽釜1,瓦質羽釜 1/日置荘:瓦器椀13,中国製白 磁壺1,中国製白磁壺1,常滑壺 1,土師質羽釜1,中国製陶器壺, 土師質皿1,須恵器甕1,瓦質羽 釜1,土師質羽釜1,中国製青磁 皿1,備前播鉢1	58
M10-03	財団法人 交野市 文化財事業団	平成22年度企画展 「交野が原の須恵器展」	H22.5.24 ～H22.7.5	茄子作:須恵器10,焼き台2/ 上の山:須恵器5,窯壁片5	22
M10-04	兵庫県立歴史博 物館	特別企画展「変身ー仮 面のひみつ」(なつや すみ親子シリーズ)	H22.7.17 ～H22.9.23	仏並:土面レプリカ1	1
M10-05	出雲弥生の森博 物館	開館記念特別展「弥生 人のサイエンスー出雲 王が愛した色ー」	H22.7.5 ～H22.10.4	亀井:黒漆塗丸木弓1/山賀:黒 漆塗丸木弓1,「垂飾」形木製品 1,「垂飾」形木製品レプリカ1	4
M10-06	大阪府立弥生文 化博物館(移動)	平成22年度夏季特別展 「MASKー仮面の考古 学ー」	H22.7.5 ～H22.9.12	仏並:土製仮面2	2
M10-07	大阪府立近つ飛 鳥博物館(移動)	平成22年度夏季企画展 「群集墳から火葬墓へ」	H22.6.24 ～H22.10.20	大坂城趾:鉄斧1/奥山1号墳: 鉄鏃12,鉄斧・鏡板・爪形金具・ 貴金具・環状金具11,耳環11 /鐔・刀子・両頭金具・鉄鉾 9/巨摩:椅子形埴輪/志紀:鍬刃 先(鋤)1/大庭寺:U字形鋤先 1/日置荘:木製叩き具・当て具 2/溝咋:竈1,製塩土器13/三田 古墳:U字形鋤先1,環頭大刀1/ 讃良郡:子持勾玉1,須恵器壺1, 土師器甕2,U字形土製品5,須 恵器甕片(鳥足文)1,須恵器壺 1,かた 1,剣形土製品1,紡錘車 6,鉄ぞく2,滑石玉・ガラス玉 ? 棗玉? 26,滑石製勾玉2	114
M10-08	大阪府立弥生文 化博物館(移動)	平成22年度スポット展 および弥生プラザ展示	H22.7.2 ～H22.9.3	石棒1,人形土製品1,石棒1,人 形土製品1,弥生土器4,弥生土 器ミニチュア製品4,石庖丁2, 大型石庖丁2,石錐6,土錐30	52
M10-09	飛鳥資料館	平成22年度秋季特別 「木簡黎明ー飛鳥に集 う古の文字たち」展	H22.9.30 ～H22.12.2	難波宮:木簡7,レプリカ1/ 佐堂:木簡1	9

番号	貸出先	展示等名称	期間	資料名	点数
M10-10	大阪府立狭山池博物館	平成22年度秋季企画展「古代西除川沿いの集落景観」	H22.9.21 ～H22.12.17	池内:弥生土器・土師器・須恵器・緑釉陶器ほか72	72
M10-11	大阪府立狭山池博物館	平成22年度秋季企画展「古代西除川沿いの集落景観」	H22.9.21 ～H22.12.17	大和川今池:土師器・須恵器・瓦ほか58	58
M10-12	大阪府立弥生文化博物館(移動)	平成22年度秋季特別展「鉄とヤマト王権」	H22.9.14 ～H23.1.5	高宮:土器2,鉄?1/私部南:鉄?1/讃良郡:鉄器12/亀川:鉄?・鉄素材4/亀井:鉄器3/久宝寺:鉄器3/志紀:刃先1,大庭寺:U字形刃先1/三田古墳:U字形刃先	29
M10-13	羽曳野市教育委員会	古市遺跡調査成果速報展	H22.8.30 ～H22.11.5	河原城:子持ち勾玉1	1
M10-14	九州国立博物館・大阪府立弥生文化博物館	平成22年度秋季特別「邪馬台国―九州と近畿―」展	H22.9.29 ～H22.3.2	池島・福万寺:方格規矩鏡2,画文帯同向式神獸鏡片1,小型?製鏡1,内行花文鏡片1/巨摩:ガラス勾玉1,ガラス小玉13,管玉2/田井中:小型?製鏡1/下田:環形付木製品1,剣刀把装具/亀井:小型?製鏡1,貨泉1巨摩:貨泉1	27
M10-15	堺市立みはら歴史博物館	平成22年度秋季特別展「古代に铸る―青銅器―」	H22.10.15 ～H22.12.10	下田:銅鐸1/上フジ:銅鐸形銅製品1/亀井:銅鐸破片2,銅釧2,銅鏃3,銅鐸形銅製品3/巨摩:有鉤銅釧1,銅鏃1/瓜生堂:青銅器鑄型1,銅鐸形銅製品1/溝咋:円環型銅釧1/池島・福万寺:銅鏃3,土製鑄型 外枠5	26
M10-16	大阪府立弥生文化博物館(移動)	平成22年度弥生プラザ展示企画「東奈良遺跡の調査」	H22.9.3 ～H23.4.4	東奈良:台付土器?1,無頸壺2,鉢2,高杯1,甕1	7
M10-17	和泉市教育委員会	平成22年度特別展「和泉国誕生―平城遷都1300年!和泉国のはじまりを探る!―」	H22.10.5 ～H22.12.13	池田寺:土師器皿(墨書「?本」)	1
M10-18	NHKプロモーション	大河ドラマ特別展「江～姫たちの戦国～」	H22.12.20 ～H23.9.8	大坂城址:金箔瓦8,朱漆塗瓦1,犬形土製品50	59
M10-19	瀬戸市文化振興財団	平成22年度企画展「関西出土の近代陶磁―瀬戸・美濃窯の近代4―」	H22.10.8 ～H23.2.18	禁野本町:磁器皿1,目薬瓶1,菊座1,製薬瓶1,九二式七糶榴弾1,九二式十五糶榴弾1,三八式12糶榴弾弾砲破甲榴弾1,信管1/大坂城址:水筒2,防毒マスク1,鉄帽1,陸軍食器2,認識票2,国民食器4,陶磁器?5	25
M10-20	大阪府立近つ飛鳥博物館(移動)	平成22年度11月スポット展示	H22.10.15 ～H22.12.22	湊:製塩土器7	7



番号	貸出先	展示等名称	期間	資料名	点数
M10-21	大阪府文化財センター本部事務所(移動)	講演会	H22.11.16 ~H22.11.16	陶邑・大庭寺:器台・高杯・土師器・当て具・長胴甕ほか10/久宝寺:準構造船縮小復元模型1, 讃良郡条里:須恵器・土製竈・土製紡錘車ほか12点	22
M10-22	和歌山県立博物館	ロビー展「仮面の世界へご招待」	H22.12.15 ~H23.3.4	仏並:土製仮面	1
M10-23	大阪朝鮮考古学研究会	第22会 東アジア古代史・考古学研究会 交流会	H22.12.2 ~H22.12.6	陶邑・大庭寺:把手付椀・高坏・ハソウ・壺ほか14/茄子作:ハソウ・甕・壺ほか7	21
M10-24	大阪府立近つ飛鳥博物館(移動)	平成22年度12月スポット展示	H22.12.11 ~H23.3.18	津田:巴文軒丸瓦・懸仏・鈴・刀子ほか48	48
M10-25	大阪府立近つ飛鳥博物館(移動)	平成22年度冬季特別展	H22.10.15 ~H23.3.23	大和川今池:家形埴輪2	2
M10-26	島根県立古代出雲歴史博物館	平成22年度企画展「古代出雲の壮大なる交流―神々の国を往来した人と文物―」	H23.2.25 ~H23.5.24	久宝寺:小型丸底壺2、小型鼓形器台3,小型鉢1	6
M10-27	大阪府文化財センター本部事務所(移動)	講演会	H22.12.14 ~H22.12.14	大坂城址:金箔軒丸瓦2,金箔家紋飾瓦2,家紋瓦1,備前德利1,備前茶壺1,備前播鉢1,瀬戸美濃皿3,唐津椀2,唐津向付2,志野向付2,瘦瓶1,杓文字1,せっかい1,箸14,塗箸2,庖丁1,ネズミ骨10	48
M10-28	大阪府立近つ飛鳥博物館(移動)	平成22年度冬季特別「歴史発掘 おおさか」―大阪府発掘調査最新情報―展	H22.12.19 ~H23.3.18	津田:巴文軒丸瓦・懸仏・鈴・刀子ほか48/池内:壺・甕ほか3/三宅西:壺・甕・土師器・深鉢ほか34/池島・福万寺:壺1,甕1	87
M10-29	大阪府立弥生文博物館(移動)	平成22年度冬季企画「続・発掘へんろ―四国の弥生時代―」展	H23.1.12 ~H23.3.29	巨摩:把手付片口皿1/亀井:高杯形土器・分銅形土製品ほか4/小阪合:複合口縁壺1/山賀:打製石剣1/瓜生堂:壺形土器・甕形土器ほか23/溝咋:壺型土器片・石臼・石皿ほか7/若江北:把手付台付鉢1/美園:打製石剣1	39
M10-30	大阪府文化財センター本部事務所(移動)	講演会	H23.1.18 ~H23.1.18	久宝寺:壺・管玉・二重口縁壺・高杯・甕直口壺ほか19	19
M10-31	堺市(市長公室文化財課)	講演会「須恵器・陶邑の謎を探る」	H23.2.16 ~H23.3.24	陶邑・大庭寺:銅印 (大阪府指定有形文化財) 1	1
M10-32	兵庫県立考古博物館	平成23年度特別展「木のうつわ 6000年の技」	H23.4.6 ~H23.7.1	瓜生堂:杓子1,池島・福万寺:高坏1,高坏のレプリカ1,新家:大皿の蓋1	4
M10-33	大阪府中央図書館	サイエンスカフェ	H23.2.1 ~H23.2.20	久宝寺:汽車土瓶1,イギリス陶器1,汽車土瓶湯のみ1/禁野本町:犬釘2,継ぎ目板1,レール2/吹田操車場:汽車土瓶6,重箱1,蓋1,牛乳瓶1ほか	46

番号	貸出先	展示等名称	期間	資料名	点数
M10-34	尼崎市立田能資料館	特別展「弥生の集落」	H23.3.2 ～H23.3.31	讚良郡:土器焼成失敗品7, 八尾南:復元模型1	2
M10-35	高槻市立今城塚古代歴史館	開館記念特別展「三島と古代淀川水運ー初期ヤマト王権から継体大王の登場までー」	H23.3.16 ～H23.5.27	溝咋:土師器二重口縁壺1,土師器甕2ほか/讚良郡条里遺跡:カマド1,須恵器壺2,剣形土製品1ほか/東奈良:弥生土器蓋1,水差1,台付壺1/福井:円筒埴輪片6	44
M10-36	大阪府立近つ飛鳥博物館(移動)	平成23年度春季特別「倭人と文字の出会い」展	H23.3.29 ～H23.8.4	難波宮:木簡9,レプリカ4, 絵馬1/八尾南:土器4/ 久宝寺:土器2	20
M10-37	奈良県立橿原考古学研究所附属博物館	平成23年度春季特別展「弥生の里ーくらしといのりー」	H23.4.5 ～H23.6.24	八尾南:集落復元模型1, 竪穴建物9復元模型1, 土器16,石器36,石庖丁1,石?3	54
				合計	1056

## ②写真資料の貸出し

番号	貸出先	依頼書年月日	使用目的	資料名	内訳	点数
P10-01	毎日新聞社	H22.4.23	新聞記事の挿図	城山:馬の写真	カラー×1	1
P10-02	四国地区埋蔵文化財センター巡回展実行委員会	H22.5.12	「続・発掘へんろー四国の弥生時代ー」の展示パネル	瓜生堂:調査地遠景	カラー×1	1
P10-03	吉川弘文館	H22.5.12	岸本直文編『史跡で読む日本の歴史2 古墳の時代』	久宝寺:準構造船検出状況	モノクロ×1	1
P10-04	独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所飛鳥資料館 研究員 丹羽崇史	H22.5.14	アジア鑄造技術史学会第4回大会ポスター発表をおこなうため	太井:鞆羽口の写真・実測図	モノクロ×1 図×1	2
P10-05	福岡澄男理事	H22.5.19	坪井清足先生卒寿念献呈論文集	小阪合:須恵質鳥形土製品	モノクロ×1	1
P10-06	原子力発電環境整備機構	H22.5.26	日本学術会議の「高レベル放射性廃棄物の処分問題 解決の途を探る」での投影資料・配布資料	下田:現地説明会資料「下田遺跡発掘調査」P4銅鐸出土時の写真	カラー×1	1
P10-07	福島県立博物館	H22.6.1	「ふるさとの考古資料1【会津若松市】遺跡探訪」の写真パネル	山賀:木葉紋土器の写真	モノクロ×1	1
P10-08	慶応義塾大学地球科学研究室	H22.6.21	地球科学研究所のHP	池島・福万寺:小区画水田	カラー×1	1
P10-09	近つ飛鳥博物館	H22.6.20	夏期企画展のパネル	蔵塚古墳:土嚢列D、後円部放射状土嚢列、奥山遺跡:1号墳全景、溝咋:古墳時代後期水田と溝	カラー×4	4

番号	貸出先	依頼書 年月日	使用目的	資料名	内訳	点数
P10-10	総合地球環境学 研究所佐藤プロ ジェクト	H22.6.28	企画展「あしたの ごはんのためにー 田んぼから見える 遺伝的多様性ー」	池島:「池島・福万寺遺跡 ってなあに？」P2・3,P14 ・15のイラスト全般	イラスト ×10	10
P10-11	総合地球環境学 研究所佐藤プロ ジェクト	H22.7.9	企画展「あしたの ごはんのためにー 田んぼから見える 遺伝的多様性ー」	池島:池島・福万寺遺跡 航空写真	モノクロ×1	1
P10-12	総合地球環境学 研究所佐藤プロ ジェクト	H22.7.23	企画展「あしたの ごはんのためにー 田んぼから見える 遺伝的多様性ー」	池島:島島、第3-3面	カラー×2	2
P10-13	総合地球環境学 研究所佐藤プロ ジェクト	H22.7.30	企画展「あしたの ごはんのためにー 田んぼから見える 遺伝的多様性ー」	池島:「池島・福万寺遺跡 ってなあに？」P2 「南上空からみた池島・ 福万寺遺跡」	カラー×1	1
P10-14	和歌山県立博物 館	H22.8.12	「仮面の世界へのご 招待ー博物館資料を 利用した視覚障害者 用教材開発と教育実 践ー」の「触って読 む図録」に掲載	仏並:土製仮面	カラー×1	1
P10-15	正岡大実	H22.8.12	伊勢中世史研究会の 「大阪府の動向」 『中世史考古学情 報』に掲載	津田:墓2出土遺物、墓2 完掘状況、池内:調査地 全景	カラー×3	3
P10-16	武豊町歴史民俗 資料館	H22.8.25	特別展「木造和船の 歴史展1ー原始～近 世前期の和船模型ー 」のパネルに使用	久宝寺:準構造船出土状 況、出土準構造船船材 組立復元	モノクロ×2	2
P10-17	株式会社河出書 房新社	H22.8.25	『列島の考古学ー弥 生時代ー』（仮題）	池島・福万寺:弥生後期 水田、八尾南:遺跡全景 、周堤・周溝をとまなう 建物跡、壁溝に渡された 横木	カラー×4	4
P10-18	松原市総務部政 情報室市	H22.8.26	「広報まつばら」 10月号に掲載	大和川今池:難波大道 全景	モノクロ×1	1
P10-19	株式会社小学館	H22.8.27	『Jr.日本の歴史』	難波宮:11号木簡 (戊申年)	モノクロ×1	1
P10-20	藤田憲司	H22.8.29	論文「山陰弥生墳 丘墓の研究」に掲載	久宝寺:20号墓箱形木棺、 43号墓箱形木棺、 48号墓箱形木棺	モノクロ×3	3
P10-21	池田市歴史民俗 資料館	H22.9.1	特別展「古墳時代の 猪名川流域」で使用	陶邑・大庭寺:TG232号窯 、TG232号窯出土土器	カラー×2	2

番号	貸出先	依頼書年月日	使用目的	資料名	内訳	点数
P10-22	(財) 東大阪市 施設利用サービス協会	H22.9.3	特別展「片町線ノタルジィ」に掲載ス	禁野本町:4号火薬工場東側の爆発に伴う石組溝のズレ、2号乾燥火薬庫へ通ずる軽便鉄道、第30号倉庫西壁の基礎、1号乾燥火薬庫、1号乾燥火薬庫入口の煉瓦構造物	カー×5	5
P10-23	和泉市教育委員会	H22.9.6	特別展図録に掲載	池田寺:土師器皿(墨書)	モノ×1	1
P10-24	NHKプロモーション	H22.9.30	NHK大河ドラマ特別展開催に伴う図録に掲載	大坂城趾:金箔瓦集合写真、朱漆塗り巴文軒丸瓦、犬形土製品集合写真	カー×3	3
P10-25	御所市教育委員会	H22.10.6	「こうほうごせ11月号」に掲載	陶邑・大庭寺:船形土製品	カー×1	1
P10-26	茨木市教育委員会	H22.10.1	テーマ展「茨木城」のパネル作成、パンフレットに使用	大坂城趾:埋め戻された堀、大坂城跡出土文字瓦	カー×2	2
P10-27	池田市教育委員会	H22.10.8	池田市広報誌「わがまち歴史散歩・北摂の旧石器時代」に掲載	粟生間谷:サヌカイト製ナイフ形石器、チャート製ナイフ形石器、	モノ×2	2
P10-28	大阪歴史養育者協議会堺支部	H22.10.20	「歴史たんけん堺」に掲載	堺環濠都市:環濠断面、石室	カー×2	2
P10-29	独立行政法人 国立文化財機構 奈良文化財研究所 飛鳥資料館	H22.10.20	特別展示「木簡黎明一飛鳥に集ういにしえの文字たち」を紹介する朝日新聞の記事に使用	難波宮:第11号木簡(戊申年)	カー×1	1
P10-30	大阪歴史博物館 学芸員池田研	H22.10.23	「大坂城下町跡とその周辺から出土したバイゴマについて」(仮)『大阪歴史博物館研究紀要 第9号』に使用	堺環濠都市: バイゴマ3点	カー×1	1
P10-31	四條畷市教育委員会	H22.11.18	『歴史とみどりのまちふるさと四條畷』に使用	讃良郡条里:平成17年航空写真、近畿最古の弥生土器、炭化米	カー×3	3
P10-32	(株) 雄山閣	H22.11.22	『季刊考古学』第114号に掲載	向出:調査地全景	カー×1	1
P10-33	赤松和佳	H22.11.25	『西日本における土器・陶磁器の諸相』に掲載	麻田藩陣屋跡: 掲載資料ほか	モノ×10	10
P10-34	株式会社 ベストセラーズ	H22.12.17	月刊『歴史人』2011年1月12日発売の「城」号に掲載	大坂城趾:堀83土層断面	カー×1	1
P10-35	檀原考古学研究所 友史会	H22.12.9	友史会遺跡地図シート 二上山周辺の遺跡	田須谷古墳:全景	カー×1	1

番号	貸出先	依頼書 年月日	使用目的	資料名	内訳	点数
P10-36	西村 歩	H22.11.15	「(仮) 百舌鳥古墳群とその周辺」で使用	下田:全景、銅鐸、木製品、竪穴住居跡ほか	カラー×28	28
P10-37	原子力発電環境整備機構	H23.1.19	資源エネルギー庁主催「双方向シンポジウム」のプレゼンテーション資料として使用	下田:銅鐸出土状況	カラー×1	1
P10-38	河出書房新社	H23.1.19	『列島の考古学—古墳時代—』(仮題)	陶邑・大庭寺: TG232号窯出土須恵器集合写真	モノクロ×1	1
P10-39	財団法人 利用運送振興会 物流博物館	H23.1.24	社団法人全日本トラック協会広報誌『広報とらっく』に掲載	瓜生堂:馬が修羅を引く図のある須恵器	カラー×1	1
P10-40	鳥取県埋蔵文化財センター	H23.1.26	フォーラム記録集『自然への備えと挑戦—青谷上寺地遺跡の土木技術と現在』	池島・福万寺: 小区画水田、久宝寺: 護岸、竜華地区の水制	カラー×3	3
P10-41	東京法令出版株式会社	H23.2.1	中学歴史資料集『ビジュアル歴史』	亀井: 鋤	カラー×1	1
P10-42	株式会社ベストセラーズ	H23.2.3	『歴史人別冊 お江の真実』	大坂城趾: 金箔瓦集合写真	カラー×1	1
P10-43	財団法人 堺都市政策研究所	H23.2.14	「フォーラム堺学 第17集」	堺環濠都市: 2調査区 第3面濠全景、2300濠断面	カラー×2	1
P10-44	兵庫県立考古博物館	H23.2.17	石野博信「放射状区画珠文鏡考」『兵庫県考古博物館研究紀要』	東山: 2号土壙墓出土? 製鏡	カラー×1	1
P10-45	株式会社 光文書院	H23.3.2	「社会科テスト6年」・「社会科作業帳6年」	亀井: 白	モノクロ×1	1
P10-46	財団法人 交野市文化財事業団	H23.3.7	『(仮称) 発掘! 発見! 緑立つ道 ヤマト政権の生活基盤を掘る! 講演記録集』	上私部: 7掘立柱建物全景など	カラー×9	9
P10-47	高槻市教育委員会	H23.3.15	『開館記念特別展 展示図録 三島と古代淀川水運 I』	讃良郡条里: 出土土器集合	カラー×1	1
P10-48	徳島県立博物館	H23.3.18	企画展「人形・ひとがた—祈りから遊びまで」	仏並: 土面	カラー×1	1
					合計	119

③常設展示資料の貸出し

文書 番号	貸出先	貸出展示等名称	貸出期間	資料名	点数
J10-01	大阪府立弥生文化 博物館 (移動記録)	弥生文化博物館 常設展示	H22.4.1 ~H23.3.31	新家：1, 瓜生堂：2, 巨摩廃寺 6, 山賀：6, 亀井北：1, 亀井： 26, 田山：47, 西大路：5, 脇 浜：12, 貝掛：9	実物115
J10-02	大阪府立 近つ飛鳥博物館 (移動記録)	近つ飛鳥博物館 常設展示	H22.4.1 ~H23.3.31	久宝寺：6, 美園古墳：6, 小阪：40, 日置荘：2	実物54
J10-03	和泉市教育委員会	和泉市いずみの 国歴史館 常設展示	H22.4.1 ~H23.3.31	福瀬：墨書皿(寺)1/木製弓2/下駄 2/鉦台1/桶底1/椀1/雁股式有茎 鎌1/小刀1, 仏並：縄文土器(鉢) 1/縄文土器(深鉢)1/土面レプリカ 1/パネル2, 池田寺：縄文土器 (深鉢)1/文字瓦 (池田・堂)2	実物16 パネル2
J10-04	泉佐野市立 歴史館いずみさの	歴史館いずみさの 常設展示	H22.4.1 ~H23.3.31	上町東:白磁椀2, 若宮:檀波羅 密寺銘平瓦8, 日置荘:鉄瓶1,	実物11
J10-05	大阪府立 狭山池博物館	狭山池博物館 常設展示	H22.4.1 ~H23.3.31	城山：韓式土器5, 日置荘：青磁碗1	実物6
J10-06	吹田市立博物館	吹田市立博物館 常設展示	H22.4.1 ~H23.3.31	吹田操車場：須恵器大型甕1	実物1
J10-07	堺市博物館	堺市立みはら 歴史博物館 常設展示	H22.4.1 ~H23.3.31	真福寺： 梵鐘鑄造遺構切り取り1	実物1
J10-08	堺市博物館	堺市立みはら 歴史博物館 常設展示	H22.4.1 ~H23.3.31	真福寺：梵鐘鑄型等8/鑄型(外型) 用途不明1/鑄型(外型)磬1/瓦器椀 2/東播系こね鉢1/土師器羽釜1/ 鑄型(外型)鍋2/轆羽口2/円面硯1 , 余部：磬鑄型2/釜鑄型1, 太井 ：轆羽口2/統一新羅印花文陶器1 /延喜通寶3/坩堝4/轆羽口2/須恵 器高杯1/丸柄1, さば山古墳：円 筒埴輪2/朝顔形埴輪2, 丹上：巡 方1	実物41
J10-09	独立行政法人 国立文化財機構 九州国立博物館	九州国立博物館 文化交流常設展示 「海の道、アジア の路」	H22.4.1 ~H23.3.31	陶邑・大庭寺:須恵器6	実物6
				総点数	250点

④ビデオの貸出し

貸出先	申請年月日	使用目的	映像資料名	点数
奈良大学文学部 文化財学科 坂井秀弥	H22.4.5	奈良大学の授業 (考古学概論、 考古学特殊講義)	河内平野を掘る/地下に埋もれた歴史を 探る/弥生時代の住まい/河内平野におけ る古墳の出現/北河内発掘/古墳時代の 大規模集落/池内遺跡/甍った大坂冬の陣	8
合田幸美	H22.4.26	関西大学の授業(考古 学実習aの講義資料)	河内平野を掘る/農耕の技術/ 北河内発掘	3
弥生文化博物館 金関 恕	H22.4.30	弥生文化の普及・啓 発に用いるため	発掘された船/城山遺跡/甍る手工業集 団/泉州の遺跡/河内の弥生墳墓/塩づく りの遺跡/弥生時代の住まい/河内平野 における古墳の出現/池内遺跡	9
			合計	20

b 出版物の寄贈・交換を行う。

関係団体等、行政機関、研究機関等に対して当センターの刊行図書を寄贈配布した。

C 図書の出版・販売を行う。

①図書の出版

平成 22 年度は、下記の図書を出版した。

※ 20 から 32 については大阪府教育委員会刊行物の増刷である。

②図書の販売

平成 22 年度は、次のとおり販売した。

販売総数 2,479冊 販売金額 7,094,844円(税抜)

- 1 『大和川今池遺跡Ⅲ』(センター調査報告書 第202集)
- 2 『久宝寺遺跡』(センター調査報告書 第203集)
- 3 『三宅西遺跡Ⅱ』(センター調査報告書 第204集)
- 4 『若山遺跡』(センター調査報告書 第205集)
- 5 『高宮遺跡』(センター調査報告書 第206集)
- 6 『私部南遺跡Ⅱ』(センター調査報告書 第207集)
- 7 『植松遺跡2』(センター調査報告書 第208集)
- 8 『新上小阪遺跡Ⅲ』(センター調査報告書 第209集)
- 9 『讃良郡条里遺跡X』(センター調査報告書 第210集)
- 10 『池島・福万寺遺跡10』(センター調査報告書 第211集)
- 11 『池島・福万寺遺跡11』(センター調査報告書 第212集)
- 12 『若江北遺跡・北鳥池遺跡』(センター調査報告書 第213集)
- 13 『大和川今池遺跡Ⅳ』(センター調査報告書 第214集)
- 14 『私部南遺跡Ⅲ』(センター調査報告書 第215集)
- 15 『吹田操車場遺跡Ⅴ』(センター調査報告書 第216集)
- 16 『吹田操車場遺跡Ⅵ』(センター調査報告書 第217集)
- 17 『年報一平成21年度一』
- 18 『大阪文化財研究 第37号』
- 19 『大阪文化財研究 第38号』
- 20 『大和川今池遺跡 大阪府埋蔵文化財調査報告2010-1』
- 21 『唐櫃山古墳 大阪府埋蔵文化財調査報告2010-2』
- 22 『高木遺跡 大阪府埋蔵文化財調査報告2010-3』
- 23 『鮎川・ミクリ遺跡 大阪府埋蔵文化財調査報告2010-4』
- 24 『府中遺跡 大阪府埋蔵文化財調査報告2010-5』
- 25 『中野北遺跡Ⅱ 大阪府埋蔵文化財調査報告2010-6』
- 26 『安松田遺跡Ⅲ 大阪府埋蔵文化財調査報告2010-7』
- 27 『甲田南遺跡 大阪府埋蔵文化財調査報告2010-8』
- 28 『芹生谷遺跡 大阪府埋蔵文化財調査報告2010-9』
- 29 『府中遺跡Ⅱ 大阪府埋蔵文化財調査報告2010-10』
- 30 『倉治遺跡 大阪府埋蔵文化財調査報告2010-11』
- 31 『奥田井遺跡発掘調査概要Ⅰ』
- 32 『大阪府教育委員会文化財調査事務所年報14』



## IV 大阪府立弥生文化博物館事業

### 1 常設展示

#### (1) 第1展示室

「目で見る弥生文化」は、タイムトンネルと実物大の竪穴住居からなる導入ゾーン、「米つくりの始まり」、「新しい技術の誕生」、「ムラ・戦い・クニ」、「交流」、「死とまつり」、「弥生人」の6つのテーマゾーン、全国各地の弥生文化を紹介する弥生プラザの3つのゾーンで、弥生文化をビジュアルに展示。

弥生プラザ（最新情報コーナー）展示替

第1回「おくるうつわ―府中遺跡3号墓に供えられた弥生土器―」

平成21年8月26日（水）～平成22年8月6日（金）（287日間）

第2回「発見！池島・福万寺遺跡の弥生時代前期のムラ」

平成22年8月7日（土）～9月3日（金）（24日間）

第3回「銅鐸づくりのムラの土器―茨木市東奈良遺跡の方形周溝墓供献土器―」

平成22年9月4日（土）～平成23年3月31日（木）（169日間）

#### (2) 第2展示室

「池上曾根ワールド」という名称で、池上曾根遺跡から出土した資料のみを展示。

### 2 特展企画展事業

#### (1) 春季企画展「弥生鳥瞰―池上曾根に生きた人びと―」

《入館者数：7,525人》

開催概要 池上曾根遺跡で大型建物が発見されてから15年経った今、あらためて池上曾根遺跡を見つめ、最新の弥生時代像を探ってみた。

開催期間 平成22年5月22日（土）～7月4日（日） 38日間

場 所 特別展示室

入 館 料 一般400円（320円） 65歳以上および高校大学生300円（240円）

（ ）内は団体割引料金

印刷物 リーフレット「弥生鳥瞰―池上曾根に生きた人びと―」（平成22年5月22日発行・和泉市）

展示解説 5/22、6/5・12・19の計4回行った。

《参加者数：計40人》

#### (2) 夏季特別展「MASK―仮面の考古学―」

《入館者数：7,595人》

開催概要 縄文時代から弥生時代を中心に、仮面とそれに関する資料を展示し、日本の原始宗教とそこに託された人びとの想いについて探ってみた。

開催期間 平成22年7月17日（土）～9月12日（日） 50日間

場 所 特別展示室

入 館 料 一般 600 円 (480 円) 65 歳以上および高校大学生 400 円 (320 円)

( ) 内は団体割引料金

印 刷 物 図録「M A S K－仮面の考古学－」(平成 22 年 7 月 17 日発行)

リーフレット「M A S K－仮面の考古学－」(平成 22 年 7 月 17 日発行)

学芸員による展示解説 7/17・19・31、8/1・8・21・28、9/4・12 の計 9 回行った。

《参加者数：計 199 人》

ワークショップ ※定員各回 20 名

第 1 回 8 月 14 日 (土)「仮面を作ろう」

《参加者数：40 人》

第 2 回 8 月 15 日 (日)「仮面を作ろう」

《参加者数：40 人》

### (3) 秋季特別展「邪馬台国－九州と近畿－」

《入館者数：8,547 人》

開催概要 九州国立博物館と連携し、九州と近畿を舞台に、弥生時代の王たち、そして古墳時代の扉を開いた卑弥呼が生きた時代について展示を行った。

開催期間 平成 22 年 10 月 9 日 (土)～12 月 12 日 (日) 56 日間

場 所 特別展示室

入 館 料 一般 600 円 (480 円) 65 歳以上および高校大学生 400 円 (320 円)

( ) 内は団体割引料金

印 刷 物 図録「邪馬台国－九州と近畿－」(平成 22 年 10 月 9 日発行)

リーフレット「邪馬台国－九州と近畿－」(平成 22 年 10 月 9 日発行)

学芸員による展示解説 10/9・16・30、11/6・14・28、12/12 の 7 回行った。

《参加者数：460 人》

ワークショップ

第 1 回 11 月 13 日 (土)「鏡を作ろう」

《参加者数：34 人》

第 2 回 11 月 14 日 (日)「鏡を作ろう」

《参加者数：55 人》

### (4) 冬季企画展「続・発掘へんろ－四国の弥生時代－」

《入館者数：6,768 人》

開催概要 四国地区埋蔵文化財 5 団体と連携し、四国 4 県の弥生文化の地域性や交流を考えるとともに、大阪府下に伝わってきた四国の資料も紹介した。

開催期間 平成 23 年 1 月 22 日 (土)～3 月 21 日 (月祝) 51 日間

場 所 特別展示室

入 館 料 一般 400 円 (320 円) 65 歳以上および高校大学生 300 円 (240 円)

( ) 内は団体割引料金

学芸員による展示解説 1/22、2/5・12、3/5 の 4 回行った。

《参加者数：52 人》

ワークショップ ※定員 30 名

3 月 13 日 (日)「ふんどうくんを作ろう」

《参加者数：50 人》

### 3 その他展示事業

#### (1) 春季企画展示「脇田啓子〈女〉展」

開催概要 和泉市の洋画家・脇田啓子氏の作品展

《入館者数：9,450人》

開催期間 平成22年4月13日（火）～5月9日（日） 24日間

場 所 特別展示室

入館料 一般300円（240円） 65歳以上および高校大学生200円（160円）

（ ）内は団体割引料金

#### (2) スポット展示「速報！弥生の人形土製品と石棒―池島・福万寺遺跡出土―」

開催期間 平成22年7月8日（木）～8月1日（日）

場 所 特別展示室前

### 4 講演会事業

#### (1) 春季企画展関連

##### a 考古学セミナー

6月12日（土）「いずみの高殿・紀元前52年の世界」

乾 哲也（和泉市教育委員会）

《参加者数：86人》

6月19日（土）「池上曾根遺跡が変えた日本史」

禰亘田佳男（文化庁主任文化財調査官）

《参加者数：120人》

#### (2) 夏季特別展関連

##### a 特別講演会

7月17日（土）「縄文時代の「かお・顔・かお」

水野正好（財団法人大阪府文化財センター 理事長）

《参加者数：87人》

8月31日（火）「縄文仮面は特異なもの」

水野正好（財団法人大阪府文化財センター 理事長）

《参加者数：44人》

9月12日（日）「仮面をつけた司祭者」

金関 恕（大阪府立弥生文化博物館 館長）

《参加者数：158人》

##### b 考古学セミナー

7月31日（土）「九州における貝製仮面について」

山崎純男（福岡市教育委員会）

《参加者数：83人》

8月21日（土）「縄文時代の顔表現～土偶の顔・土面の顔～」

伊藤正人（名古屋市教育委員会）

《参加者数：80人》

8月28日（土）「仮面という装置」

吉田憲司（国立民族学博物館）

《参加者数：58人》

### (3) 秋季特別展関連

#### a 特別講演会

- 10月9日(土)「中平銘鉄刀と卑弥呼の時代」  
金関 恕(大阪府立弥生文化博物館館長) <<参加者数: 208人>>
- 12月12日「邪馬台国への道」  
水野正好(奈良大学名誉教授) <<参加者数: 440人>>

#### b 考古学セミナー

- 10月16日(土)「奴国と倭国」  
高倉洋彰(西南学院大学教授) <<参加者数: 186人>>
- 10月30日(土)「魏志東夷伝の考古学」  
東 潮(徳島大学教授) <<参加者数: 187人>>
- 11月6日(土)「九州の邪馬台国事情」  
坂元雄紀(九州国立博物館) <<参加者数: 253人>>
- 11月19日(金)「邪馬台国大和説の盲点」  
藤田憲司(財団法人 大阪府文化財センター) <<参加者数: 152人>>
- 11月28日(土)「東アジアの巨大墳と卑弥呼の「大冢」」  
菅谷文則(奈良県立橿原考古学研究所所長) <<参加者数: 206人>>

### (4) 冬季企画展関連

#### a 特別講演会

- 2月13日(日)「四国発掘まんだらー邪馬台国を支えた四国ー」  
水野正好(奈良大学名誉教授) <<参加者数: 106人>>

#### b 調査成果報告会

- 2月5日(土)「弥生時代の大集落ー旧練兵場遺跡の発掘調査ー」  
信里芳紀(香川県埋蔵文化財センター)  
「西部瀬戸内の弥生社会ー舶載鑄造鉄器と対外交流の諸相ー」  
柴田昌晃(財団法人愛媛県埋蔵文化財調査センター) <<参加者数: 118人>>
- 2月12日(土)「太平洋に面した大形弥生集落ー田村遺跡群の調査成果からー」  
久家隆芳(財団法人高知県文化財団埋蔵文化財センター)  
「土器に見る大阪と四国の交流」  
市村慎太郎(財団法人 大阪府文化財センター) <<参加者数: 123人>>
- 3月5日(土)「四国の地域色ー土器・石器・祭祀ー」  
梅木謙一(財団法人松山市文化・スポーツ振興財団)  
「徳島市眉山周辺の遺跡群ー矢野遺跡を中心に最新の調査成果からー」  
近藤 玲(公益財団法人徳島県埋蔵文化財センター) <<参加者数: 99人>>

## (5) 春の連続講座

- 3月23日(水)「弥生時代の人と動物―漁労・狩猟・家畜―」  
丸山真史(奈良文化財研究所埋蔵文化財センター客員研究員) <<参加者数:148人>>
- 3月24日(木)「文化財の心を運ぶ―梱包の実演をとおして―」  
日本通運株式会社関西美術品支店 <<参加者数:52人>>
- 3月25日(金)「古墳からみた古代豪族 葛城氏」  
白石太一郎(大阪府立近つ飛鳥博物館館長) <<参加者数:228人>>
- 3月26日(土)常設展示案内映像完成記念トーク「弥生を語る」  
里中満智子(マンガ家・大阪芸術大学教授)  
金関 恕(大阪府立弥生文化博物館館長) <<参加者数:139人>>
- 3月27日(日)「中国鏡からみた倭」  
岡村秀典(京都大学人文科学研究所教授) <<参加者数:191人>>
- 3月29日(火)「弥生墳丘墓から前方後円墳へ―大和王権の成立―」  
藤田憲司(財団法人 大阪府文化財センター) <<参加者数:240人>>
- 3月30日(水)「箸墓古墳の現状と課題―邪馬台国と狗奴国の所在地をめぐる―」  
徳田誠志(宮内庁書陵部主席研究官) <<参加者数:301人>>
- 3月31日(木)「発掘された牽牛子塚と斉明女帝像」  
水野正好(奈良大学名誉教授) <<参加者数:310人>>

## (6) 近畿弥生の会

- 6月26日(土)「弥生土器に地域を読む方法」  
若林邦彦(同志社大学歴史資料館准教授) <<参加者数:110人>>
- 9月25日(土)「山城・丹波・丹後地域の様相―集落・墓・土器をめぐる―」  
飯後弘幸(財団法人京都府埋蔵文化財調査研究センター調査第1課長兼調査第2課長)  
<<参加者数:72人>>
- 11月27日(土)「弥生土器にみる和泉との地域間交流」  
土井孝之(財団法人和歌山県文化財センター主任) <<参加者数:63人>>
- 1月29日(土)「播磨の弥生文化―大阪湾岸と瀬戸内をつなぐ地域の様相―」  
荒木幸治(赤穂市教育委員会生涯学習課主査)  
山崎敏昭(三田市生涯学習課文化財担当係長) <<参加者数:94人>>
- 2月26日(土)「近江の弥生遺跡―東日本への窓口―」  
伊庭 功(財団法人滋賀県文化財保護協会副主幹) <<参加者数:74人>>

## (7) その他

### a 「館長、学芸員と語る」

- 3月11日(金)「弥生のまつり 今昔」 <<参加者数:35人>>  
金関 恕(当館館長)、合田幸美(当館学芸課長)、永野 仁(当館主任学芸員)
- 3月18日(金)「弥生の建物 今昔」

金関 恕（当館館長） 合田幸美（当館学芸課長） 正岡大実（当館主任学芸員）

《参加者数：34人》

b 財団法人文楽協会との連携

1月30日（日）「世界無形文化遺産 文楽の魅力」

《参加者数：185人》

c 大阪府環境農林水産総合研究所との連携「人と生きもののかかわり、今昔」

2月19日（土）「人と動物、魚、野菜のかかわり」

《参加者数：97人》

3月19日（土）「人と食料獲得、米、水田のかかわり」

《参加者数：60人》

（於：大阪府環境農林水産総合研究所大阪府環境情報プラザ研修室）

## 5 「府民が参加する博物館」事業

### (1) やよいミュージアムコンサート

エントランスホールでコンサートを実施した。出演者は公募し、その選考はミュージアムコンサート運営委員会がおこなった。

#### 運営委員

安井 証雄（バイオリン） 稲本 直（コンサート企画） 太田善照（社会教育） 田中寛治（社会教育）

4月4日（日） Song Piano Duo やわらかな風の吹く季節

《参加者：122人》

宋和純・宋和映（ピアノソロ・デュオ）

4月18日（日） ロマンس～前田みねり・ヴァイオリンコンサート～

《参加者数：253人》

前田みねり（ヴァイオリン） 大槻知世（ピアノ伴奏）

5月2日（日） 心に風を感じて～歌とピアノとヴァイオリンで奏でる癒しのひとときを～

《参加者数：185人》

ピアノフォルテ：中村かおり（ソプラノ） 小椋満子（ピアノ）

林 聡子（ヴァイオリン）

6月6日（日） Rêve ユメ色 ensemble

《参加者数：298人》

Rêve：中塚真紀（ヴァイオリン） 勝田真優（フルート） 出口頼子（ピアノ）

6月20日（日） いつもそばに、ワルツ！

《参加者数：205人》

ぴあのごっこ：赤山ひろの・畑ヶ中みゆき（ピアノデュオ）

7月4日（日） 魅惑のロマン派～チェロとピアノの調べにのせて～

《参加者数：342人》

浅田陽子（ピアノ） 植木美帆（チェロ）

7月25日（日） À la carte du Piano ～ピアノの名曲をたどって～

《参加者数：221人》

金田仁美（ピアノ）

8月1日（日） 夏の日思い出

《参加者数：228人》

小槇周一（フルート） 瀧明絵里子（ヴァイオリン） 原田絵未（ピアノ）

8月29日（日） オルフェオとエウリディーチェ～古しえの愛の物語～

《参加者数：232人》

Cantabile（カンタービレ）：北井春花・高木未知子（ソプラノ）

松田恵美 (メゾソプラノ)、高垣 節 (ピアノ)

- 9月5日(日) コスモスコンサート～岡村星見作品を交えて～ 《参加者数：203人》  
橋本久美子 (ホルン) 岡村星見 (ピアノ)
- 9月19日(日) ショパンの詩的世界～生誕200年記念プログラム～ 《参加者数：223人》  
櫛原 藍 (ピアノ)
- 10月3日(日) ～永遠の愛・情熱の愛・安らぎの愛～愛のシンフォニー 《参加者数：154人》  
久保田葉月 (ソプラノ) 遠藤志季 (ヴァイオリン) 岡本百合子 (ピアノ)
- 10月17日(日) ハープとトランペットの奏 《参加者数：214人》  
小谷 雅 (ハープ)、中村友子 (トランペット)
- 10月31日(日) 魅惑のフランス作品集～幻想のみのり、美しい昔話～ 《参加者数：213人》  
Timo：竿下和美 (ピアノ)、中地聖子 (サクソ)
- 11月21日(日) rêve～シューマンとショパンによせて～ 《参加者数：228人》  
小谷朋子 (ピアノ)
- 12月5日(日) ピアノでほっこり冬のひととき 《参加者数：183人》  
常 瑠里子・原田祐子・佐藤さや香 (ピアノ)
- 12月19日(日) 天使の響き Part 4～ハンドベルコンサート～ 《参加者数：181人》  
ドリーム21 ハンドベル教室、指揮・指導：高木至通・高木希見子
- 1月9日(日) 箏・三絃・尺八による新春コンサート 《参加者数：298人》  
邦楽合奏団「地涌」
- 1月23日(日) 新春コンサート～サクソフォン・アンサンブルの響き～ 《参加者数：205人》  
ココ・サクソフォン・カルテット：久保田 剛・西村ひろみ・板橋涼子  
橋本大介
- 2月6日(日) 四季を奏でる 《参加者数：209人》  
室田香織・吉里瞳子 (ソプラノ) 籠谷紗希・星川響子 (ピアノ)
- 2月20日(日) ピアノの調べで世界を旅してみませんか？ 《参加者数：282人》  
永山直子・松山顕子 (ピアノソロ・デュオ)
- 2月27日(日) 風と木の調べ 《参加者数：255人》  
KCO 室内アンサンブル：  
高橋夏樹 (フルート) 政次知己 (オーボエ) 大沼正史 (クラリネット)  
西島直子 (ファゴット) 石谷亮介 (ホルン) 長永啓子 (第一ヴァイオリン)  
浜崎綾子 (第二ヴァイオリン) 萩原 愛 (ヴィオラ) 十川登志夫 (チェロ)  
中村敦子 (ピアノ)
- 3月6日(日) ピアノで綴る愛の調べ 《参加者数：212人》  
井阪あゆみ (ピアノ)
- 3月20日(日) 音楽のチカ・ミチ with アキ 《参加者数：169人》  
大賀千夏子 (ソプラノ) 川村美智子・植田祐加里 (ピアノ) 小山亜希 (ヴァイオリン)

## (2) ミニギャラリー

エントランスホールで絵画等の展示をおこなった。

4月20日(火)～5月1日(土) 11日間 ≪入館者数：4,543人≫

「青藍会展」(日本画) 出展：和泉市文化協会日本画部「青藍会」

6月8日(火)～6月19日(土) 11日間 ≪入館者数：2,332人≫

「Dream展」(油彩画、水彩画、日本画) 出展：日本現代美術協会和泉グループ

7月6日(火)～7月19日(月祝) 13日間 ≪入館者数：1,422人≫

「風景画押し花とデザイン押し花展～水嶋光子とその仲間たち～」(押し花)

出展：押し花工房はなあ～と

9月7日(火)～9月18日(土) 11日間 ≪入館者数：1,414人≫

「仏像細密筆画展」(アクリル画) 出展：小島嘉一

11月2日(火)～11月20日(土) 17日間 ≪入館者数：3,346人≫

「伝統こけし～秤屋健蔵コレクション～」(こけし) 出展：秤屋健蔵

11月24日(水)～12月3日(金) 9日間 ≪入館者数：1,126人≫

「貫頭衣コンテスト入賞作品展」(衣装) 出展：泉大津市

1月25日(火)～2月5日(土) 11日間 ≪入館者数：1,297人≫

「遠藤公譽漆芸展」(漆工芸品) 出展：遠藤公譽

ギャラリートーク 1月30日(日) ≪参加者数：58人≫

ギャラリートーク 2月5日(土) ≪参加者数：32人≫

## (3) 第16回絵画コンテスト「卑弥呼の時代を描こう」

小中学生から弥生時代をイメージした絵を募集し、優秀作品をエントランスホールで展示した。

審査員：小灘一紀(洋画家・日展評議員) 上田正克(児童画指導者・元泉大津市立浜小学校校長)

応募期間：6月1日(金)～6月30日(水)

応募点数：293点(小学生292点388人・中学生1点)

表彰式：8月7日(土) ≪参加者数：60人≫

金賞「弥生時代にタイムスリップした私」村上あすか(大阪市立千本小学校6年)

金賞「弥生人の暮らし」中野侑雅(和泉市立幸小学校6年)

優秀作品展：8月7日(土)～8月25日(水) 16日間 ≪入館者数：2,450人≫

金賞2点、銀賞2点、銅賞2点、特別賞1点、佳作10点、入賞78点

## (4) ボランティア活動

4分野で活動をおこなった(重複参加あり)。※定員25人 ≪登録者数：25人≫

≪活動日数：72日 活動人数：196人≫

点訳ボランティア：図録の点訳、視覚障がい者の来館補助等

翻訳ボランティア：開催要項等の英語訳等

平日ボランティア：展示室巡回、書庫整理、体験学習素材の作成等

土曜ボランティア：土器パズル等体験学習の補助



## 6 「博物館 in school」事業－博学連携事業

### (1) 小中学校の団体見学受け入れ

事前に説明会を催し、また、館内案内ビデオの貸出しをおこなうことで事前学習の一助とした。また、見学をより充実したものにしてもらうため、ホームページ上にワークシート8種類を用意し、各学校に利用を呼びかけた。見学当日には、各団体の意向に沿って学芸員や教育専門員が展示解説をおこない、展示室での学習を支援した。

《入館者数：11,481人・149校》

下見説明会 4月6日(火)・7日(水)・8日(木) 3日間4回

《参加者数：142人・56校》

### (2) 体験ゾーンの活用

屋外に設置した竪穴住居の復元施設の活用を推進した。

《利用者数：6,289人・196回》

### (3) 資料貸出し

資料を貸し出し、授業の一助とした。

4月16日(金)	堺市立錦小学校	貫頭衣
4月24日(土)	和泉市立南池田小学校	貫頭衣・石庖丁
5月15日(土)	関西大学	黒曜石片・サヌカイト片
8月26日(木)	大阪府立伯太高校	貫頭衣
11月16日(火)	泉大津市立東陽中学校	木製臼・杵
1月15日(土)	堺市立錦小学校	火おこしセット

### (4) 出前授業

小学校等から依頼を受け、教育専門員および学芸員が出向いて授業をおこなった。

《実績：2,129人・62回》

4月13日(火)	堺市立深井小学校6年生	3回	107人
4月16日(金)	堺市立三原台小学校6年生	2回	141人
4月22日(木)	堺市立北八下小学校6年生	2回	58人
4月30日(金)	岸和田市立八木南小学校6年生	3回	110人
5月13日(木)	岬町立深日小学校6年生	2回	44人
5月27日(木)	大阪市立住吉川小学校6年生	2回	85人
6月1日(火)	八尾市刑部小学校6年生	4回	151人
6月4日(金)	堺市立八上小学校6年生	3回	110人
6月8日(火)	堺市立東三国丘小学校6年生	4回	129人
6月10日(木)	堺市立福泉東小学校6年生	1回	41人
6月15日(火)	堺市立若松台小学校6年生	2回	65人
6月18日(金)	和泉市立南池田小学校6年生	3回	97人

6月22日(火)	熊取町立東小学校6年生	3回	100人
6月24日(木)	大阪市立日吉小学校6年生	2回	123人
6月29日(火)	枚方市立山之上小学校6年生	3回	91人
9月8日(水)	大阪府立伯太高等学校3年生	1回	23人
9月16日(木)	大阪府立伯太高等学校3年生	1回	25人
9月28日(火)	大阪府立成城高等学校3年生	2回	11人
9月29日(水)	私立初芝立命館中学校留学生	2回	15人
10月26日(火)	堺市立日置荘西小学校6年生	3回	89人
10月28日(木)	大阪市立栄小学校5年生	1回	24人
11月12日(金)	泉大津市立東陽中学校1年生	5回	185人
11月15日(月)	羽曳野市立丹比幼稚園年小・年長	1回	38人
11月16日(火)	泉大津市立東陽中学校1年生	5回	186人
11月19日(金)	羽曳野市立丹比幼稚園年小・年長	1回	38人
11月24日(水)	岸和田市立山直南小学校(クラブ)	1回	43人
2月16日(水)	泉大津市立東陽中学校	1回	371人

#### (5) 博学連携授業

博物館の活動をよりよく理解してもらうため、小学校から大学までを対象に、展示解説やバックヤードツアーをおこなったほか、教員を対象に博学連携セミナーを実施し、意見交換の場を設けた。

《参加者数：721人 小学校4校・高校8校・大学2校》

6月9日(水)	泉大津市立条東小学校歴史クラブ体験学習	10人
6月23日(水)	泉大津市立条南小学校歴史クラブ体験学習	27人
6月26日(土)	桃山学院大学見学授業(学芸員資格取得課程)	4人
6月26日(土)	神戸女子大学見学授業	11人
7月6日(火)	大阪府立成美高等学校体験学習	20人
7月21日(水)～8月31日(火)		
	大阪府立登美丘高等学校課題学習	218人
7月27日(火)	大阪府立登美丘高等学校体験学習	25人
8月17日(火)	大阪府立登美丘高等学校体験学習	14人
8月27日(金)	大阪府立泉大津高等学校生夏期体験学習	20人
9月29日(水)	泉大津市立条南小学校歴史クラブ体験学習	27人
10月21日(木)	大阪市立栄小学校体験学習	29人
1月26日(水)	大阪府立和泉総合高等学校課題学習	21人
2月23日(水)・25日(金)		
	大阪府立和泉総合高等学校課題学習	48人
3月4日(金)～31日(木)		
	大阪府立泉大津高等学校課題学習	247人

## (6) 大学生博物館学実習

実習生を受け入れ、博物館の実務について指導した。

7月28日(水)・29日(木)

奈良大学通信教育部生

37人・1大学

8月3日(火)～7日(土)

大阪大学・帝塚山学院大学・近畿大学・桃山学院大学・奈良大学・立命館大学・京都光華大学・  
京都女子大学・神戸女子大学・京都府立大学・同志社女子大学・神戸大学・武庫川女子大学

22人・13大学

## (7) 中学生の職場体験学習

7校から23名を1～2日間受け入れ、博物館業務を体験する機会を提供した。

9月29日(水)・30日(木) 高石市立取石中学校 3人

10月7日(木) 高石市立高石中学校 3人

11月9日(火)・10日(水) 和泉市立信太中学校 3人

11月17日(水)・18日(木) 忠岡町立忠岡中学校 3人

2月2日(水)・3日(木) 和泉市立石尾中学校 3人

2月2日(水)・3日(木) 泉大津市立誠風中学校 5人

2月8日(火)・9日(水) 和泉市立郷荘中学校 3人

## (8) 博学連携セミナー

博物館の活動を理解してもらうため、学校教員との意見交換会の場を設けた。募集方法は、各学校へ開催案内を送付し、教員が自主的に応募することとした。

11月25日(木) 中学校教員1人

11月30日(火) 小学校教員1人・中学校教員2人

12月1日(水) 中学校教員3人

## (9) 教員研修の受け入れ

教員の研修を博物館に誘致し連携を深めた。

《参加者数：292人・7団体》

7月28日(水) 堺市管理職小中連携研修会 100人

7月30日(金) 和泉市小中学校事務職員部研修会 50人

8月3日(火) 泉大津市教育委員会研修会 50人

8月10日(火) 高校教諭大阪府初任者研修 16人

8月11日(水) 高校教諭大阪府初任者研修 16人

12月10日(金) 大阪府高等学校社会科研究会 30人

2月8日(火) 羽曳野市教育委員会校長会 30人





- l 高校軽音フェスタ in 弥生の杜 2010 ‹‹参加者数：1,181人››  
 開催日 10月30日(土)・31日(日)  
 内容 「土器パズル」  
 連携先 和泉市文化財活性化推進実行委員会
- m 池島・福万寺遺跡現地公開 ‹‹参加者数：307人››  
 開催日 11月6日(土)  
 内容 「土器パズル」  
 連携先 財団法人大阪府文化財センター
- n 古代体験秋まつり ‹‹参加者数：384人››  
 開催日 11月6日(土)  
 内容 「ガラス勾玉作り」  
 連携先 兵庫県立考古博物館
- o 日本民家集落まつり ‹‹参加者数：1,373人››  
 開催日 11月20日(土)  
 内容 「石器で切れるかな」、紙芝居  
 連携先 日本民家集落博物館
- p 農業まつり ‹‹参加者数：74人››  
 開催日 11月21日(日)  
 内容 「土器パズル」  
 連携先 JAいずみ

### (3) 講演・講座

当館学芸員が、各所から依頼を受け、出張講演・解説をおこなった。

- 5月20日(火) Museum2010「Learning in Japanese Museums : Case study at two Local history museums」  
 (於：台北国立教育大学) ‹‹参加者数：702人››
- 7月20日(火) 四条畷市民講座「土偶・土面からみた縄文人の顔表現」  
 (於：四条畷市立公民館) ‹‹参加者数：21人››
- 9月21日(火) 四条畷市民講座「弥生時代から古墳時代の鏡とお墓」  
 (於：四条畷市立公民館) ‹‹参加者数：23人››
- 10月22日(火) 四条畷市民講座「博物館見学案内」  
 (於：四条畷市立公民館) ‹‹参加者数：25人››
- 11月28日(日) 弥生の里文化講座「卑弥呼が見た弥生時代の建物」  
 (於：田原本青垣生涯学習センター-弥生の里ホール) ‹‹参加者数：76人››
- 12月16日(木) 近つ飛鳥入門講座「他地域からやってきた土器-弥生編-」  
 (於：大阪府立近つ飛鳥博物館) ‹‹参加者数：21人››
- 1月22日(土) 東大阪市埋蔵文化財講演  
 (於：東大阪市立埋蔵文化財センター) ‹‹参加者数：72人››

- 1月26日(水) 大阪ほんもの講座(NPO 法人大阪府高齢者大学校)「卑弥呼がみた弥生時代の建物」  
(於:法円坂アネックスパル) <<参加者数:155人>>
- 2月17日(木) 近つ飛鳥入門講座「弥生土器の見方—時間のものさし—」  
(於:大阪府立近つ飛鳥博物館) <<参加者数:24人>>

#### (4) 連続講座「大阪の古代を語る」

大阪府立近つ飛鳥博物館と共同で、大阪市立中央公会堂において連続講座をおこなった。

- 7月8日(木) 「古墳時代の大型建物—豊中市蛭池東遺跡をめぐる風景—」  
合田幸美(当館学芸課長) <<参加者数:110人>>
- 10月14日(木) 「摂津の古墳—紫金山古墳と南塚古墳—」  
金関 恕(当館館長) <<参加者数:167人>>
- 12月9日(木) 「河内平野における土地利用—八尾市久宝寺遺跡の調査から—」  
永野 仁(当館主任学芸員) <<参加者数:113人>>
- 2月10日(木) 「大阪湾を巡る交流—弥生土器の移動—」  
中川二美(当館学芸員) <<参加者数:100人>>
- 3月10日(木) 「洪水で埋もれた弥生のムラ—八尾市八尾南遺跡の例—」  
正岡大実(当館主任学芸員) <<参加者数:84人>>

## 8 「体験する博物館」事業

### (1) 体験学習・ツアー

体験することにより、知的好奇心を高め、また当館により親しんでもらうため、特別展・企画展関連以外にもワークショップや遺跡巡りツアー等をおこなった。

- 5月3日(月祝) GW Let's Try! 「弥生のお米つき」 <<参加者数:38人>>
- 5月3日(月祝)・4日(火祝) GW Let's Try! 「こいのぼりをつくろう」 <<参加者数:78人>>
- 5月4日(火祝) GW Let's Try! 「石の道具をつくってみよう」 <<参加者数:53人>>
- 5月5日(水祝) GW Let's Try! 「昔むかしの火おこし体験」 <<参加者数:50人>>
- 5月5日(水祝) GW Let's Try! 「縄文ポシェットをつくろう」 <<参加者数:42人>>
- 7月30日(金) 夏休み Let's Try! 「犬人形をつくろう」 <<参加者数:50人>>
- 8月8日(日) 夏休み計量教室「棒はかりをつくろう」 <<参加者数:70人>>
- 8月8日(日) 計量クイズ「100グラムってどのくらい?」 <<参加者数:134人>>
- 8月8日(日) 健康器具体験 <<参加者数:35人>>
- 8月12日(木) 夏休み Let's Try! 「ミニ銅鐸を作ろう」 <<参加者数:72人>>
- 8月17日(火) 夏休み Let's Try! 「紙芝居と腹話術」 <<参加者数:40人>>
- 8月19日(木) 夏休み Let's Try! 「粘土板 de 文様」 <<参加者数:25人>>
- 8月26日(木) 夏休み Let's Try! 「石の道具を作ろう」 <<参加者数:58人>>
- 9月11日(土) 竪穴住居の建築と火おこし体験 <<参加者数:67人>>  
(フレンズ子供会)

10月16日(土)	竪穴住居の建築 (ボーイスカウト大阪連盟豊中第18団)	《参加者数：12人》
11月13日(土)・14日(日)	関西文化の日「あなたもきみも弥生ファミリー！」	《参加者数：309人》
11月13日(土)・14日(日)	関西文化の日「土器パズル」	《参加者数：232人》
11月13日(土)・14日(日)	関西文化の日「弥生ツアー」	《参加者数：67人》
11月13日(土)・14日(日)	関西文化の日「あしあとをくらべてみよう」	《参加者数：88人》
11月13日(土)・14日(日)	「棒ばかりをつくって計量に挑戦！」	《参加者数：80人》
11月13日(土)・14日(日)	家庭用計量器無料診断	《参加者数：17人》
11月13日(土)・14日(日)	健康器具体験コーナー	《参加者数：166人》
11月13日(土)・14日(日)	計量クイズ「100グラムってどのくらい？」	《参加者数：658人》
11月14日(日)	関西文化の日「ガラスでまがたまを作ろう」	《参加者数：203人》
11月21日(日)	古代の暮らし体験 (ボーイスカウト大阪連盟藤井寺第4団)	《参加者数：40人》
12月4日(土)	発見！体験！考古学(発掘体験)	《参加者数：11人》
3月23日(水)・25日(金)	弥生フェスティバル「ペーパークラフト 甕を作ろう」	《参加者数：220人》
3月24日(木)・31日(木)	弥生フェスティバル「縄文ポシェットを作ろう」	《参加者数：348人》
3月24日(木)・29日(火)	弥生フェスティバル「拓本教室」	《参加者数：139人》
3月25日(金)・27日(日)	弥生フェスティバル「チリメンモンスターを探せ」	※定員96名《参加者数：149人》
3月26日(土)	弥生フェスティバル「モバイル作り」	《参加者数：88人》
3月26日(土)・27日(日)	弥生フェスティバル「ピンホールカメラ作り」	《参加者数：432人》
3月27日(日)	弥生フェスティバル「作って遊ぼうブンブンごま」	《参加者数：406人》
3月29日(火)	弥生フェスティバル「学芸員とぶらり平日さんぽ」	《参加者数：70人》
3月29日(火)・30日(水)	弥生フェスティバル「はにわストラップ作り」	《参加者数：105人》
3月30日(水)・31日(木)	弥生フェスティバル「金印の使いかた」	《参加者数：207人》
毎週土曜日	「土器パズル」	

## (2) こどもファーストデイ企画「みんないっしょに考古学！2010」

大阪府教育委員会が実施する「こころの再生」府民運動のうち、毎月第3土曜日の「こどもファーストデイ」



ストデイ」に参加し、コミュニケーションを深めるきっかけをつくる体験学習をおこなった。

4月17日(土)	「弥生の脱穀精白」	《参加者数：23人》
5月15日(土)	「石器で切れるかな？」	《参加者数：29人》
6月19日(土)	「石器で切れるかな？」	《参加者数：26人》
7月17日(土)	「弥生の脱穀精白」	《参加者数：8人》
8月21日(土)	「石器で切れるかな？」	《参加者数：45人》
9月18日(土)	「火おこしに挑戦」	《参加者数：50人》
10月16日(土)	「ブンブンごま作り」	《参加者数：9人》
11月20日(土)	「弥生の脱穀精白」	《参加者数：21人》
12月18日(土)	「火おこしに挑戦」	《参加者数：20人》
1月15日(土)	「弥生の脱穀精白」	《参加者数：14人》
2月19日(土)	「石器で切れるかな？」	《参加者数：22人》
3月19日(土)	「火おこしに挑戦」	《参加者数：10人》

## 9 その他各種連携事業（7 「どこでも博物館」事業以外の連携）

### (1) 企業との連携

#### a 株式会社国際交流サービス

講師派遣の要請をうけ、遺跡見学ツアーに当館学芸員が随行した。

9月1日(水)～3日(金)	「東北 史跡と考古の旅」	《参加者数：31人》
12月1日(水)～3日(金)	「北部九州 史跡と考古の旅」	《参加者数：49人》
2月15日(火)～17日(木)	「宍岐・対馬 史跡と考古の旅」	《参加者数：48人》

#### b 阪急古書のまち

6月23日(水)	展示案内・書庫案内	《参加者数：22人》
----------	-----------	------------

#### c 大阪府都市開発株式会社（泉北高速鉄道）

9月18日(土)～11月28日(日)	「泉北ぐるりんウォーキング スタンプラリー」	
スタンプポイント設置		《応募者数：308人》

### (2) 公共機関、大学、法人等との連携

#### a 和泉市教育委員会

5月22日(土)～7月4日(日)	春季企画展「弥生鳥瞰—池上曾根に生きた人びと—」	共催
11月13日(土)・14日(日)	関西文化の日「弥生ツアー」	解説を依頼
3月29日(火)	弥生フェスティバル「学芸員とぶらり平日さんぽ」	解説を依頼

#### b 泉大津市教育委員会

5月22日(土)～7月4日(日)	春季企画展「弥生鳥瞰—池上曾根に生きた人びと—」	共催
3月29日(火)	弥生フェスティバル「学芸員とぶらり平日さんぽ」	解説を依頼
5月22日(土)・5月29日(土)・6月5日(土)	「建築家の視点」見学受入	
		《参加者数：100人》

- 2月12日(土)「歴史へんろ 神社祭祀と廃仏稀釈 曾禰神社とその周辺地域を巡る」見学受入
- c 和泉市総合福祉会館  
5月11日(火) 年輪大学 見学受入・展示案内 ≪参加者数：120人≫
- d 城陽市歴史民俗資料館  
6月5日(火) 展示案内 ≪参加者数：33人≫
- e 岸和田市文化国際課  
6月8日(火) サウスサンフランシスコ市高校生 展示案内 ≪参加者数：23人≫
- f NPO 法人大阪府高齢者大学校  
6月16日(水)・17(木) 見学受入・展示案内・バックヤードツアー ≪参加者数：52人≫
- g 社団法人日本自動車連盟  
6月19日(土) 見学受入・バックヤードツアー ≪参加者数：60人≫
- h 和泉市人権国際課  
6月25日(金) ブルーミントン州高校・大学生 見学受入・展示案内 ≪参加者数：19人≫
- i 関西広域機構  
7月17日(土)、8月8日(日)・14日(土)・15日(日)・21日(土)  
実施の体験学習で「関西文化ワークショップフェスティバル」に参加  
11月13日(土)・14日(日)「関西文化の日」に参加 ≪入館者数：1,285名≫
- j 兵庫県立歴史博物館  
7月17日(土)～9月23日(木祝)  
「仮面のひみつ」(於：兵庫県立歴史博物館) 広報連携
- k 文化庁長官官房国際課国際文化交流室  
「第8回国際文化フォーラム」に秋季特別展「邪馬台国—九州と近畿—」で参加
- l 和泉弥生ロマン・ツーデーウォーク  
10月16日(土)17日(日) 参加者に招待券進呈 ≪参加者数：3,850人≫
- m 堺市立みはら歴史博物館  
10月23日(土)～12月5日(日) 「古代に铸る—青銅器—」 体験講座に協力  
≪参加者数：22人≫
- n 泉大津市「カルチャー・スクール」(於：泉大津市民会館)  
11月13日(土) シンポジウム「「邪馬台国」論争は決着したのか」 共催 ≪参加者数：580人≫  
1月23日(日) 歴史紀行「弥生時代の始まりは日本史の一大画期である」 当館館長の講演  
≪参加者数：293人≫
- o 和泉市文化財活性化推進実行委員会  
11月28日(日) 和泉市歴史ウォーク 見学受入 ≪参加者数：230人≫
- p NPO 法人大阪府高齢者大学校 ≪参加者数：1,350人≫  
12月17日(金) 文化祭(於：国際障害者交流センター)に当館所蔵資料を貸出  
弥生フェスティバルのワークショップ補助を依頼、3月30日(水)・31日(木) 実施
- q 和泉市商工会議所・泉大津市商工会議所  
弥生フェスティバルへの物産販売参加を依頼、和泉市のみ3月26日(土) 実施



## (2) 要覧の作成

『平成 21 年度弥生文化博物館要覧』（平成 23 年 1 月 28 日発行）を作成し、関係諸機関に配付した。

## (3) 特別展・企画展・その他催しのポスター等の作成・配布

ポスター、チラシ、招待券等を催しの規模に応じて作成し、広報活動に活用した。

## (4) 常設展リーフレット作成

常設展示の内容を簡単に紹介した A 4 三折りのリーフレット（日本語・英語・中国語・韓国語）を配布した。

## (5) 小学生用見学のしおり・ワークシート

小学生が弥生文化を学習するうえで助けとなるよう、「小学生のための見学のしおり」を配布した。また、社会見学等で来館の学校団体には、ワークシート（8 種）を用意し、ホームページからダウンロードできるようにしてご利用いただけるようにした。

## (6) 解説シート

常設展示の解説シート（7 種）、およびボランティアが作成した常設展示点字解説シート、特別展示点字解説シート、外国語解説シート等を用意した。

## (7) 問合せ対応

マスコミ、出版社等弥生文化を中心とする質問についての回答や、参考文献の紹介をすることで、弥生文化に関する情報を発信した。

## (8) マスコミ・ミニコミへの資料提供

各種イベントごとに報道提供資料を作成し、大阪府政記者会、大阪教育記者会、堺市政記者クラブに情報を提供した。また、新聞五大紙やテレビ局各社をはじめ情報誌、地元ミニコミ誌へも同様の資料を作成・送付し、広報への協力を依頼した。

《報道提供回数 45 回／紙面等掲載・ラジオ放送等 300 回以上》

## (9) インターネットホームページ

ホームページおよびブログによる情報提供をおこなった。 《年間アクセス件数：340,180 件》

# 1 1 資料貸出し

当館所蔵の資料（実物・復元・写真・映像等）を全国各地の博物館等へ貸出し、所蔵資料を活用するとともに、各方面へ弥生文化に関する情報を発信した。

《資料 24 件・207 点／写真 73 件・127 点》

## 1 2 研究事業

海外の研究者との学術交流

- 4月15日(木) 鄭澄元(釜山大学校人文大学考古学科名誉教授)
- 6月8日(火) 金洛中(国立扶餘文化財研究所学芸研究室長)
- 9月18日(土) 趙賢庭(三江文化財研究院調査課長)
- 11月18日(木) 金東完(国立光州博物館学芸研究士)  
宣在明(国立光州博物館学芸研究員)
- 11月25日(木) 李保京(ソウル文化財研究院)  
権純康(ソウル文化財研究院)
- 12月7日(火) 金武重(財団法人中部考古学研究所所長)  
朴顯俊(同)  
具滋吝(財団法人中部考古学研究所所長)  
裴宣柱(同)  
姜善旭(同)  
鄭一(全南文化財研究院研究室長)  
韓美珍(同 研究員)  
李知泳(同 研究員)  
曹根佑(財団法人馬韓文化研究院研究院長)  
李暎澈(大韓文化遺産研究所院長)
- 12月10日(金) 劉濤(中国社会科学院考古研究所助理研究員)  
李炳鎬(国立中央博物館)
- 1月18日(火) 池賢柄(財団法人江原考古文化研究院院長)
- 2月24日(木) 全京秀(ソウル大学教授)

## 1 3 資料製作事業

### (1) 資料収集

学術図書の計画的購入など、資料収集に努めた。

## 1 4 サービス事業

### (1) 職員研修

泉大津市社会福祉協議会の協力を得て、全職員を対象とした車椅子介助実習を実施した。

### (2) アンケート調査の実施

よりよい館運営を行なうため、展示室にアンケート用紙を設置したほか、講演会やコンサートでアンケート用紙を配付し、来館者の要望や展示内容の疑問などの把握に努めた。



## 16 入館者数および入館料一覧表（弥生文化博物館）

（金額は税込額）

区 分	入館者数（人）			入館料 （円）	備 考
	有 料	無 料	合 計		
常 設 展	2,348	11,750	14,098	520,460	83 日間
割合%	4.0	20.1	24.1		
春季企画展示	1,296	8,154	9,450	297,940	24 日間
割合%	2.2	14.0	16.2		
春季企画展	1,619	5,906	7,525	458,780	38 日間
割合%	2.8	10.1	12.9		
夏季特別展	3,099	4,496	7,595	1,295,080	50 日間
割合%	5.3	7.7	13.0		
秋季特別展	4,430	8,547	12,977	1,685,840	56 日間
割合%	7.6	14.6	22.2		
冬季企画展	2,647	4,121	6,768	695,320	51 日間
割合%	4.5	7.1	11.6		
合 計	15,439	42,974	58,413	4,953,420	303 日間
割合%	26.4	73.6	100.0		
平成 21 年度実績			49,738	6,272,760	304 日間
平成 20 年度実績			45,717	4,276,000	303 日間

- ・秋季特別展の無料欄には関西文化の日（11月13・14日）の入館者（一般667人、高大生37人、65歳以上209人）を含む。
- ・常設展の無料欄には弥生フェスティバル（3月23～31日）の入館者（一般2,087人、高大生187人、65歳以上1,765人）を含む。

# V 大阪府立近つ飛鳥博物館事業

## 1 常設展示

### (1) 第1ゾーン：「近つ飛鳥と国際交流」

日本古代律令国家成立への道筋と、その中で近つ飛鳥の地域が果たした役割を、5～6世紀「倭の五王と渡来文化」、7世紀「古墳の終わり」、7世紀前半「聖徳太子の時代」、7世紀後半「仏教文化の開花」、8世紀「文字の時代」の五つのサブテーマにより展示。

### (2) 第2ゾーン：「古代国家の源流」

古代律令国家の移行段階としての古墳時代の文化を、「竪穴式石室の世界」「埴輪の世界」「王と民衆」「横穴式石室の世界」「古墳造営のムラ」「大古墳の造営」の六つのサブテーマで展示。

### (3) 第3ゾーン：「現代科学と文化遺産」

現在、様々な科学技術が多くの文化財の保存や調査・分析に応用され、大きな成果を挙げている。このことについて、保存処理を終えた修羅を中心に、幾つかの例を取り上げ、その方法や成果を紹介展示。

## 2 特展企画展事業

### (1) 春季特別展「継体大王の時代—百舌鳥・古市古墳群の終焉と新時代の幕開け—」

《総入館者数：25,442人、うち展示室：10,854人、展示室1日当り190人》

**開催趣旨** 6世紀は継体大王が活躍した時代で、5世紀末の政治的混乱を収めるとともに、ヤマト政権の安定化がはかられた時代である。考古学的な成果を中心に継体大王とその時代について紹介するとともに、磐井の乱などの政治的な混乱を経験しながらも国家形成の歩みを強めて行く時代とその特質について考え、百舌鳥・古市古墳群が終焉するとともに新たな時代を迎える6世紀の社会について探る。

**開催期間** 平成22年4月24日（土）～6月27日（日）《開館日数57日》

**特別展図録の作成・出版**（広報1,200冊・販売1,400冊）

**印刷物** ポスター・ちらし・招待券の作成

**展示解説** 5月1日（土）、5月2日（日）、5月9日（日）、6月6日（日）、6月19日（土）

《参加者合計：180人》

**音声ガイドによる展示解説**

**れきしウォーク** 特別展の内容に沿った、館外での遺跡見学会を実施した。

5月29日（土）「高槻市今城塚古墳とその周辺を歩く」 《参加者：79人（応募153人）》

**広報** 高槻市教育委員会、産経新聞社からは主催を、展示品にかかわる愛知県・福井県・滋賀県・春日井市・高島市・野洲市からは後援名義をとり、広報に努めた。また、近畿日本鉄道の各駅へポスターを掲示した。

**開会式の実施** 地元を中心とした関係者、協力者、報道関係者を招待し、実施した。4月24日（土）



## (2) 夏季企画展「古墳ってなあに？－「こぶん」なになぜ教室－」

《総入館者数：12,825人、うち展示室：4,278人、展示室1日当たり95人》

開催趣旨 夏休み期間、歴史を学ぶ小学生に向けたわかりやすい展示を実施した。

開催期間 平成22年7月17日(土)～9月5日(日)《開館日数45日》

印刷物 展示ポスター・ちらしの作成

古墳見学会

黒姫山古墳と堺市立みはら歴史博物館 8月14日(土) 《参加者:35人》

ペーパークラフト－埴輪・かぶと・大王のくつ・冠をつくろう！－

8月15日(日) 《参加者:95人》

学芸員による展示解説 7月25日(日)、8月22日(日)《参加者合計27人》

広 報 堺市・羽曳野市教育委員会・藤井寺市教育委員会・河南町・河南町教育委員会・太子町・太子町教育委員会から後援名義をとり、各小学校の生徒にチラシを配布できるように努めた。また、近畿日本鉄道の各駅へポスターを掲示した。

## (3) 秋季特別展「鉄とヤマト王権 ー邪馬台国から百舌鳥・古市古墳群の時代へー」

《総入館者数：21,488人、うち展示室：9,126人、展示室1日当たり163人》

開催趣旨 百舌鳥・古市古墳群に代表される古墳時代中期の古墳群には鉄製武器、武具、農工具が多量に納められている。弥生時代以来、鉄資源の乏しい日本列島、とりわけ近畿地方において、王権が多量の鉄を保有するに至った背景を探る。

開催期間 平成22年10月2日(土)～12月5日(日)《開館日数56日》

特別展図録の作成・出版(広報1,200冊・販売1,600冊)、ポスター・ちらし・招待券の作成

学芸員による展示解説 10月3日(日)、11日(月・祝)、31日(日)、11月21日(日)、28日(日)  
《参加者合計：145人》

音声ガイドによる展示解説

バスツアー 展示品と係わりある天理参考館、兵庫県立考古博物館と連携した。

10月30日(土) 第1回 山辺の道の古墳と天理参考館を訪ねて 《参加者:35人》

11月20日(土) 第2回 但馬の巨大古墳と兵庫県立考古博物館を訪ねて 《参加者:45人》

広 報 文化庁、読売新聞社からは主催を、堺市、羽曳野市・羽曳野市教育委員会、藤井寺市・藤井寺市教育委員会、河南町・河南町教育委員会、太子町・太子町教育委員会からは後援名義をとり、広報に努めた。また、近畿日本鉄道の各駅へポスターを掲示した。

内 覧 会 10月1日(金) 地元を中心とした関係者、協力者、報道関係者を招待し、実施した。

## (4) 冬季特別展「歴史発掘おおさかー大阪府発掘調査最新情報ー」

《総入館者数：15,213人、うち展示室：4,609人、展示室1日当たり105人》

開催趣旨 大阪府下の最新発掘調査速報を府民に知ってもらう機会とし、大阪の魅力を発信する。府内市町村との協力・連携をはかった。

開催期間 平成23年1月22日(土)～3月13日(日)《開館日数44日》

印刷物 特別展図録の作成・出版(広報1,200冊・販売1,400冊)、ポスター・ちらし・招待券の作成

学芸員による展示解説

1月29日(土)、2月11日(金・祝)、19日(土)、3月5日(土)

《参加者合計：39人》

音声ガイドによる展示解説

広報 河南町・河南町教育委員会、太子町・太子町教育委員会、大阪歴史博物館から後援名義をとり、広報に努めた。また、近畿日本鉄道の各駅へポスターを掲示した。

### 3 講演会事業

#### (1) 春季特別展関連

5月16日(日)「継体大王とまつりの世界」

水野正好(財団法人大阪府文化財センター 理事長)

《参加者：237人》

5月23日(日)「古代史からみた継体大王の出現」

大橋信弥(滋賀県立安土城考古博物館)

《参加者：275人》

5月30日(日)「考古学からみた継体朝の成立」

白石太一郎(大阪府立近つ飛鳥博物館 館長)

《参加者：298人》

6月20日(日)「考古学から見た継体政権と国際背景」

福永伸哉(大阪大学教授)

《参加者：279人》

6月13日(日)シンポジウム「継体大王の時代—新時代の幕開け—」

「歴史学からみた継体大王」

塚口義信(堺女子短期大学名誉学長)

「継体大王と近江・コシ(越)」

中司照世(元福井県教育庁埋蔵文化財調査センター所長)

「継体大王と東海」

赤塚次郎(愛知県埋蔵文化財センター)

「継体大王と摂津三島、今城塚古墳」

森田克行(高槻市教育委員会)

討論【進行／白石太一郎(大阪府立近つ飛鳥博物館 館長)】

《参加者：480人》

#### (2) 夏季企画展関連

8月8日(日)「東アジアの中の日本の古墳」

白石太一郎(大阪府立近つ飛鳥博物館 館長)

《参加者：135人》

#### (3) 秋季特別展関連

10月10日(日)「弥生時代の鉄器をめぐる諸問題」

藤尾慎一郎(国立歴史民俗博物館教授)

《参加者：180人》

10月17日(日)「ヤマト王権の塩鉄論」

水野正好(奈良大学名誉教授)

《参加者：165人》

10月24日(日)「鉄器生産と王権」

- 村上恭通（愛媛大学東アジア古代鉄文化研究センター長） 《参加者：175人》
- 11月14日（日）「倭国連合の形成と鉄」  
白石太一郎（大阪府立近つ飛鳥博物館 館長） 《参加者：184人》
- 11月23日（火・祝）ミニシンポジウム「鉄とヤマト王権」  
【基調講演1】「鉄の流通と国家形成」豊島直博（文化庁文化財調査官）  
【基調講演2】「鉄鋌（ねりがね）卅枚と谷那鉄山」東 潮（徳島大学教授）  
【討論】進行／白石太一郎（大阪府立近つ飛鳥博物館 館長） 《参加者：299人》
- 11月3日（水・祝）調査成果報告会「鉄をおさめる古墳・鉄器をつくる遺跡」  
「古市古墳群における鉄器多量埋納の謎」  
天野末喜（藤井寺市教育委員会）  
「恵解山古墳の調査」  
中島皆夫（（財）長岡京市埋蔵文化財センター）  
「森遺跡の調査」  
真鍋成史（交野市教育委員会）  
《参加者：134人》

#### （4）冬季特別展関連

- 2月20日（日）「大阪の古代史—今、活気づく—」  
水野正好（財団法人大阪府文化財センター 理事長） 《参加者：128人》
- 3月6日（日）「羽曳野市峯ヶ塚古墳の再検討」  
白石太一郎（当館館長） 《参加者：149人》
- 2月6日（日）おおさかを掘る—最新発掘調査の成果—（調査成果報告会）  
—大阪府・大阪市連携—  
「東大阪市・八尾市池島・福万寺遺跡」  
三宮昌弘（財団法人大阪府文化財センター）  
「四條畷市部屋北遺跡」  
岡田 賢（大阪府教育委員会）  
「大阪市上町谷窯跡」  
市川 創（財団法人大阪市博物館協会大阪文化財研究所）  
「岸和田市衣ヶ谷古墳」  
橋本高明（大阪府教育委員会）  
「大阪市難波宮跡」  
大庭重信（財団法人大阪市博物館協会大阪文化財研究所）  
《参加者：101人》
- 2月26日（土）  
「河内長野市三日市北遺跡—南河内で初出土の縄文晩期の土偶—」  
小林和美（河内長野市教育委員会）  
「茨木市太田遺跡—太田茶白山古墳南側に広がる古墳群の発見—」

- 黒須靖之（茨木市教育委員会）  
「羽曳野市城不動坂古墳—古市古墳群最後の前方後円墳—」  
井原稔（羽曳野市教育委員会）  
「八尾市高安古墳群と郡川東塚古墳」  
藤井淳弘（八尾市教育委員会）

《参加者：82人》

3月13日（日）

- 「松原市河合遺跡—地方官衙の発見—」  
芝田和也（松原市教育委員会）  
「枚方市九頭神遺跡—九頭神廃寺の付属院地、倉垣院・政所院の発見—」  
西田敏秀（財団法人枚方市文化財研究調査会）  
「柏原市河内国分寺跡・鳥坂寺跡の調査成果」  
山根 航（柏原市教育委員会）  
「島本町広瀬遺跡—後鳥羽上皇「水無瀬離宮跡」か—」  
久保直子（島本町教育委員会）

《参加者：65人》

#### （5）近つ飛鳥入門講座・土曜講座（オーサカ発 調査研究最前線）

生涯学習の一環として、博物館周辺の歴史を学ぶ基礎となる講座「近つ飛鳥入門講座」を毎月第3木曜日に実施した。また、最新の発掘調査や研究を知る機会として土曜講座を毎月第4土曜日に開催し、合わせてスポット展示を実施した。大阪府教育委員会、当法人調査部門、弥生文化博物館と連携した事業。

##### a 近つ飛鳥入門講座

- |      |        |                     |                   |
|------|--------|---------------------|-------------------|
| 第33回 | 4月15日  | 「葉室古墳群をさぐる」         | 小栗 梓              |
| 第34回 | 5月20日  | 「一須賀古墳群の終焉を探る」      | 森本 徹              |
| 第35回 | 6月17日  | 「鏡のみかた（二）」          | 廣瀬時習              |
| 第36回 | 7月15日  | 「改葬を考える」            | 小栗 梓              |
| 第37回 | 8月19日  | 「瓦をさぐる—古代・中世・近世—」   | 市本芳三              |
| 第38回 | 9月16日  | 「鉄製品のつくり方」          | 廣瀬時習              |
| 第39回 | 10月21日 | 「鉄製武具のみかた」          | 飯田浩光              |
| 第40回 | 11月18日 | 「体験・瓦の拓本」           | 市本芳三              |
| 第41回 | 12月16日 | 「他地域からやってきた土器—弥生編—」 | 中川二美(大阪府立弥生文化博物館) |
| 第42回 | 1月20日  | 「古墳時代の塩づくり」         | 森本 徹              |
| 第43回 | 2月17日  | 「弥生土器のみかた—時間のものさし—」 | 正岡大実(大阪府立弥生文化博物館) |
| 第44回 | 3月17日  | 「一須賀古墳群の武器」         | 飯田浩光              |

《参加者合計：268人、平均22人》

##### b 土曜講座 オーサカ発 調査研究最前線

- 第24回 4月24日 「文字瓦が語ること—和泉市和泉寺跡の調査成果—」

第 25 回	5 月 22 日	「装身具の変革」	土屋みづほ（大阪府教育委員会） 廣瀬時習
第 26 回	6 月 26 日	「最新研究からみた継体大王の時代」	高松雅文（三重県教育委員会）
第 27 回	7 月 24 日	「松原市大和川今池遺跡東部の調査—一家形埴輪を伴う方墳—」	市村慎太郎（財団法人大阪府文化財センター）
第 28 回	8 月 28 日	「岩屋山式横穴式石室について」	小栗 梓
第 29 回	9 月 25 日	「古墳時代の木材事情」	松岡良憲（大阪府教育委員会）
第 30 回	10 月 23 日	「副葬品にみる古墳時代の鉄」	森本 徹
第 31 回	11 月 27 日	「古墳時代和泉地域の製塩遺跡の動向」	三宮昌弘（財団法人大阪府文化財センター）
第 32 回	12 月 18 日	「枚方市津田遺跡の調査—古代の埴仏・平安時代の墓—」	三好孝一（財団法人大阪府文化財センター）
第 33 回	1 月 22 日	「近畿地方の横穴墓」	飯田浩光
第 34 回	2 月 26 日	「冬季企画展にかかわる調査成果報告会」（内容は別掲）	
第 35 回	3 月 26 日	「吹田市吹田操車場遺跡の調査—官道沿いの古代集落—」	岡本圭司（財団法人大阪府文化財センター）

《参加者合計：374 人、平均 31 人》

## 4 「府民が参加する博物館」事業

### （1）古墳時代まつり「春の風土記の丘であそぼう」

5 月 5 日（水・祝）

博物館周辺にひろがる豊かな自然を持つ風土記の丘を積極的に活用する事業として、ウォークラリーをはじめ、古代衣装着用体験・勾玉づくり・森の工作などを開催した。

《参加者合計：512 人》

### （2）古墳の森コンサート

4 月 29 日（木・祝）

博物館屋上階段広場を利用して、音楽会を開催した。地元高校生の軽音楽部の発表の場、他学校との交流の場とし、博物館・風土記の丘への親しみを育んでいく。

藤井寺高校、長野高校、金剛高校、上宮太子高校、阪南大学

《参加者合計：331 人》

### （3）こども博物館バックヤード探検ツアー

7 月 31 日（土）、8 月 28 日（土）、3 月 20 日（日）

小中学生およびその保護者を対象に、博物館により親しみが持てるよう、博物館の仕組みの説明や、普段公開しない収蔵庫などの博物館のバックヤードを観察する見学会を実施した。

《参加者合計：62 人》

### （4）こども古墳探検ツアー 12 月 4 日（土）

中学生以下の子どもとその保護者を対象にして、近つ飛鳥風土記の丘の古墳群を見学する探検ツアーを実施した。

《参加者合計：4 人》

## (5) 近つ飛鳥ギャラリー

府民の文化活動を支援するとともに近つ飛鳥博物館の広報・PRに資するため、その成果を発表、展示する場（地階ロビー、1階ロビー）を提供し、絵画、写真等の展示を行った。

4月16日～4月25日	ヒカリのカタチ	《入館者数 1,985人》
4月28日～5月16日	第2回ふるさと俳画展	《入館者数 7,176人》
5月18日～6月27日	古市古墳群の四季	《入館者数 12,967人》
8月7日～8月29日	とべとベルカ いのまなりものがたり かみしばい原画展	《入館者数 4,122人》
10月1日～10月31日	知識寺復元	《入館者数 5,197人》
11月3日～11月14日	二十歳展	《入館者数 2,413人》
11月16日～11月21日	MOA美術館 南河内児童作品展	《入館者数 2,356人》
11月23日～12月19日	一須賀古墳群の測量調査—大阪大学考古学研究会によるC支群研究—	《入館者数 5,694人》
1月15日～1月30日	太子町 竹内街道絵画展	《入館者数 5,694人》
2月9日～2月20日	生命の大地 アフリカ 三田崇博 世界遺産写真展	《入館者数 2,115人》
2月25日～3月8日	かなん写真クラブ 写真展	《入館者数 3,921人》
3月15日～4月15日	「人」服飾作家共同作品展	《入館者数 6,623人 3月末時点》

## (6) ボランティア活動・観光ボランティア等への支援

継続してボランティアを募集した。講演会・ワークショップ・体験学習などの事業への支援などの活動を行った。

また、地元各市町の観光ボランティア「みなみかわちガイドネットワーク」の活動と連携し、活動を支援すると共に当館への来館をPRする広報員になってもらった。

5月15日	太子町立竹内街道歴史資料館ボランティア総会支援	48人
6月11日	高槻市文化財スタッフの会 特別展研修	48人
6月12日	広島県三原市文化財協会 研修	33人
6月18日	兵庫県立歴史博物館友の会 研修	40人
7月18日	みなみかわちガイドネットワーク講演会	60人
12月1日	大山崎ふるさとガイドの会 研修	54人
12月7日	桜井市観光ボランティアガイドの会 研修	30人

## 5 「市町村と連携する博物館」事業

### (1) 連携展示事業

特別展企画展等の実施に際して、地元市町村を中心に大阪府内市町村教育委員会の共催、後援、協力を得て、連携を通して効率的かつ効果的な展示事業を実施した。

## (2) スポット展示

大阪府下における発掘調査最新成果の展示公開を大阪府内市町村教育委員会、大阪府教育委員会、当センターの協力を得て適時実施。また、毎月実施する土曜講座に際して、その成果発表を行った。

3月20日～4月9日 《入場者数:2,000人》

大阪府教育委員会「王権と馬飼い 蔀屋北遺跡の発掘調査成果」

9月18日～10月11日 《入場者数:2,362人》

大阪府教育委員会「古墳時代の木材事情―八尾市久宝寺遺跡出土の木製遺物―」

11月20日～12月5日 《入場者数:3,258人》

当センター「泉佐野市 湊遺跡の製塩土器」

12月11日～12月26日 《入場者数:500人》

当センター「枚方市津田遺跡から出土した埴仏と鋳型」

## (3) 広報の強化

近隣市町の協力を得て、広報誌やホームページに当館の案内やコラム等を掲載し、効率的かつ効果的な広報を行った。

特別展企画展等の実施には共催、後援を依頼し、広報の協力を得た。

### a 広報誌掲載

「太子町」、「広報富田林」、「広報かなん」《回数4回》

### b 主催依頼

春季特別展：高槻市教育委員会、産経新聞社《列品紹介他5回》

秋季特別展：文化庁、読売新聞社《列品紹介他5回》

### c 後援・特別協力依頼

春季特別展：愛知県教育委員会、福井県教育委員会、滋賀県教育委員会、春日井市教育委員会、高島市教育委員会、野洲市教育委員会、太子町・太子町教育委員会、河南町・河南町教育委員会、近畿日本鉄道株式会社、(特別協力) 滋賀県立安土城考古博物館

夏季企画展：堺市、羽曳野市教育委員会、藤井寺市教育委員会、河南町・河南町教育委員会、太子町・太子町教育委員会、近畿日本鉄道株式会社

秋季特別展：堺市、羽曳野市・羽曳野市教育委員会、藤井寺市・藤井寺市教育委員会、河南町・河南町教育委員会、太子町・太子町教育委員会、近畿日本鉄道株式会社、(特別協力) 愛媛大学東アジア古代鉄文化研究センター

冬季特別展：河南町・河南町教育委員会、太子町・太子町教育委員会、大阪歴史博物館、近畿日本鉄道株式会社

### d 有料広告

春季特別展：JR 駅構内液晶掲示板、産経新聞 兵庫県版

夏季企画展：朝日小学生新聞

秋季特別展：大阪市営交通沿線情報誌「E & E」

冬季特別展：大阪市営交通沿線情報誌「E & E」

#### (4) 史跡と一体となった事業の拡充

風土記の丘を多くの人に知っていただき、訪れていただくため、「桜まつり」を実施した。

3月26・27日(日)

《風土記の丘利用者数：1,294人、博物館入館者数：4,185人》

みなみかわち物産展、勾玉づくり工房、古代衣裳体験、博物館探検ツアー、古市古墳群ジオラマ模型・百舌鳥・古市古墳群の写真展

講演会「葛城の二つの大王墓—顕宗陵と武烈陵の問題—」

白石太一郎(当館館長)

《参加者113人》

## 6 「博物館 in school」事業—博学連携事業

### (1) 出前授業

幼稚園、小学校、中学校、高校、大学に学芸員が出向き、体験学習や講座を通じて、古墳・飛鳥文化の理解に努めた。

《実施授業数：41回、対応生徒数：1,038人》

4月13日	泉大津市立戎小学校	3回	100人
5月25日	大阪市立成育小学校	3回	120人
5月28日	大阪市立榎本小学校	3回	119人
6月1日	大阪市立太子橋小学校	2回	67人
6月2日	枚方市立招堤小学校	3回	95人
6月9日	富田林市立伏山台小学校	2回	45人
6月10日	堺市立八田荘西小学校	2回	53人
7月9日	羽曳野支援学校	1回	10人
9月29日	初芝立命館高等学校	1回	15人
10月23日	島本町教育委員会	1回	63人
11月6日	懐風館高校	1回	15人
11月13日	河内長野市立川上小学校	1回	60人
12月2日	岸和田高校	1回	40人
2月20日	島本町教育委員会	1回	60人
9月～2月	華頂短期大学 講座「考古学」	16回	176人

### (2) 校外学習の案内受入れ

小・中学校および高校の校外学習での利用を促すため、アウトリーチ活動や出前授業の機会を設けた。

《来館校数：38校、生徒数：2,583人》

### (3) 学校団体利用案内の作成

学校団体が来館する際の利用手引を作成し、利用を促した。



#### (4) 学習用ワークシートの作成

博物館での児童生徒の学習意欲を促し、展示に対する興味を喚起するためにワークシートを作成した。

#### (5) 大学生博物館学実習および芸術大学実習

主として近畿圏内の各大学から学芸員課程の履修学生を受け入れ、博物館学実習を行った。また、芸術大学の写真学科、映像学科、放送学科等の実習の場として博物館、風土記の丘を活用してもらった。

##### a 博物館実習

5月30日	奈良大学	博物館実習現地見学	38人
6月5日	奈良大学	学芸員資格課程 講義	130人
7月30日	奈良大学	通信教育部 博物館実習	40人
8月25～29日	博物館実習	京都府立大学、帝塚山学院大学、奈良女子大学、阪南大学、 大阪大学、京都橘大学	15人

##### b 実習・研修

《受入件数：5件、学生数：166人》

4月21日	大阪芸術大学	環境学科	20人
6月5日	大阪大谷大学	文化財学科 研修	50人
7月21日	大阪産業大学	人間環境学部	20人
11月18日	大阪芸術大学	工芸学科 陶芸研究室	25人
11月18日	大阪芸術大学	写真学科 大型カメラ撮影実習	51人

#### (6) 高校生のインターンシップ

高校生を受け入れて、博物館事業運営の体験学習を実施し、職業選択の参考とする体験の支援をした。

12月9日	大手前高校	集中セミナー 進路選択学習	9人
-------	-------	---------------	----

#### (7) 中学生の職場体験学習

将来希望する職業を実際に体験し、働くことを学び、将来の職業選択の参考とする体験学習を支援した。

10月29日	河南町立中学校	5人
11月10～12日	太子町立中学校	4人
11月18・19日	富田林市立第三中学校	1人
2月3・4日	河内長野市立千代田中学校	6人

#### (8) 教員の研修、研究団体の受け入れ

教員や研究団体等の研修を博物館で行うように誘致し、連携を深めた。

5月11日	石川県立歴史博物館	リニューアル計画に基づく研修	3人
10月9日	安藤基金 / 大阪府海外短期建築・芸術研修生		10人

10月13日	大阪府立母子保健総合医療センター JICA 研修	8人
10月16日	大阪府立春日丘高校 PTA 研修	47人
10月30日	南河内ブロック青少年指導員連絡協議会 委員会・研修	19人
11月3日	東大阪市建設局 土木部みどり	60人
11月9日	大阪府都市整備局 研修	25人
11月18日	大阪府 府政情報室 研修	4人
11月30日	大阪府議会文化振興懇話会視察研修	23人
12月1・2日	豊中市立蛸池公民館 市民研修	40人
12月2日	ソウル市協力局学校支援課 視察	1人
12月16日	上海市交流員視察	1人
12月14日	南河内地区中学校校長会	39人
2月9日	太子町・河南町・千早赤坂町 東部地区社会科教員研修会	9人

## 7 「どこでも博物館」事業

### (1) 河内飛鳥れきしウォーク

各市町と連携して学芸員が実地での遺跡見学会を実施し、大阪の歴史を学び、来館の機会を促す。

5月29日	春季特別展関連「今城塚古墳とその周辺をたずねて」	79人
8月14日	夏季企画展「黒姫山古墳と堺市立みはら歴史博物館」	35人
10月30日	秋季特別展バスツアー 「山辺の道の古墳と天理参考館を訪ねて」	35人
11月20日	秋季特別展バスツアー 「但馬の巨大古墳と兵庫県立考古博物館を訪ねて」	45人
3月5日	太子町共同企画 磯長谷古墳群を歩く&講演会 平林章仁「磯長谷の王陵と蘇我氏」	100人

### (2) 出張講座

公民館・図書館等へ学芸員が出向き、講演や体験学習を実施し、古墳・飛鳥文化の理解に努め、成人の生涯学習を支援する。また、来館の機会を促す。

5月15日	大阪の古代と未来を語る 安藤忠雄「場所の力と考える力」 白石館長「日本古代の文明開化は大阪から」	501人
6月10日	大阪府立博物館 でかける博物館講座「大阪の古代を語る」 森本 徹「摂河泉の群集墳」	82人
6月22日	四條畷市立公民館 歴史講座 廣瀬時習「河内・大和の四世紀と政権交替」	30人
7月24日	柏原市立歴史資料館 夏季企画展 森本 徹「群集墳から火葬墓へ」	52人

7月29日	大阪金剛ロータリークラブ例会	23人
8月5日	けあばる富田林 歴史講座 市本芳三	38人
8月12日	大阪府立博物館 でかける博物館講座「大阪の古代を語る」 廣瀬時習「副葬品からみた古墳の被葬者像」	123人
9月9日	大阪府立博物館 でかける博物館講「座大阪の古代を語る」 白石太郎館長「応神陵古墳・仁徳天皇陵古墳の被葬者を考える」	272人
9月21日	エルおおさか エルカレッジ歴史講座 市本芳三	70人
9月25日	大阪商業大学 河内考古学の最前線 廣瀬時習	80人
11月1日	高槻市生涯学習センター けやきの森市民大学 廣瀬時習	160人
11月6日	よみうり文化センター（伊丹教室） 森本 徹	20人
11月9日	四條畷市立公民館 歴史講座 森本 徹	23人
11月11日	大阪府立博物館 でかける博物館講座「大阪の古代を語る」 市本芳三 「摂河泉古代寺院の盛行」	90人
11月13日	平成22年度 太子町立竹内街道歴史資料館 歴史講座 飯田浩光	45人
1月13日	大阪府立博物館 でかける博物館講座「大阪の古代を語る」 小栗 梓 「巫女形埴輪の登場—大阪の古墳出土資料から—」	113人
1月14日	堺女性大学 小栗 梓	12人
1月28日	堺女性大学 小栗 梓	16人
1月29日	東大阪市立埋蔵文化財センター 歴史講演会 森本 徹	88人
1月30日	金剛葛城地域博物館ネットワークシンポジウム 「飯豊天皇を考える」小栗 梓	213人
2月25日	堺女性大学 小栗 梓	16人
2月26日	枚方歴史を楽しむ会 2月学習会 森本 徹	26人
3月11日	堺女性大学 小栗 梓	16人

《23件 2,109人》

### (3) 出張展示

近隣府県を含む博物館・資料館などに館蔵品を中心とした出張展示を行った。

4月17日	現地説明会への出張展示	205人
4月24日～5月9日	大阪府立狭山池博物館への出張展示	9,252人
7月23・24日	現地説明会への出張展示	80人
8月17日	阪急百貨店西宮 子ども服売り場「親子おたのしみ体験会」 「親子おたのしみ勾玉づくり教室」	37人
9月8～11日	平城遷都1300年祭全国ゆかりの地とのネットワーク事業	189人
10月10日	大宝まつり（地元自治会）	293人
11月6日	兵庫県立考古博物館 古代体験秋まつり	50人
11月6日	現地説明会への出張展示	307人
11月7日	河南町「かなんフェスティバル」	110人

11月13日	芹生谷遺跡の発掘調査	60人
11月20日	日本民家集落博物館まつり	1,463人
11月22日	富田林市民ふれあいまつり	951人
3月24・29日	弥生フェスティバル	139人

## 8 「体験する博物館」事業

### (1) 校外学習ワークショップ

小・中学校および高校生の校外学習に合わせて、ペーパークラフトなど工作教室的な体験学習および当館展示品の修羅（古墳時代の運搬具）の復原模造品を使った体験学習、風土記の丘のウォークラリー（古墳めぐり）を実施した。古墳文化に親しみをもってもらい、また、展示物の理解を助けた。

### (2) 修羅ひき体験

博物館に展示している古墳時代の運搬具、国重要文化財「修羅」の復原品を実際にひき、古代の運搬を体験した。校外学習以外においても実施し、古墳築造にかかる古代人の力を想像させ、風土記の丘の活用とした。

5月5日（水・祝）

《参加者：85人》

### (3) 子ども工作教室

小中学生を中心として、その保護者と共に、風土記の丘でひろった木ぎれの材料を利用したり、ペーパークラフトによる博物館の展示品などの模型を作る工作室を開催した。

8月29日

《参加者：91人》

### (4) こども玉づくり工房

小中学生とその保護者を対象にして、勾玉づくりを行う。

7月24日、8月7・21日、9月4日

《参加者合計：417人》

### (5) 古代衣裳体験

文化庁の支援事業により作製した古代衣裳を活用して体験を実施した。

10月16・31日、11月7日、12月4・18日、1月15日、2月19日、3月19日

《参加者合計：165人》

### (6) 親子発掘現場体験

弥生文化博物館と共同で発掘調査中の現場見学・発掘体験などを当センター埋蔵文化財発掘調査部門と協力して行った。

12月4日 池島・福万寺遺跡

《参加者：11人》

## 9 各種連携事業

## (1) 学校との連携事業

冬季特別展「歴史発掘おおさか」のポスター・チラシデザインを大阪芸術大学デザイン学科の教授の指導のもと、学生に依頼した。

## (2) 公共機関との連携事業

### a こどもファーストデイ

大阪府の「こころの再生」施策の一環として毎月第3土曜日に実施した。家族のコミュニケーションを深めるきっかけづくりを応援する。展示品に関わるものを作ったり、風土記の丘の木の実や枝等を利用した工作を実施した。

毎月1回 全12回

《参加者合計：459人》

### b 太子町連携 かわち飛鳥歴史ウォーク&講演会

3月5日

《参加者：100人》

### c 河南町・太子町連携 桜まつり

3月26・27日

《風土記の丘利用者数：1,294人、博物館入館者数：4,185人》

### d 府内市町との連携 冬季特別展「おおさかを掘る」

資料借用、図録原稿、調査成果報告会での講演等の協力を得た。

### e 羽曳野市教育委員会による現地説明会と当館講演会にあわせてスポット展示

3月6日 峯ヶ塚古墳出土資料の展示

《参加者：149人》

### f 寝屋川市教育委員会：復原修景した太秦高塚古墳へ設置する埴輪作製の協力

## (3) その他

### a 安藤建築事務所と読売新聞社との連携

5月15日(土) 安藤忠雄、白石太一郎 講演と対談「大阪の古代と未来を語る」

《参加者：501人》

### b 近つ飛鳥を梅いっぱい

2月27日(日) 安藤忠雄講演会

《参加者：411人》

## 10 広報普及研究事業

### (1) 機関紙「アスカディア・古墳の森」(博物館だより)の発行

展示会の案内、博物館活動の報告、タイムリーな話題や収蔵品の紹介を掲載して、博物館と府民のコミュニケーションを図るPR誌を年2回発行した。

33号 平成22年9月30日 発行

34号 平成23年3月31日 発行

### (2) 近つ飛鳥博物館「館報」の刊行

博物館事業についての提言や館のテーマに沿った研究報告、年間事業記録などを掲載する館報を刊行した。

「館報 14」平成 23 年 3 月 31 日発行

### (3) 催し物案内の作成

府民や各種団体に博物館行事の周知を図り、来館を促すためのチラシを作成した。3 か月単位のミュージアムカレンダーの作成・配布した。

### (4) マスコミ・ミニコミ紙等への情報提供等

新聞、テレビ、ラジオの報道機関、ミニコミ誌、インターネットを通じて、積極的な情報提供をした。鉄道会社にはポスター掲示をし、広く PR した。また、博物館周辺の地域住民へは自治会を通じて実施した。

《各団体への博物館利用 PR の活動 175 回》

《報道提供 37 回》

《新聞雑誌等広報記事掲載 264 回》

### (5) 出版事業

展示資料の解説や展示内容の理解を深めるため、特別展図録等を発行・配布した。

春季特別展図録（広報 1,200 冊・販売 1,400 冊）

秋季特別展図録（広報 1,200 冊・販売 1,600 冊）

冬季特別展図録（広報 1,200 冊・販売 1,400 冊）

館報 14（広報 1,000 冊・販売 200 冊）

### (6) インターネットホームページ

常設展・特別展・企画展の情報・博物館催し物案内の他、学芸員の活動等を、近つ飛鳥博物館ホームページから発信した。

《ホームページアクセス数：105,572 件、ブログ更新回数：75 回》

### (7) 所蔵資料の活用

当館所蔵の展示資料・写真資料を他館等への出陳や印刷物への写真資料掲載のため、貸し出した。

博物館等の公共機関への展示資料の貸出 7 件

博物館等の公共機関への写真資料の貸出 22 件

出版社等への写真資料の貸出 29 件

### (8) 研究事業

国内・海外の研究者との学術交流を行った。

《国内：群馬県埋蔵文化財調査事業団、九州国立博物館他 21 人》

《海外：韓国国立中央博物館・国立公州博物館、中国陝西省考古研究院他 51 人》

## 1 1 資料調査収集製作事業

### (1) 図書購入

学術図書並びに普及啓発用図書を購入した。

### (2) 資料の整理・修理・保存処理

- ・国重要文化財「修羅」の保存処理後の定期点検を実施した。
- ・紫金山古墳、南塚古墳出土資料の保全状況の点検を実施した。

## 1 2 サービス事業

### (1) 特別開館日の設定

来館者の多い、春のゴールデンウィーク中日に当たる休館日（5月6日）と8月の盆休暇中の月曜日（8月16日）を臨時開館して利用者への便宜を図った。

### (2) マーケットリサーチの実施

アンケートなどを行い、来館者の博物館に対するニーズを明確にし、今後の事業展開の基礎とした。

### (3) ミュージアムスタッフの人材育成研修

館蔵品や特別展企画展などの展示品の情報をミュージアムスタッフに伝え、来館者からの質問に対応した。

### (4) 設備の更新等

来館者の便宜或いは省資源化を目的とし、設備の設置ないし、更新を実施した。

- ・スポット照明の変更：中地階の埴輪照明をLED電球に変更し、展示品を鮮明に見せると共に省電力化に努めた。
- ・0-5号墳の復原展示の壁面を低くし、来館者への閉塞感をなくした。

### (5) ホームページの一部リニューアル

## 1 3 自主事業

### (1) ミュージアムショップの整備

- ・複製和銅開珎アクセサリ、ストラップを作成し、販売を開始した。
- ・オリジナルグッズ「日本てぬぐい」を作成し、販売を開始した。

区分	入館者数					入館料 (税込)	開館日数 (日間)
	展示室入館者数			普及ゾーン 利用者数	博物館 総入館者数		
	有料	無料	計				
常設展 (割合 %)	4,350	1,953	6,303	22,331	28,634	997,300	104
	21.5	13.1	17.9	32.6	27.6	13.9	
春季特別展 (4・24～6・27) 継体大王の時代 (割合 %)	6,132	4,722	10,854	14,588	25,442	2,525,580	57
	30.3	31.7	30.9	21.3	24.6	35.2	
夏季企画展 (7・17～9・5) 古墳ってなあに？ (割合 %)	2,577	1,701	4,278	8,547	12,825	848,500	45
	12.7	11.4	12.2	12.5	12.4	11.8	
秋季特別展 (10・2～12・5) 鉄とヤマト王権 (割合 %)	4,812	4,314	9,126	12,362	21,488	1,869,080	56
	23.7	28.9	25.9	18.1	20.7	26.1	
冬季特別展 (1・22～3・13) 歴史発掘おおさか (割合 %)	2,391	2,218	4,609	10,604	15,213	931,940	44
	11.8	14.9	13.1	15.5	14.7	13.0	
合計 (割合 %)	20,262	14,908	35,170	68,432	103,602	7,172,400	306
	100	100	100	100	100	100	
平成21年度実績	24,375   18,131		42,506	65,979	108,485	8,177,020	307
平成20年度実績	20,272   15,711		35,983	64,621	100,604	6,689,600	306
平成19年度実績	18,699   18,161		36,860	62,310	99,170	7,102,660	306



## 14 平成22年度入館者数及び入館料一覧（近つ飛鳥博物館）

（平成23年3月31日現在）

# VI 日本民家集落博物館事業

## 1 展示事業

### (1) 常設展示

#### a 第一ブロック：国指定文化財を中心とするエリア

国指定重要文化財 = 摂津能勢の民家、信濃秋山の民家、日向椎葉の民家

国指定重要有形民俗文化財 = 飛騨白川の民家

大阪府指定有形文化財 = 奄美大島の高倉

未指定 = 河内布施の長屋門、堂島の米蔵

その他 = 戦国期の五輪塔、地蔵を展示公開している。

また、展示室「カルチュアはっとり」を設置している。

#### b 第二ブロック：大阪府指定文化財を中心とするエリア

大阪府指定有形文化財 = 大和十津川の民家、越前敦賀の民家、南部の曲家

大阪府指定民俗文化財 = 小豆島の農村歌舞伎舞台

未指定 = 北河内の茶室、剗舟（奄美のサバニ・島根のソリコ）を展示公開している。

### (2) カルチュアはっとり展示

#### a 市民展示「呑彩会展」

開催概要 地域の文化サークルや個人の文化活動の発表の場として、展示室「カルチュアはっとり」をギャラリーとして活用。豊中市内在住の絵画サークル「呑彩会」による、市内の風景画を中心とした水彩画作品を展示した。

開催期間 平成22年4月1日（木）～5月30日（日）

#### b 市民展示「切り絵展」

開催概要 豊中市在住の切り絵作家、阪上隆氏による、古典に題材をとった切り絵作品を展示した。

開催期間 平成22年6月5日（土）～8月29日（日）

#### c 市民展示「能面の世界－3」

開催概要 一昨年・昨年に引き続き、豊中市内に工房を持つ遊創工房会員の能面作品を展示。併せて、製作実演を行った。

開催期間 平成22年9月4日（土）～10月17日（日）

#### d 企画展示「岩手県・南部地方の民家と暮らし」

開催概要 当館に移築された、「南部の曲家」の故郷・岩手県紫波郡矢巾町及び遠野市近辺の民家と暮らし、風土や民俗行事を紹介し、当館所蔵の民具資料とともに展示した。

開催期間 平成22年11月6日(土)～12月26日(金)

e 特別展示「昔の暮らし」

開催概要 当館所蔵の民具や、一般から寄贈された、古くから残る道具を展示。それらを使用していた頃の暮らしや時代の変化、先人の工夫などを考察する機会とした。

開催期間 平成23年1月14日(金)～2月27日(日)

f 特別展示「古民家再生」

開催概要 近畿地方の古民家の保守・再生事例を紹介し、古民家の現状への理解を深める機会とした。日本民家再生協会近畿支部による民家再生の事例を、パネル展示により紹介した。

開催期間 平成22年10月29日(金)～10月31日(日)

g 親子書道教室作品展

開催概要 「みんな伝統文化体験教室 親子書道教室」の成果発表の場として、参加者の作品を展示した。

開催期間 平成23年3月16日(水)～21日(月・祝)

## 2 各種催し開催事業

“親しまれる博物館”のための企画として、次の事業を実施した。

### (1) 季節行事

日本に伝わる四季折々の行事に親しんでもらうため、民家を活用して下記の催しを行った。

### (2) 参加体験型事業

来館者自らが体験できる催しを、民家等を会場に下記の通り実施した。

### (3) 展示民家を活用しての催し

a 水彩画展「ネパールへの想い」

内 容 当館ボランティアの西野誠一氏によるネパール旅行記。

期 間 平成22年4月1日(木)～5月30日(日)

場 所 堂島の米蔵

b 料理体験教室

内 容 中国料理研究家の程一彦氏の指導による料理教室。

実施日 平成22年4月4日(日)

場 所 日向椎葉の民家

参加者 約100名

c フォークコンサート

内 容 市民グループによるフォークバンドコンサート。

実施日 平成22年4月11日(日)

場 所 飛騨白川の民家

d みんなで歌おう

内 容 市民グループによる歌声コンサート。

実施日 平成22年5月3日(月・祝)、11月7日(日)

場 所 大和十津川の民家及び日向椎葉の民家

e みんな怪談話

内 容 当館ボランティア・朗読グループによる朗読で語る怪談話。

実施日 平成22年7月24日(土)・31日(土)

場 所 日向椎葉の民家

f むかし話を聞きましょう

内 容 主に小学生を対象とした、豊中子ども文庫、豊中紙芝居の会の協力による昔話と紙芝居に親しむ催し。

実施日 平成22年6月13日(日)、10月24日(日)、11月20日(土)

平成23年3月6日(日)

場 所 大和十津川の民家及び飛騨白川の民家

g 写真展

内 容 豊中在住写真サークル「FEBの会」による風景写真展。

期 間 平成22年9月4日(土)～10月31日(日)

場 所 日向椎葉の民家

h 陶芸展

内 容 陶芸サークル「クリエーションクラブ」の陶芸作品展。

期 間 平成22年10月2日(土)～10月31日(日)

場 所 南部の曲家

i 落語会

内 容 大阪府老人大学上方演芸科卒業生「百楽の会」による落語会。

実施日 平成22年10月31日(日)

場 所 大和十津川の民家

j 秋の文化芸術祭

内 容 北摂地区で活動中の芸術グループによる、民家を会場とした、洋画・日本画・書・写真・陶芸・彫刻の作品展。

期 間 平成22年11月6日(土)～11月14日(日)

場 所 各民家

k 水墨画展

内 容 阿倍野と堺で活動する水墨画同好会「慢々会」の作品展。

期 間 平成22年11月21日(日)～12月5日(日)

場 所 日向椎葉の民家

行事名	開催期間	開催場所	備考
こいのぼりと 五月人形飾り	4月25日(日)～ 5月9日(日)	飛騨白川の 民家前庭 越前敦賀の民家	

l 朗読とチェロ演奏

内 容 岩手県大阪事務所による「宮澤賢治」の童話語りとチェロ演奏。

実 施 日 平成22年10月2日(土)

場 所 南部の曲家

m 箏の演奏会

内 容 梅の香とともに箏の調べを聴く催し。

実 施 日 平成22年3月5日(土)

場 所 大和十津川の民家

n 茶会

内 容 当館ボランティアによる茶室の公開とお茶について語らう会。

実 施 日 平成22年4月4日、24日、5月1日、22日、6月5日、26日、  
7月3日、24日、9月4日、18日、10月2日、16日、11月6日、  
11月20日、12月4日、18日、平成23年1月29日、2月26日、  
3月26日 (計 19回)

場 所 北河内の茶室

参 加 者 合計約180名

o 第10回民家集落作品展

内 容 当館を題材にした絵画や写真、俳句や短歌、造形物などの作品を一般から  
募集し展示した。併せて、優秀作品を表彰した。

期 間 平成22年3月6日(日)～21日(月・祝)

場 所 南部の曲家

作 品 数 応募22名36作品

p 春の恒例茶会

行 事 名	開催期間	開催場所	備 考
七夕かざり	体 験：7月3日(土) かざり：7月3日(土) ～7月7日(水)	大和十津川の 民家縁側	体験参加者 30名
お盆飾り	8月13日(金) ～8月15日(日)	日向椎葉の民家 信濃秋山の民家	
芋名月	9月22日(水) ～9月26日(日)	大和十津川の 民家	
正月かざり	1月5日(水) ～1月30日(日)	館内各民家	
ふるさとの お雑煮会	1月9日(日) ～1月10日(月・祝)	飛騨白川の民家	雑煮販売 221食
桃の節句・雛飾り	2月5日(土) ～3月3日(木)	越前敦賀の民家	

内 容 親子茶道教室の発表の場として、お手前披露の茶会を開催。

実施日 平成22年3月13日(日)

場 所 北河内の茶室

参 加 51名

#### (4) 特別企画事業

##### a 第3回「日本民家集落博物館まつり」

内 容 親しめる博物館としてPRするため、民家のふるさと物産展、体験コーナー、桂福團治「落語会」、府立3博物館による「出かける博物館」等を実施。府民団体などの協力を得て開催した。 《当日入館者数:1,463名》

実施日 平成22年11月20日(土)

##### b 第2回「観月会」

内 容 閉館時のたそがれ時(18時)から夜の博物館の雰囲気を楽しむ企画。手打ち蕎麦の賞味、月明かりコンサート、月のお話を実施。(参加者:147名)

実施日 平成22年9月22日(水)

場 所 日向椎葉の民家

##### c 民家ツアー『南部の曲家のふるさとを訪ねて』

内 容 当館の学芸員が同行し、岩手県花巻市・遠野市・盛岡市を中心に民家の見学ツアーを実施した。 《参加者:21名》

期 間 平成22年9月12日(日)～14日(火)

#### (5) 市民オープンイベント

地域の文化サークルや団体の企画により、民家を活用するイベントを開催し、民家を会場として提供した。《(3)参照 b・m・o・p・qを除く》

### 3 普及啓発事業

#### (1) 民家解説等の開催

##### a 民家解説

内 容 19名の解説ボランティアが、館内の各民家に常駐し、囲炉裏を焚きながらその民家について来館者に解説を行った。

期 間 通年(開館日毎日)

##### b 民家特別公開

内 容 安全面等への配慮から、通常未公開としている箇所を、ボランティアの協力を得て、特別公開した。

期 間 通年(毎週火曜日午後)

場 所 飛騨白川の民家二階、北河内の茶室

#### (2) 囲炉裏体験

内 容 42名のボランティアが、囲炉裏に火を入れ、来館者への囲炉裏体験サービスを行うとと

もに、民家の燻蒸に努めた。

期 間 通年（開館日毎日）

場 所 飛騨白川の民家、摂津能勢の民家、信濃秋山の民家、南部の曲家 他

体験教室名	開催期間	開催場所	指導者・参加者
たけのこ掘り体験	4月10日(土)・17日(土)	館内竹林	奥村直樹 約50名
こんにゃく作り	4月25日(日)	日向椎葉の 民家前	大坪 章 他 約50名
竹細工・紙工作	5月1日(土)・2日(日)	館内広場 飛騨白川の民家	江頭文雄 他 約40名
昔の遊び体験	5月1日(土)・2日(日)	館内広場	久保田 栄 他 約80名
養蚕体験	7月1日(木)～31日(土)	飛騨白川の民家	期間来館者 1377名
紙すき体験	8月21日(土)	飛騨白川の民家	紙すき工房 「どんぐり」 約20名
糸紡ぎ・ 真綿づくり	8月28日(土)・29日(日)	飛騨白川の民家	約40名
茅葺き体験	2月5日(土)	日向椎葉の 民家前	大西康之 17名
餅つき体験	2月5日(土)・6日(日)	日向椎葉の 民家前	佐藤文夫 他 約130名
コマ遊び	4月3日～7月3日 9月11日～12月4日 2月19日～3月26日 の各土曜日 33回実施	日向椎葉の 民家前	川島正雄ほか 各回15名 約500名
石臼体験	4月4日～7月4日 9月12日～12月4日 1月23日～3月27日 の各日曜日 33回実施	石臼コーナー	西野誠一 各回5-10名 約200名
わらぞうり づくり	5月30日～6月20日 10月24日～11月14日 3月6日～27日 の各日曜日 12回実施	南部の曲家	山本棲子ほか 各回5名 約60名

### (3) 古民家の保全に関する技術の伝承と公開活用に関わる事業

(文化庁地域伝統文化総合活性化事業)

内 容 摂津能勢の民家の保存修理を機に、茅葺きセミナーや茅葺き体験等を実施し、古民家建築についての知識を広く伝える機会とした。あわせて、同民家のふるさとである能勢地方に伝承されてきた民俗芸能（能勢浄瑠璃）の公演を行った。

実 施 日 ・平成22年11月6日(土) 《参加者:87名》  
茅葺きセミナー

元所有者 泉 龍三氏「昭和30年代の能勢の暮らし」

能勢町教育委員会 重金 誠氏「能勢町の歴史」

・平成23年2月5日(土) 《参加者:51名》  
茅葺き体験

「摂津能勢の民家」工事見学会、屋根葺き体験を実施

・平成23年3月26日(土) 能勢浄瑠璃公演 《当日入館者数:222名》

場 所 摂津能勢の民家、カルチャはっとり、小豆島の農村歌舞伎舞台

### (4) 連続セミナー

#### a 「大阪を知るー大阪のまつりー」

大阪の四季のまつりについて紹介する普及セミナーを開催した。

第一話 平成22年6月12日(土) 「大阪の夏まつり」

第二話 // 9月11日(土) 「大阪の秋まつり」

第三話 // 12月11日(土) 「大阪の正月行事と冬まつり」

講師:森 成元(大阪府教育委員会)

《受講者合計:23名》

### (5) 連続講座

#### a 連続講座Ⅰ

アメリカの野外博物館をテーマに開催。

第一回 「大西洋沿岸部から中部の野外博物館」

開 催 日 平成22年10月16日(土)

第二回 「南部の野外博物館」

開 催 日 平成22年11月13日(土)

第三回 「ロッキー山脈と太平洋沿岸部の野外博物館」

開 催 日 平成22年12月4日(土)

講師はいずれも 杉本尚次(国立民俗学博物館名誉教授)

《受講者合計:25名》

#### b 連続講座Ⅱ

企画展「岩手県南部地方の民家と暮らし」に関連して、南部の曲家の建築様式、岩手(旧南部藩)の

風土や民俗について考察する連続講座を開催。各分野研究の第一人者を招いて開催した。

第一回 「岩手の自然と人々」

講 師 湯本貴和（総合地球環境学研究所教授）

開 催 日 平成 22 年 11 月 20 日（土）

第二回「建築学からみる南部の曲家」

講 師 青山賢信（大阪工業大学名誉教授）

開 催 日 平成 22 年 11 月 27 日（土）

《受講者合計：36 名》

#### （6）企画展関連イベント「宮澤賢治の童話がたり」

内 容 企画展「岩手県南部地方の民家と暮らし」に関連して、星野祐美子氏（希望王国いわて文化大使）による、岩手の昔話をテーマにした宮澤賢治の童話の朗読会を開催。併せてチェロ演奏も実施。

開 催 日 平成 22 年 10 月 2 日（土）

場 所 南部の曲家

参加数 約 50 名

## 4 学校教育連携事業

### （1）大学生博物館実習

内 容 奈良大学通信教育部の博物館実習生を受け入れ、博物館学芸員の實務について指導した。

期 間 平成 22 年 7 月 30 日（金）～ 31 日（土）

受入人数 37 名

### （2）中学生の職場体験学習

内 容 近隣の中学生職場体験学習を受け入れ、地域の学校との連携を深めた。

期 間 平成 22 年 10 月 26 日（火）～ 28 日（木）

平成 22 年 11 月 2 日（火）～ 5 日（金）

受入人数 豊中市立第 14 中学校二年生 2 名

豊中市立第 17 中学校二年生 2 名

### （3）こども囲碁クラブ

内 容 小学生を対象に「大和十津川の民家」を会場として開催し、指導は関西棋院の芦田磯子棋士を中心にボランティア 14 名があたった。

期 間 平成 22 年 4 月 10 日（土）～平成 23 年 3 月 26 日（土）

第一週を除く土曜日 40 回実施

生徒数 28 名



#### (4) みんな伝統文化体験教室（文化庁地域伝統文化総合活性化事業）

内 容 近隣の小学生親子を対象に「親子茶道・書道教室」を開催。  
期 間 平成22年10月17日(日)～平成23年3月13日(日) 毎月二回 12回実施  
参加数 各教室10組20名の親子

#### (5) その他

内 容 近隣の緑地小学校の3年生を招待し、当館ボランティアが栽培したサツマ芋掘り体験と民家の学習を実施した。  
実施日 平成22年10月14日(木)  
参加数 76名

### 5 ボランティア受入活動事業

ボランティアを公募し、その援助により館の諸活動の充実を期するとともに、地域社会に生涯学習の場を提供した。

### 6 施設整備事業

#### (1) 重要文化財旧泉家住宅保存修理工事（国宝重要文化財等保存整備費補助事業）

内 容 国指定重要文化財旧泉家住宅（「摂津能勢の民家」）について、屋根の全面葺き替えを主とした保存修理を実施した。  
工 期 平成22年7月1日(木)～平成23年3月31日(木)

#### (2) 階段保全工事

内 容 第二ブロックへの入口階段の踏み込みが老朽化により一部破損したため、見学者の安全面から補修した。  
工 期 平成23年3月16日(水)～平成23年3月23日(水)

#### (3) 危険高木の伐採

内 容 民家の屋根等に悪影響を及ぼす高木の伐採・剪定を休館日に実施した。  
(白川の民家…松・杉ほか、南部の曲家…エノキほか)  
実施日 平成23年2月21日(月)・28日(月)

#### (4) 仮設観覧席の作成

内 容 「小豆島の農村歌舞伎舞台」前の老朽化した観客席を撤去し、仮設観覧席（木製ベンチ）を設置した。  
実施日 平成22年11月24日(水)～平成22年12月21日(火)  
数 量 25台

### 7 広報事業

## (1) 広報リーフレットの作成

「催し案内」を定期的に作成し、関係機関・団体に配布し広報に努めた。

## (2) インターネットによる広報

センターHPや大阪府広報と連携し、当館の概要や催し案内のインターネットによる広報に努めた。また、当館のホームページを刷新し、「催し案内」や「館内概要」など分かりやすい内容と適時画像更新に努めた。

## (3) DVD・ビデオによる広報

「堂島の米蔵」に、博物館紹介のDVD・ビデオの視聴コーナーを設けた。また、学校等にDVD・ビデオの貸出を行い広報に努めた。

## (4) 諸団体との連携

豊中市広報公聴課、地元ケーブルテレビ、ミニコミ紙、北大阪急行電鉄等と連携し、効果的な広報に努めた。また、阪急友の会、朝日メイト、JAF、府教職員互助組合等各種団体のメディアを通じての広報も実施した。

## (5) 資料の作成・頒布

「民家の案内」「民俗（上・下巻）」「重要文化財旧椎葉家住宅主屋・馬屋保存修理工事報告書」を頒布した。(実績…民俗の案内235冊、民俗8冊、椎葉工事報告書1冊)

また、小中学生向け案内マップ及び英語、フランス語、中国語、韓国語による案内マップを作成し配布した。

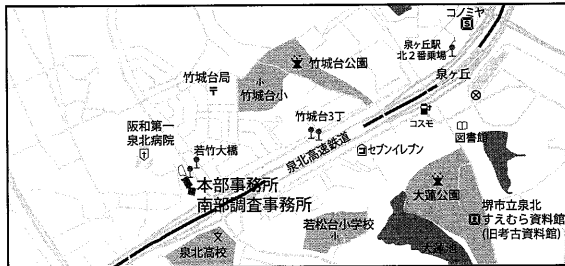
## 8 資料収集・研究事業

項 目	発 行 月	発 行 部 数
秋の催し案内	8月	12,000
冬の催し案内	12月	10,000
春の催し案内	3月	10,000

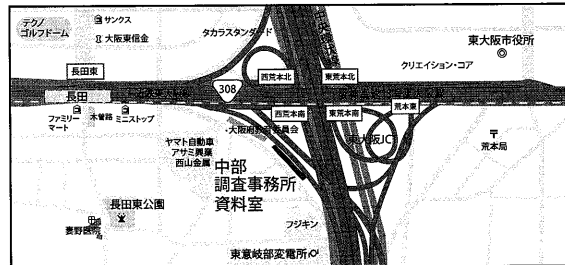
月	入館者数 (人)	入館料収入 (円)	開館日数 (日)
4月	5,935	2,246,450	26
5月	6,061	1,749,650	26
6月	1,639	525,600	26
7月	1,377	428,850	27
8月	1,401	406,200	26
9月	2,182	634,300	26
10月	5,048	1,374,000	27
11月	6,385	1,515,800	25
12月	1,884	551,900	23
1月	1,813	496,800	23
2月	3,070	780,800	24
3月	2,986	857,700	27
合計	39,781	11,568,050	306

移築民家や収蔵民具に関する資料を収集するとともに、地域住民と連携し、広く情報を募りながら、必要な資料の収集を行なった。

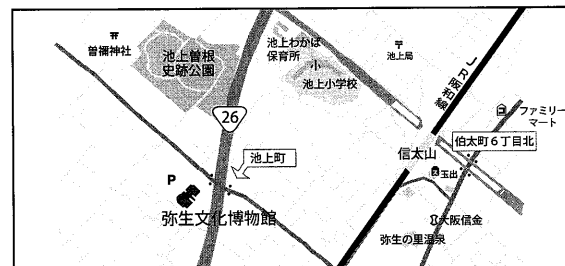
	入館者数	入館料収入	開館日数
平成22年度	39,781人	11,568,050円	306日
平成21年度	40,730人	11,840,900円	300日
平成20年度	42,408人	12,468,790円	305日



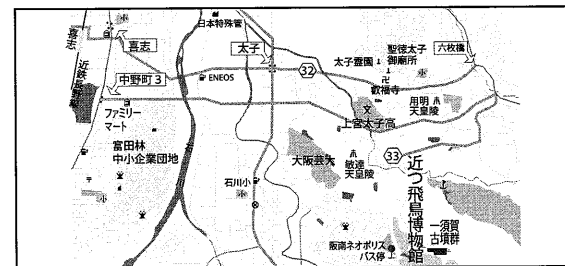
**本部事務所**  
 〒590-0105  
 堺市南区竹城台3丁21-4  
 TEL.072-299-8791 FAX.072-299-8905  
**南部調査事務所**  
 TEL.072-284-2233 FAX.072-284-2234



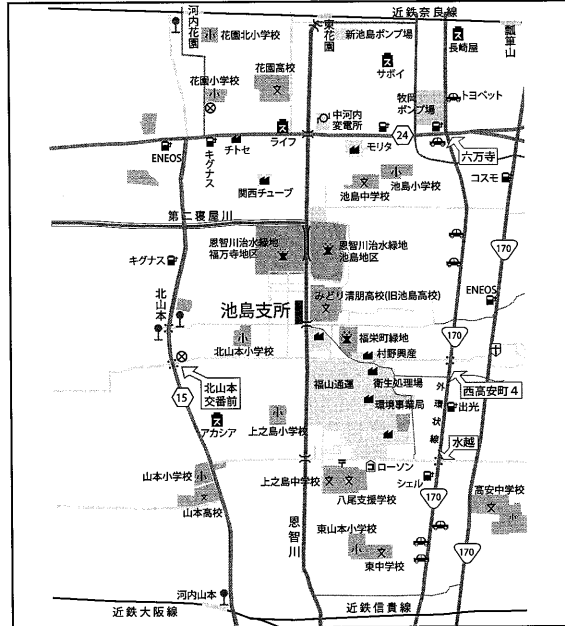
**中部調査事務所**  
 〒577-0012  
 東大阪市長田東1丁目9-16  
 TEL.06-6785-3921 FAX.06-6785-3515  
**資料室**  
 TEL.06-6785-4531 FAX.06-6785-5431



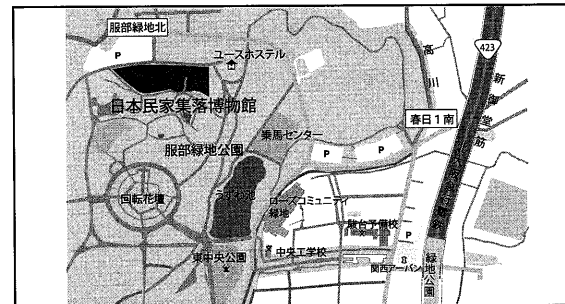

**大阪府立弥生文化博物館**  
 〒594-0083大阪府和泉市池上町4丁目8-27  
 TEL.0725-46-2162(代) FAX.0725-46-2165  
<http://www.kanku-city.or.jp/yayoi/>




**大阪府立近つ飛鳥博物館**  
 ●アスカディア 古墳の森  
 〒585-0001大阪府南河内郡河内町大字栗山299番地  
 TEL.0721-93-8321(代) FAX.0721-93-8325  
<http://www.chikatsu-asuka.jp/>



**池島支所**  
 〒581-0842  
 八尾市福万寺町8丁目  
 TEL.072-999-9890 FAX.072-990-5131




**むかしのうちのはくぶつかん  
日本民家集落博物館**  
 〒561-0873大阪府豊中市服部緑地1-2  
 TEL.06-6862-3137(代) FAX.06-6862-3147  
<http://www.occh.or.jp/minka/>



ホームページアドレス  
<http://www.occh.or.jp>

# 公益財団法人 大阪府文化財センター

平成 23 年度

平成 24 年 3 月 27 日 発行

発行 公益財団法人 大阪府文化財センター

〒 590-0105 大阪府堺市南区竹城台 3 丁 21-4

TEL. 072 - 299 - 8791 FAX. 072 - 299 - 8905

印刷 株式会社 中島弘文堂印刷所